2015.2.10 初版

デジタルビデオレコーダー
KB-SHR04A / KB-SHR08A / KB-SHR16A
取扱説明書

お客様へ

このたびは弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。

ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使い下さい。

また、お読みになった後は、いつでも見られるように場所を定めて保管して下さい。

株式会社ケービデバイス

改訂履歴

日付	版数	改訂内容
2015.2.10	初版	初版とする

限定保証

（株)ケービデバイスは KB-SHR04A / KB-SHR08A / KB-SHR16A（以降、KB-SHRxxA シリーズ）が、頒付されている仕様条件にしたがって製造されたもので、材料上または仕上げ上欠陥がないことを保証いたします。

したがって、(株)ケービデバイスは弊社へ返送していただいたもので、弊社が点検して材料および仕上げに欠陥があると判断した場合には、弊社の責任の元で修理、もしくは交換をいたします。なお、この保証は、日本国内で購入され、購入後 1 年間かつ日本国内で使用される KB-SHRxxA シリーズについてのみ有効なものとします。

免責事項

（株)ケービデバイスは市場性や市販性に関する保証、特定の目的または用途に関する保証、もしくは特許侵害に対する保証など、本保証条件以外のものは一切保証いたしません。(株)ケービデバイスは、いかなる直接的損害、付帯的もしくは間接的な損害金、あるいは欠陥製品もしくは製品の使用に起因する損失金または費用については何ら責任を負わないものとします。そのような損害の発生があることについてあらかじめ知らされていた場合についても同様なものとします。この結果、KB-SHRxxA シリーズは『現状』で販売されるものです。お客様は KB-SHRxxA シリーズの使用、ならびに KB-SHRxxA シリーズを使用して得られる結果に関する一切の責任を負うものとします。この保証は、最初の購入者であるお客様（1ユーザ）に対して適用され、お客様が KB-SHRxxA シリーズを転売された第三者には適用されません。(株)ケービデバイスは第三者からの、または第三者のためになすお客様からのいかなる請求に関しても責任を負わないものとします。

以下にあげる場合は、保証の対象外とさせていただきます。

① 火災・地震、第三者による行為、その他の事故により KB-SHRxxA シリーズの不具合が発生した場合。

② お客様の故意もしくは過失、誤用、乱用その他の異常な条件下での仕様により KB-SHRxxA シリーズの不具合が発生した場合。

③ お客様が KB-SHRxxA シリーズに手を加えて改造、修理した場合。

④ ユーザシステムの使用や使用方法に起因して発生した損害等について。

目次

安全にお使いいただくために …… 1
使用上のご注意 …… 4

1章 はじめに 1-1

1．1 概要 …… 1-1
1．2 セット内容 …… 1-2
1．3 外観 …… 1-3
前面パネル …… 1-3
背面パネル …… 1-4
リモコン …… 1-6
リモコンIDの入力 …… 1-7
1．4 各種機器の接続 …… 1-8
モニターとの接続 …… 1-8
電源の接続 …… 1-9
カメラの接続 …… 1-10
アラーム入出力の接続 …… 1-11
RS-485 接続 …… 1-12
RS-232 接続 …… 1-12
音声機器の接続 …… 1-12
USB デバイス …… 1-13
ネットワーク機器の接続 …… 1-14
1．5 本体の起動 …… 1-15
1．6 ログアウト・シャットダウン …… 1-16

2章 ライブ監視 2-1

2．1 ライブ画面について …… 2-1
2．2 タイムライン …… 2-4
2．3 クイックメニュー …… 2-5
2．4 画面表示切換え …… 2-6
2．5 デジタルズーム …… 2-7

２．６ その他のライブ機能 …… 2-8
イベントログ表示 …… 2-8
音声出力CHの選択 …… 2-8
アラーム状態の確認 …… 2-9
ネットワーク状態の表示 …… 2-10
ディスク状態の表示 …… 2-10

3章 各種設定 3-1

３．１ カメラ …… 3-3
３．１．１ カメラタイトル …… 3-3
３．１．２ 映像設定 …… 3-4
カラー設定 …… 3-4
カット設定 …… 3-5
３．１．３ カメラマスク設定 …… 3-6
３．１．４ モーションセンサー …… 3-7
領域編集 …… 3-8
３．１．５ PTZ 設定 …… 3-9
３．１．６ プライバシーマスク …… 3-10
有効 …… 3-10
エリア設定 …… 3-11
３．１．７ TAMPER(いたずら)検知 …… 3-12
３．２ ディスプレイ …… 3-13
３．２．１ ディスプレイ設定 …… 3-13
３．２．２ モニター設定 …… 3-14
３．２．３ シーケンス …… 3-15
３．２．４ スポット出力 …… 3-17
３．２．４ LOOP OUT …… 3-19
３．３ 音声 …… 3-20
３．３．１ 音声 …… 3-20
３．３．２ ブザー …… 3-21
３．４ ユーザー …… 3-22
３．４．１ ユーザー管理 …… 3-22
３．４．２ グループ権限 …… 3-24
３．５ ネットワーク …… 3-25
３．５．１ IP設定 …… 3-25
３．５．２ DDNS 設定 …… 3-26
３．５．３ メール設定 …… 3-28
３．５．４ ネットワークステータス …… 3-29

３．６ システム ・・・

5章　バックアップ　5-1

5．1　バックアップ ・・・

安全にお使いいただくために

- KB-SHR04A / KB-SHR08A / KB-SHR16A （以下、KB-SHRxxA シリーズ）をご使用になる前に、必ず本書をよく読んで下さい。
- 本書は必ず保管し、使用上不明な点等がある場合には再読し、ご確認下さい。
- 本書を十分理解せずに KB-SHRxxA シリーズをご使用にならないで下さい。
- KB-SHRxxA シリーズの仕様範囲を超える条件において使用された場合については、動作は保証しかねますのでご了承願います。
- KB-SHRxxA シリーズは、宇宙、航空、医療、原子力、運輸、交通、各種安全装置など人命、事故にかかわる特別な品質、信頼性等が要求される用途でご使用にならないで下さい。
- KB-SHRxxA シリーズは防犯カメラと組み合わせて使用することによって、犯罪の抑止と犯罪行為の証拠の記録を行うものであり、それ自体で犯罪を未然に防ぐものではありません。

【 表示および図記号について 】

本書では機器を安全に正しくご使用いただくために、さまざまな表示をしています。
内容をご理解の上、本文をよくお読み下さい。

注意記号	禁止記号			指示記号		
一般注意	一般禁止	接触禁止	分解禁止	一般指示	電源を抜く	アース接続

警告

正しくご使用いただけない場合、死亡もしくは重傷につながる恐れがあります。

● 水にぬらさない

火災や感電の恐れがあるため、湿気の多い場所（温度、湿度変化の激しい場所）や水の入る場所に設置しないで下さい。

● 指定の電源電圧を超えない

表示された電源電圧を超える電圧を加えないで下さい。
火災および感電の恐れがあります。

● アースを接続する

電源コードは、AC100V（50/60Hz）のアース付きコンセントのみにつないで下さい。アースなし電源コンセントにつないだ場合には、火災および感電の恐れがあります。

● 分解、改造をしない

本製品を分解・改造しないで下さい。感電や火災の原因になります。メンテナンスや検査が必要な場合には、製品を購入いただいた販売店にご連絡下さい。

● 液体や金属片を上に置かない、挿入しない

本製品の上に、水の入った容器や金属製のゴミなどの異物を置いたり挿入したりしないで下さい。本体内に液体や金属が入ると、火災および感電の恐れがあります。

● 電源コードについて

電源コードが損傷すると火災および感電の恐れがあります。以下をお守り下さい。

- 電源コードの上に重いものを置かないで下さい。
- 切れ目を入れる、折り曲げる、ねじる、引っ張る、熱するなどをしないで下さい。
- 本製品同梱の電源コード以外のものを使用しないで下さい。

● 異常が発生したとき

以下の場合は直ちに電源を切り、電源コードを抜いて販売店にご相談下さい。

- 本体から煙や異臭または異音が発生したとき
- 落下などにより本体または電源コードが損傷したとき

● 落雷時は触れない

落雷があったときは、本体や電源コードに触れないで下さい。感電の恐れがあります。
落雷により異常が発生した場合は販売店にご相談下さい。

注意
正しくご使用頂けない場合、人の怪我または物理的損傷につながる恐れがあります。

● ぬれた手で触れない

濡れた手で本体および電源コードに触れないで下さい。
感電の恐れがあります。

● コードを置いたままにしない

電源コード、その他のケーブルを通路に置いたままにしないで下さい。通った人が足を引っ掛けて転ぶ恐れがあります。

● 外部接続のときは外部装置の電源を切る

本製品に外部装置をつなげる場合は、それらの装置の電源が切れていることを確認してから接続して下さい。
本製品およびカメラからの過電流による感電の恐れがあります。

● 製品に異物がついたとき

製品に異物がついた場合には、やわらかい布またはハンカチで取り除いて下さい。異物の除去のために薬剤(シンナー、溶剤など)は使用しないで下さい。

● 使用する場所に注意

以下の場所で使用または保管しないで下さい。

- 温度が極端に低いか、高い場所
- 湿度の高い場所、またはエアコンの前のように温度が急激に変化する場所
- 埃っぽい場所
- 製品の両側の通気穴からの放熱が妨げられる場所

● 磁気を帯びたものを置かない

クレジットカード、テレフォンカード、通帳、その他磁気を帯びたものを製品の近くに置かないで下さい。

● 静電気に注意

静電気は製品内部に損傷を起こす可能性があります。製品のリアパネルおよび内部電子部品に触る前には、体内の静電気を除去して下さい。

● 法規に準拠した廃棄を

本製品が修理不可能なほどの損傷を受けた場合、または製品を廃棄する場合には、鉛、バッテリー、プラスチックなどの廃棄物に関するその地域の法規に準拠して廃棄して下さい。

使用上のご注意

- 仕様の動作温度、湿度の範囲外の環境で本製品を使用しないで下さい。
- 通風口にほこりがたまった場合は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、通風口の掃除をして下さい。通風口の掃除は年1回程度を目安に行って下さい。
- 強力な磁界や電界がある場所に設置しないで下さい。映像が乱れたり機器が故障したりする恐れがあります。
- 電源が不安定な場合、または感電が生じた場合には、製品は適切に作動しない可能性があります。必ず正しい定格電圧で使用するようにして下さい。
- 本製品は、停電に備えて設計されていますが、停電により損傷を受ける可能性もあります。その場合、使用中のデータが損傷したり、記録されなかったりすることがあります。無停電電源装置（UPS）を使用することを推奨します。
- 本製品はビデオデータをHDDに録画する設計ですので、HDDのエラーまたはその他のエラーにより、製品が正常的に録画できない場合があります。製品の適切な運転のためには、定期的なメンテナンスが必要です。
- 本製品は、ユーザーが自由に好みの設定を行える設計になっています。しかし、ユーザーの設定エラーが、誤作動につながる場合があります。
- 本製品は外部機器（カメラ、センサー、USB装置、LAN、HDDなど）と接続して使用しているため、外部要因による誤作動の恐れがあります。安定した運用のため定期的なメンテナンスを推奨します。
- 本機は水平位置で使用するよう設計されています。垂直や傾けての使用はできません。
- HDDが故障した場合、弊社では記録したデータの復旧はできません。重要なデータはあらかじめバックアップをとって下さい。
- 本製品で記録された映像情報は個人情報やプライバシーに係る機密情報が含まれる場合がありますので「個人情報保護法」に準拠した取扱いを実施されることをお勧め致します。
- 本製品は精密機器です。振動や強い衝撃を与えないで下さい。火災や感電、本体の破損につながります。
- 本製品で記録された映像情報は個人情報やプライバシーに係る機密情報が含まれる場合があります。「個人情報保護法」に準拠した取扱いを実施されることをお勧め致します。
- 運送時の落下、振動によって発生した機器の破損についての責任を弊社は負うことができません。あらかじめご了承下さい。
- 次の部品は消耗品です。寿命時間を目安にして交換してください。但し、この時間はあくまでも目安であり、部品の寿命時間を保証するものではありません。
  - ・冷却ファン　　：約 3 年（使用環境温度 25 ℃）
  - ・ハードディスク　：約 3 年（使用環境温度 25 ℃）

  部品交換の際は販売店までお問合せ下さい。
- 本製品に対し、改良のため予告なく仕様の一部を変更することがあります。
  （ハードウェア、ソフトウェア、文書等）

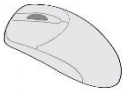
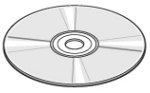
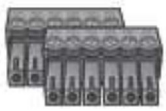
1章　はじめに

1．1　概要

KB-SHRxxA シリーズは、アナログカメラ専用の HDD ビデオレコーダーです。
4 台/8 台/16 台までのカメラを接続することができます。
録画には、圧縮率の高い H.264 形式を採用しております。
KB-SHRxxA シリーズの操作には主にマウスを用います。リモコンでも操作が可能です。
960H 以下のカメラ解像度に対応しています。
KB-SHR08A および KB-SHR16A は RAI1, RAID5 に対応、信頼性の高い運用ができます。

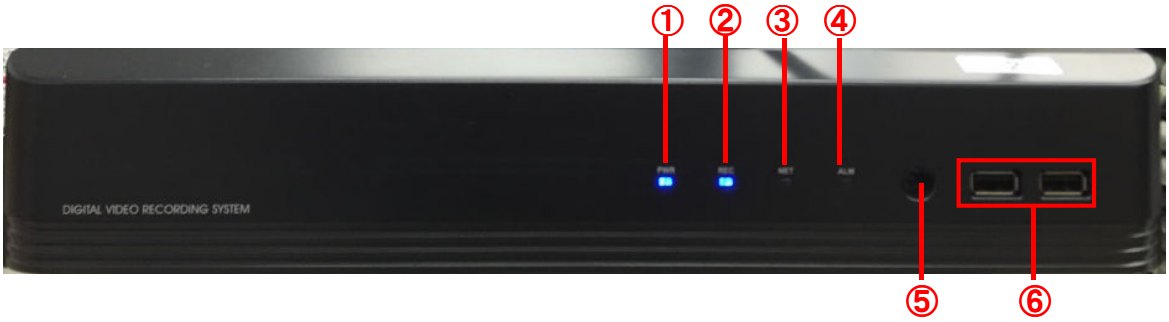
1．2　セット内容

以下のものが入っているかご確認下さい。

レコーダー本体	
マウス	
リモコン 電池 ×2	
CD-ROM （取扱説明書等）	
取扱説明書	
簡易取扱説明書	
電源ケーブル	
DC12V AC アダプタ （KB-SHR04A のみ）	
ケーブルクリップ （KB-SHR04A のみ）	
端子ブロック （KB-SHR08A/KB-SHR16A のみ）	

1．3　外観

【　前面パネル（KB-SHR04A）　】

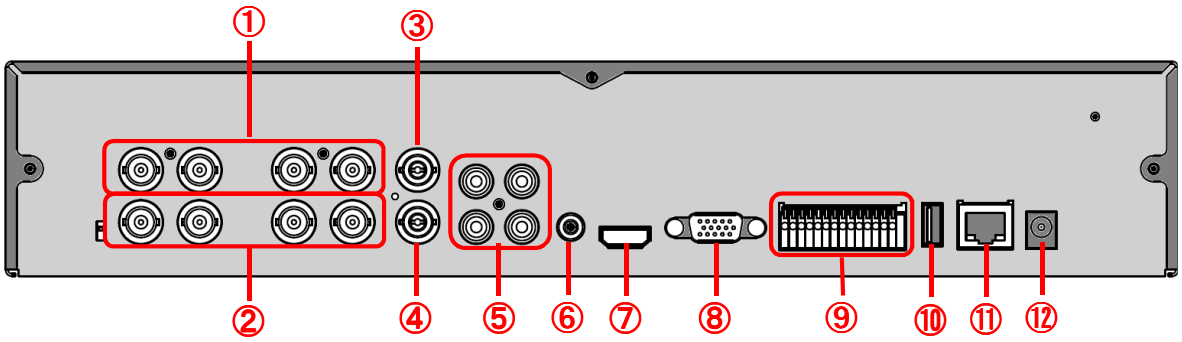


No.	名前	用途
1	**電源ランプ**	電源 ON の間、点灯します。
2	**記録ランプ**	カメラ映像を記録中に点灯します。
3	**ネットワークランプ**	クライアント PC からのネットワークアクセス中に点灯します。
4	**アラームランプ**	アラーム出力中に点灯します。
5	**リモコン赤外線受信機**	リモコンからの赤外線信号を受信します。
6	**USB ポート**	マウスまたは USB メモリ等を接続します。

【　前面パネル（KB-SHR16A）　】

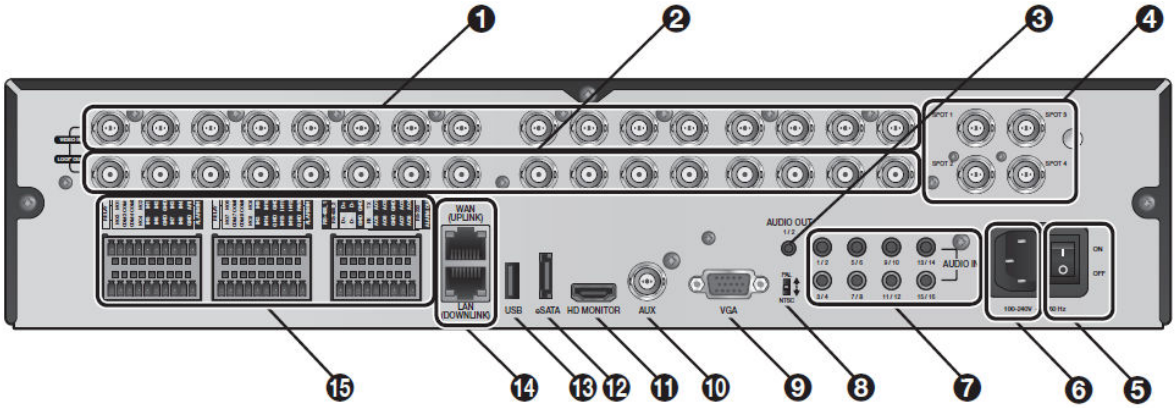
No.	名前	用途
1	**電源ランプ**	電源 ON の間、点灯します。
2	**記録ランプ**	カメラ映像を記録中に点灯します。
3	**ネットワークランプ**	クライアント PC からのネットワークアクセス中に点灯します。
4	**アラームランプ**	アラーム出力中に点灯します。
5	**HDD アクセスランプ**	接続中の内蔵 HDD および外付けストレージが点灯します。
6	**リモコン赤外線受信機**	リモコンからの赤外線信号を受信します。
7	**USB ポート**	マウスまたは USB メモリ等を接続します。

【　背面パネル（KB-SHR04A）　】



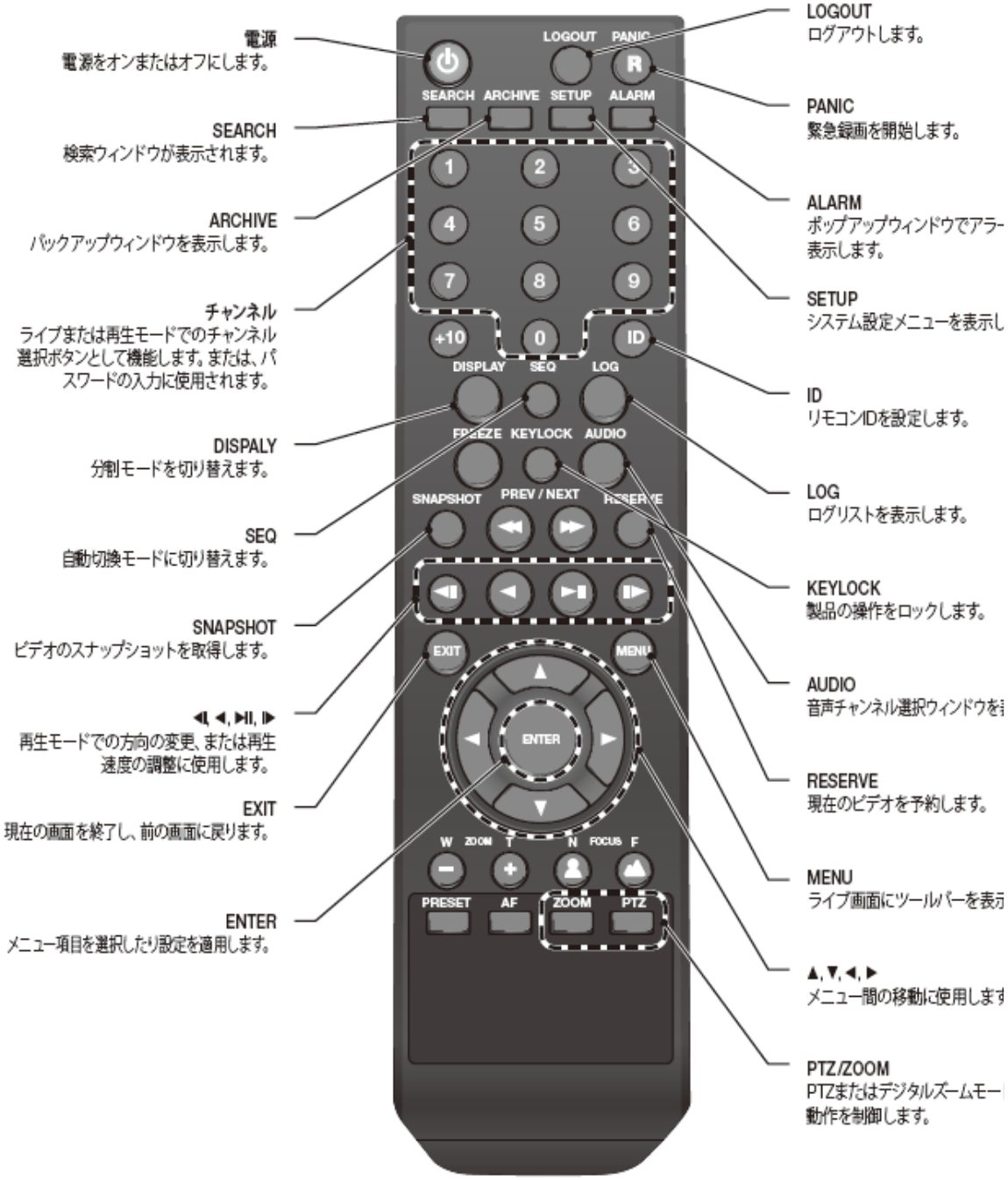
No.	表記	端子名称	用途
1	VIDEO IN	BNC	カメラ映像の入力端子です。 同軸ケーブルでカメラを接続してください。
2	LOOP OUT	BNC	カメラ映像の出力端子です。 直上の端子のカメラ映像をコピーとして出力します
3	AUX	BNC	分割画面対応のスポット映像出力端子です。エントランス用モニターなどにカメラ映像のみを出力します。
4	SPOT	BNC	1 画面シーケンス表示のスポット出力端子です。
5	AUDIO IN	RCA	マイクなどの音声入力デバイスを接続します。
6	AUDIO OUT	RCA ピンジャック	スピーカー等を接続する音声出力端子です。
7	HD MONITOR	HDMI	モニターに接続する映像出力端子です。 HDMI ケーブルを使用してモニターに接続します。
8	VGA	D-SUB 15pin	モニターに接続する映像出力端子です。 VGA ケーブルを使用してモニターに接続します。
9	RS-485	プッシュロック端子	キーボードコントローラなどを接続する端子です。
	RS-232C	プッシュロック端子	使用できません。
	ALARM IN	プッシュロック端子	センサー機器等を接続するアラーム入力端子です。
	RELAY	プッシュロック端子	警報機器等を接続するアラーム出力端子です。
10	USB	USB2.0	マウスや USB メモリ等のデバイスを接続します。
11	ETHERNET	RJ-45	リモート接続用の LAN ポートです。 LAN ケーブルで PC やルータを接続します。
12	DC 12V	DC ジャック	本体電源入力端子です。 付属の DC12V の AC アダプタを接続して下さい。

【　背面パネル（KB-SHR08A / KB-SHR16A）　】



No.	表記	端子名称	用途
1	VIDEO IN	BNC	カメラ映像の入力端子です。 同軸ケーブルでカメラを接続してください。
2	LOOP OUT	BNC	カメラ映像の出力端子です。 直上の端子のカメラ映像をコピーとして出力します
3	AUDIO OUT	ステレオミニプラグ	スピーカー等を接続する音声出力端子です。
4	SPOT	BNC	シーケンス表示のスポット出力端子です。
5	POWER	-	電源の入/切を行うスイッチです。
6	AC100V	3P コネクタ	本体電源入力端子です。 付属の電源コードを接続して下さい。
7	AUDIO IN	ステレオミニプラグ	マイクなどの音声入力デバイスを接続します。
8	PAL/NTSC	-	かならずNTSCに設定してください。
9	VGA	D-SUB 15pin	モニターに接続する映像出力端子です。 VGA ケーブルを使用してモニターに接続します。
10	AUX	BNC	分割画面対応のスポット映像出力端子です。
11	HD MONITOR	HDMI	モニターに接続する映像出力端子です。 HDMI ケーブルを使用してモニターに接続します。
12	eSATA	eSATA	外付け SATA ストレージ用の接続端子です。
13	USB	USB2.0	マウスや USB メモリ等のデバイスを接続します。
14	WAN(UPLINK)	RJ-45	リモート接続用の LAN ポートです。 LAN ケーブルで PC やルータを接続します。
	LAN(DOWNLINK)	RJ-45	使用できません。
15	RS-485	プッシュロック端子	キーボードコントローラなどを接続する端子です。
	RS-232C	プッシュロック端子	使用できません。
	ALARM IN	プッシュロック端子	センサ機器等を接続するアラーム入力端子です。
	RELAY	プッシュロック端子	警報機器等を接続するアラーム出力端子です。

【 リモコン 】


電源
電源をオンまたはオフにします。
SEARCH
検索ウィンドウが表示されます。
ARCHIVE
バックアップウィンドウを表示します。
チャンネル
ライブまたは再生モードでのチャンネル選択ボタンとして機能します。または、パスワードの入力に使用されます。
DISPALY
分割モードを切り替えます。
SEQ
自動切換モードに切り替えます。
SNAPSHOT
ビデオのスナップショットを取得します。
◀I, ◀, ▶II, I▶
再生モードでの方向の変更、または再生速度の調整に使用します。
EXIT
現在の画面を終了し、前の画面に戻ります。
ENTER
メニュー項目を選択したり設定を適用します。
LOGOUT
ログアウトします。
PANIC
緊急録画を開始します。
ALARM
ポップアップウィンドウでアラー
表示します。
SETUP
システム設定メニューを表示し
ID
リモコンIDを設定します。
LOG
ログリストを表示します。
KEYLOCK
製品の操作をロックします。
AUDIO
音声チャンネル選択ウィンドウを
RESERVE
現在のビデオを予約します。
MENU
ライブ画面にツールバーを表示
▲, ▼, ◀, ▶
メニュー間の移動に使用します
PTZ/ZOOM
PTZまたはデジタルズームモー
動作を制御します。
LOGOUT
PANIC
SEARCH
ARCHIVE
SETUP
ALARM
1
2
3
4
5
6
7
8
9
+10
0
ID
DISPLAY
SEQ
LOG
FREEZE
KEYLOCK
AUDIO
SNAPSHOT
PREV / NEXT
EXIT
MENU
ENTER
W
ZOOM
T
N
FOCUS
F
PRESET
AF
ZOOM
PTZ

リモコン ID の入力

1 台のリモコンで複数台のレコーダーを操作するために、リモコンIDが存在します。
レコーダー本体に設定してあるリモコンIDを、ライブ画面でリモコンから正しく入力するとそのリモコンで操作が有効となります。

※ **ライブ画面で、誤ったリモコンIDを入力するとリモコン操作が効かなくなります。**

1. システム設定の **3．6．4 デバイス設定** で、レコーダー本体のリモコンIDを設定します。
→ 3-34 頁 参照

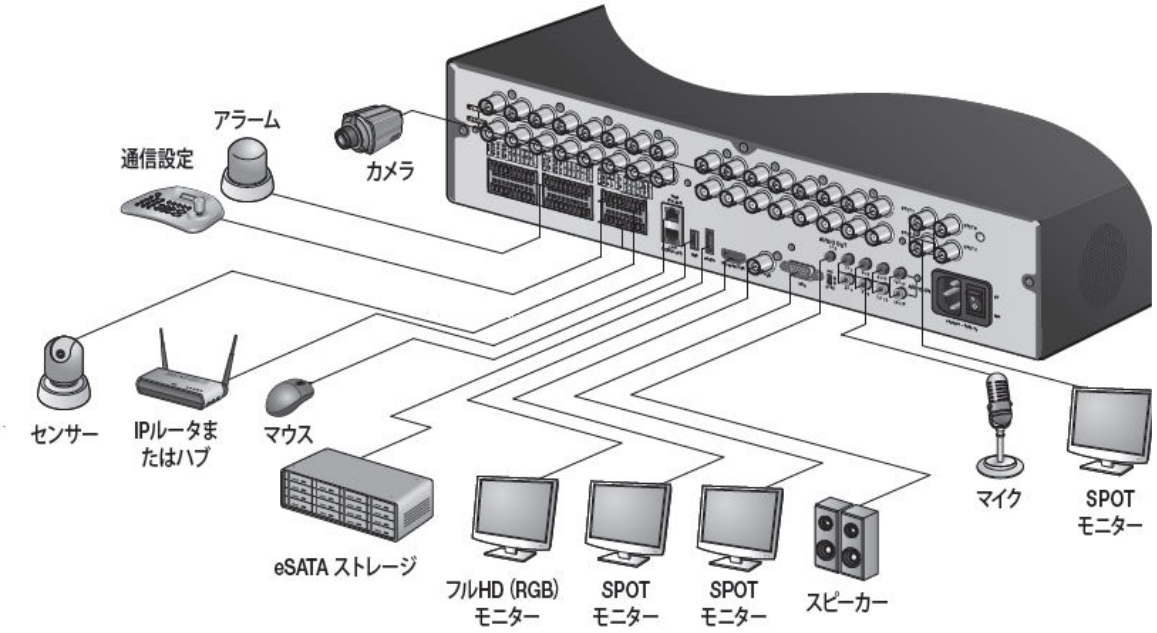
2. ライブ画面で、リモコンの ＜ ID ＞ ボタンを押します。

3. リモコンの数字ボタンで 2 桁の ID を指定します。
たとえば 01 と入力するには、数字の 0 と 1 を順番に入力します。
※ 初期設定のリモコン ID は 00 です。
↓
リモコンを操作して、リモコン ID が適切に設定されているかどうかを確認して下さい。

※ ID を 00 にリセットするには、＜ ID ＞ボタンを押し続けます。

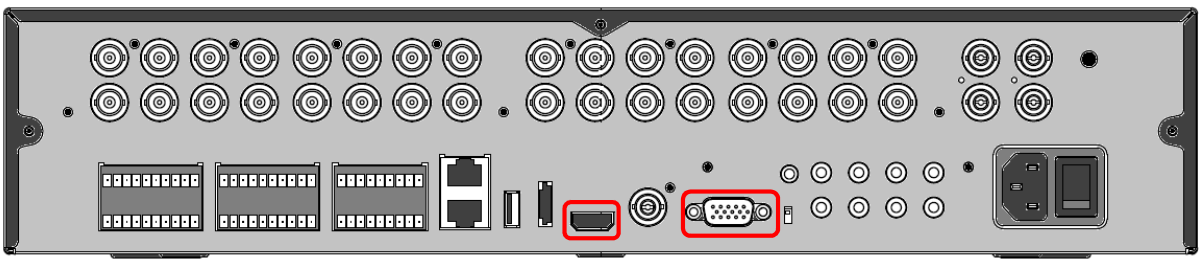
1．4　各種機器の接続

レコーダーに、以下のように機器を接続します。



モニターとの接続

本製品とモニターとを HDMI ケーブルあるいは VGA ケーブルで接続します。



かならず下記のいずれかの入力解像度に対応したモニターを使用してください。

- 1920 x 1080（1080p）
- 1280 x 1024（SXGA）
- 1280 x 720（720p）

上記のいずれにも対応しないモニターは使用できません。

モニターを接続してレコーダーを起動すると、自動的に最適な解像度で出力します。

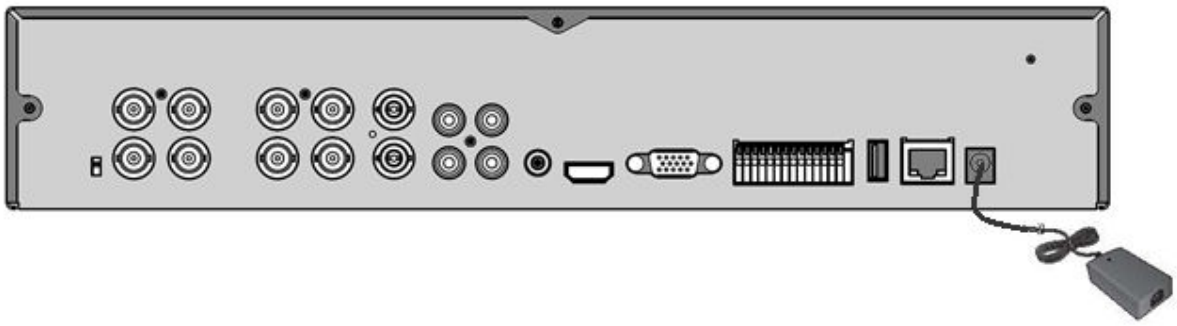
HDMI と VGA は同時出力可能です。それぞれ同じ解像度の映像が出力されます。

電源の接続

- **KB-SHR04A**

本体に DC12V アダプタを以下のように接続して下さい。

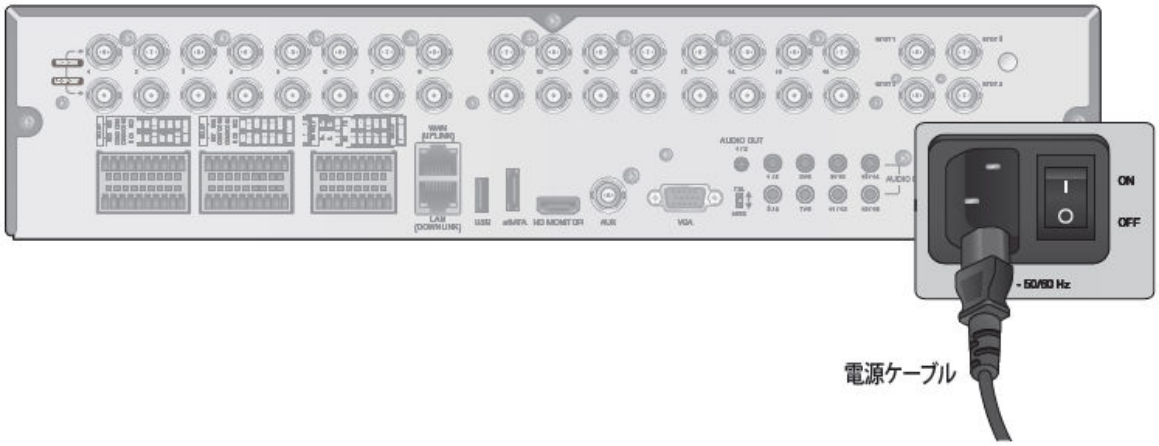
※　接続後、ケーブルクリップを背面パネルに取り付けて、ケーブルを差し込みます。



DC 12V アダプタ

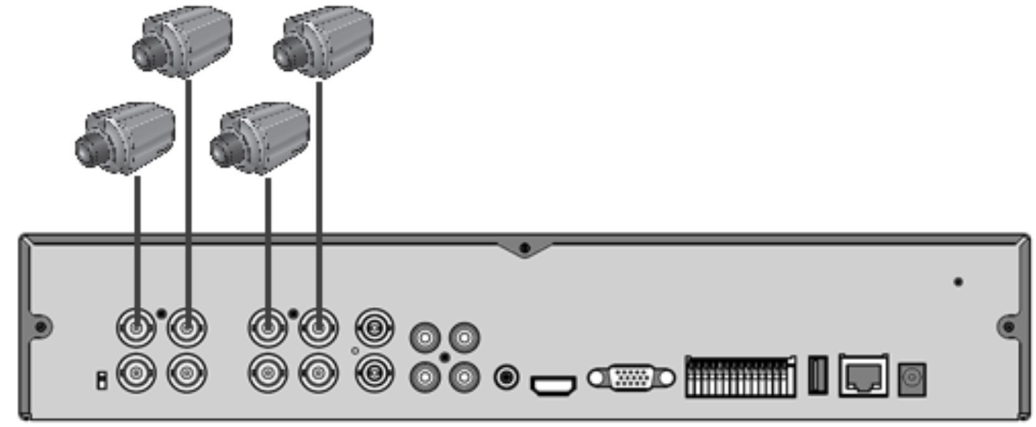
- **KB-SHR08A / KB-SHR16A**

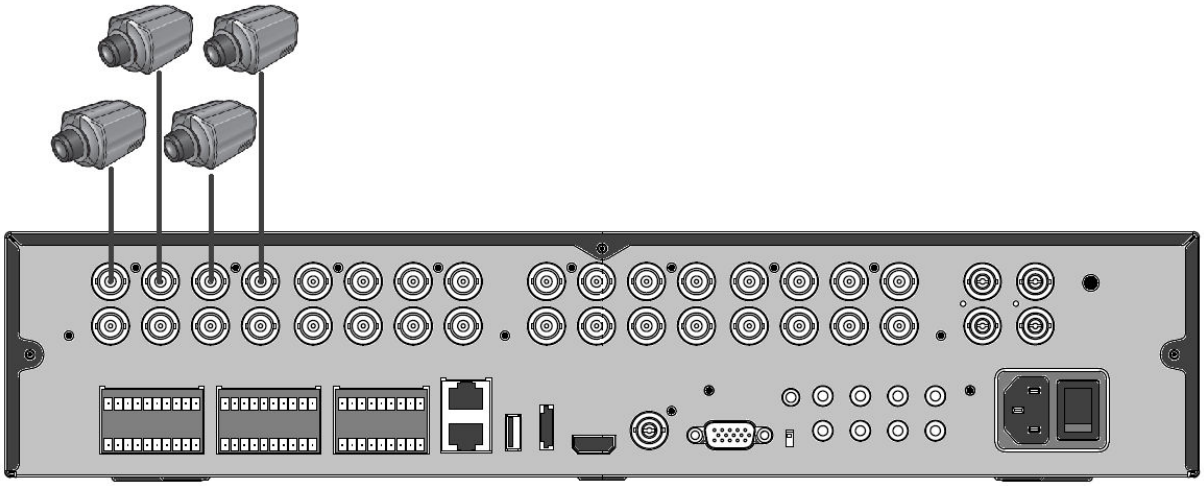
付属の電源ケーブルを本体に接続します。



カメラの接続

「VIDEO IN」と書かれた BNC 端子に、同軸ケーブルを使ってカメラを接続します。

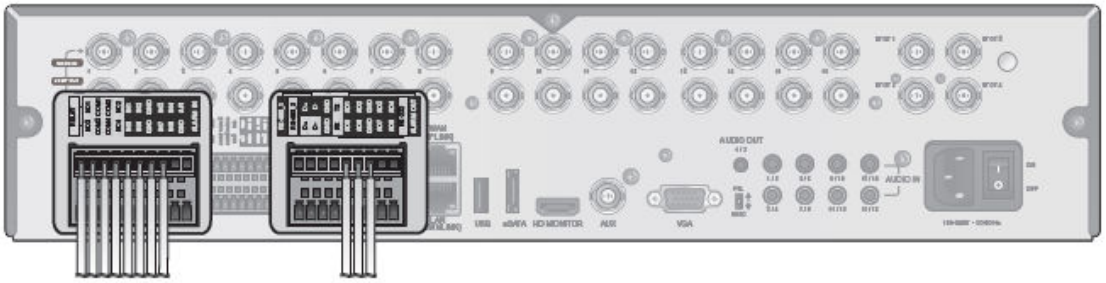




アラーム入出力の接続

本製品はセンサーや警報機器と連動し、さまざまなイベント通知を行うことができます。

※KB-SHR08A および KB-SHR16A には、付属の端子ブロックを装着してください。



アラーム入力信号に接続するには　・・・

センサーなどのアラーム入力機器の信号線を背面の［ ALARM IN ］ポートに接続します。

1. レコーダー背面にある［ ALARM IN ］端子にアラーム信号線の[＋極]を差し込みます。
2. アラーム信号線の[－極] を レコーダー背面の［ GND ］ポートに差込みます。
3. 2 本の線を引っ張り、抜けないかどうか確認します。

→　設定画面については　3-39頁　を参照して下さい。

アラーム出力信号に接続するには　・・・

警報器などのアラーム出力機器の信号線を背面の［ RELAY ］ポートに接続します。

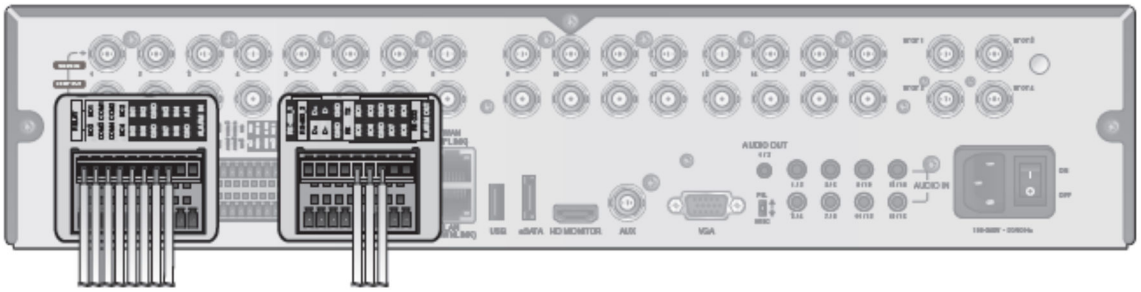
1. レコーダー背面にある［ N/O ］端子にアラーム信号線の[＋極]を差し込みます。
   接続するアラーム出力機器の動作が A 接点（N/O）、B 接点（N/C）のどちらであっても、かならず［ N/O ］端子に接続して下さい。
2. アラーム信号線の[－極] を［ COM ］ポートに差し込みます。
3. 2 本の線を引っ張り、抜けないかどうか確認します。

→　設定画面については　3-34頁　を参照して下さい。

RS-485 接続

本製品に PTZ カメラの制御信号線を接続することができます。

※KB-SHR08A および KB-SHR16A には、付属の端子ブロックを装着してください。



1. 本体背面の［ D+ ］と PTZ カメラの［ D+ ］を接続します。

2. 本体背面の［ D- ］と PTZ カメラの［ D- ］を接続します。

※ RS-485接続については、PTZカメラのユーザーマニュアルを参照してください。

→ 設定画面については 3-9頁 を参照して下さい。

RS-232 接続

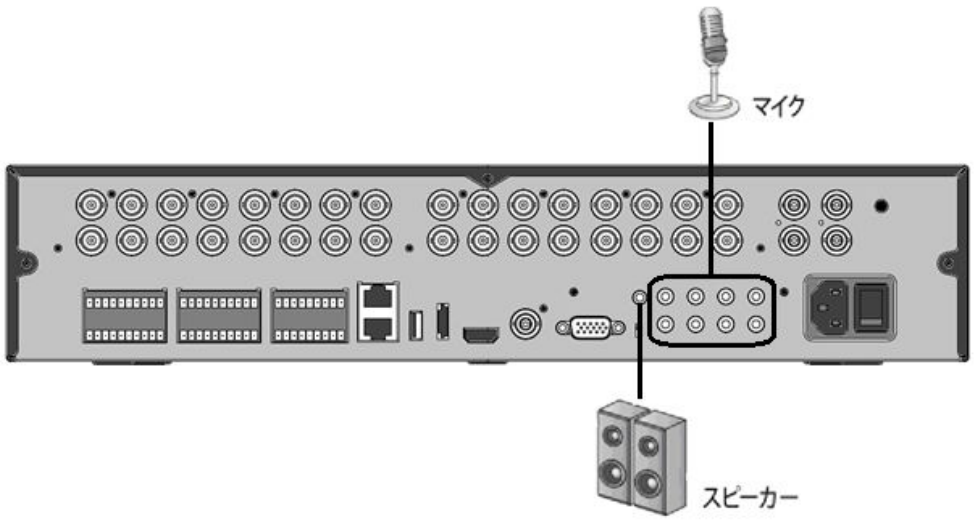
本製品の RS-232 端子は使用できません。

音声機器の接続

マイクなどの音声入力機器を背面の［ AUDIO IN ］ポートに接続し、スピーカーなどの音声出力機器を［ AUDIO OUT ］ポートに接続します。

※ KB-SHR08A および KB-SHR16A は音声入力ポートがステレオミニプラグです。
マイクを使用する際は別売のステレオミニプラグ→RCAピンジャック変換コネクタをご使用下さい。

マイク 1 → RCA ピン
マイク 2 → RCA ピン
ステレオミニプラグ → KB-SHR08A/KB-SHR16A

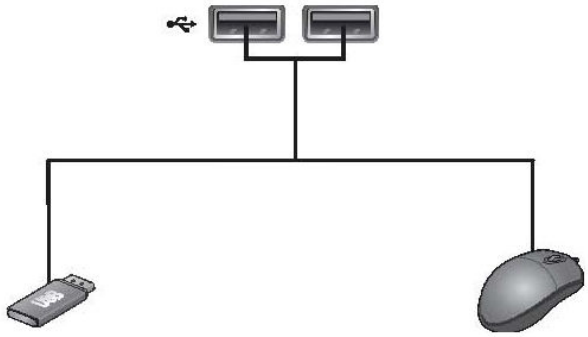


→ 設定については 2-8頁 および 3-69頁 を参照して下さい。

USB デバイス

本体前面の USB 端子に、付属のマウスや USB メモリを接続します。

USB メモリを接続すると、記録映像をバックアップやシステム設定の保存/読込み、ファームウェアのアップデートを行うことができます。

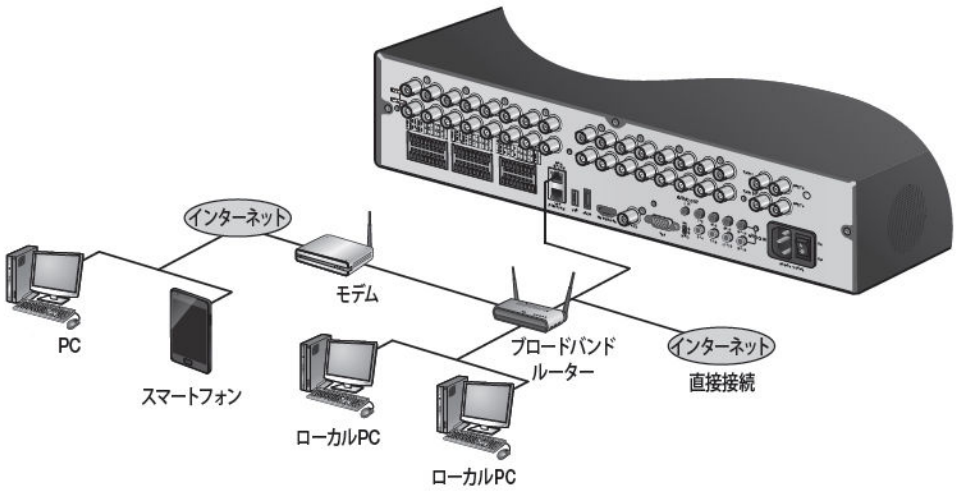


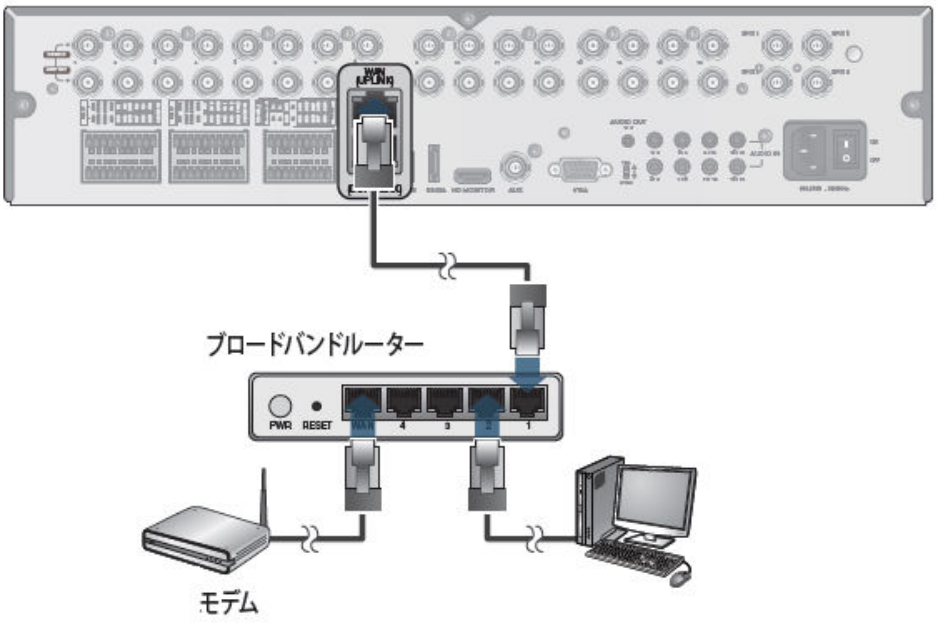
USB ストレージ　　マウス

電力消費の多いUSB HDDを接続する必要がある場合は、そのHDD用に個別の電源を使用することを推奨します。

ネットワーク機器の接続

本製品をを同一のネットワーク内にある PC に接続して、その PC モニター上でレコーダーを制御または操作することができます。





1. 背面パネルの［ WAN(UPLINK) ］あるいは［ETHERNET］ポートをルータまたはハブに接続します。
2. ローカル PC をルータまたはハブに接続します。

→ 設定画面については **3．5　ネットワーク** を参照して下さい。

1．5　本機の起動

1. 1-9 頁を参照し、本体に電源を供給します。

2. 本体背面にある電源スイッチをオンにします。
ビープ音が鳴り、前面の LED が点灯して数秒後にロゴ画面が表示されます。

3. 起動プロセスが完了すると、ログイン画面が表示されます。
ユーザーを選択し、キーボードの文字をクリックしてパスワードを入力します。
※　初期設定では以下のようになっています。

ユーザーID：　ADMIN
パスワード：　1234

4. ＜ OK ＞ をクリックします。
パスワードが正しく入力されていれば、ライブ画面が表示されます。

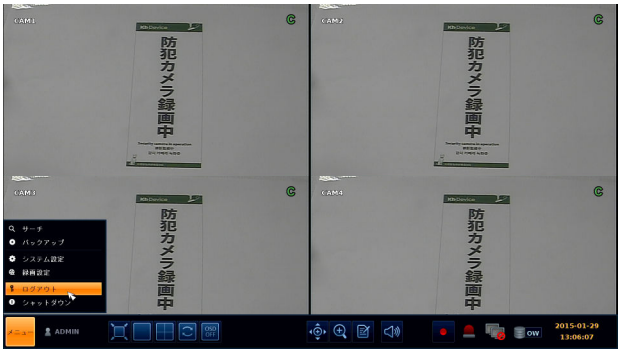
1．6　ログアウト・シャットダウン

ログアウト

不正アクセスを防止するため、画面から離れる場合はログアウトすることをお勧めします。

1. 画面下部にカーソルを移動すると、メニューが表示されます。

2. ライブ画面で、画面左下の 〈メニュー〉 をクリックし、〈ログアウト〉 をクリックするとログアウトします。
   またはリモコンの［ LOGOUT ］ボタンを押すとログアウトします。



シャットダウン

機器の電源を切る際は、以下の手順でシャットダウンを行います。

1. ライブ画面で、画面左下の 〈メニュー〉 をクリックして 〈シャットダウン〉 をクリックします。
   またはリモコンの［ 電源 ］ボタンを押します。

2. キーボードの文字をクリックしてパスワードを入力します。

3. KB-SHR04A ・・・ AC アダプタを抜いてください。
   KB-SHR08A/KB-SHR16A ・・・ 本体背面の電源スイッチをオフにしてください。

注意

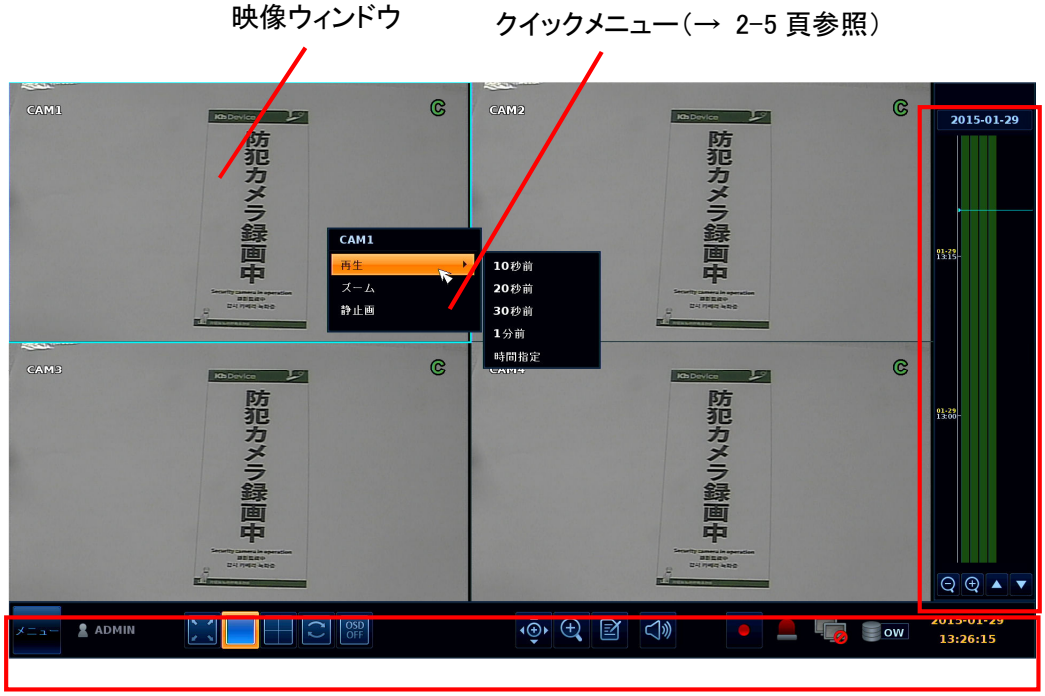
シャットダウンは必ず上記の方法で行って下さい。
システムの動作中に電源コードを抜くなどの正常ではない方法で電源を切ると、データ消失やディスクの寿命短縮につながる恐れがあります。

2章　ライブ監視

本機を起動すると、ライブ画面（現在のカメラ映像を閲覧する画面）が表示されます。
設定や検索等の項目は、ライブ画面から選択して操作します。

2．1　ライブ画面について

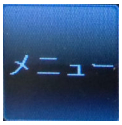
接続されているカメラのライブ映像を見ることができます。
画面の下端のタスクバー操作に必要なアイコンや、動作状態などが表示されます。



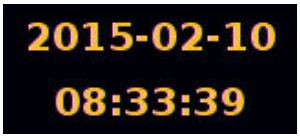
画面表示アイコン

カメラID	カメラIDを表します。	
録画モード アイコン	イベント録画の待機中に表示されます。	
	連続録画の状態を表示します。	
	アラーム発生時の録画状態を表示します。	
	モーションイベント発生時の録画状態を表示します。	
	手動録画（パニック録画）の状態を表示します。	
状態表示アイコン	TAMPER（いたずら）検知中に表示します。	

ステータスバーアイコン

メニュー	アクセスするには、システム設定、サーチ、バックアップのいずれかのメニュー項目を選択します。	
ユーザーID	現在ログインしているユーザーのIDを表します。	
画面制御	状態バーとタイムラインの両方が常時表示されるように画面レイアウトを変更します。	
	分割モードを選択します。	
	自動切換または特殊分割モードを選択します。	

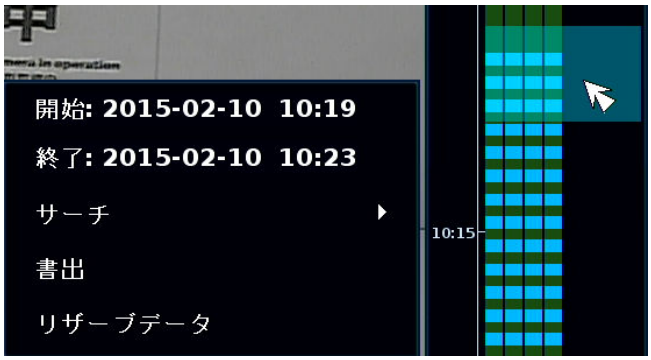
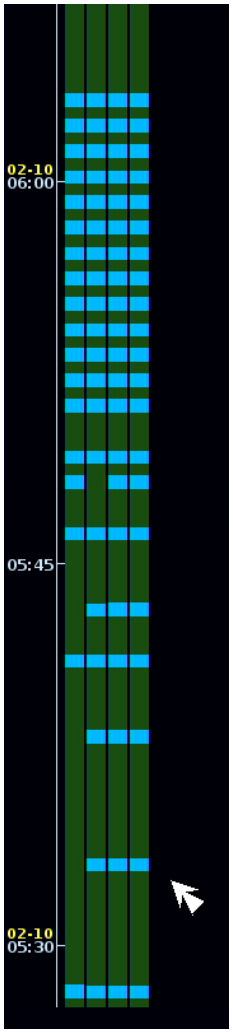
ステータスバーアイコン

画面制御	画面にOSDメニューを表示したり非表示したりします。	
PTZ	PTZ画面に移動します。 PTZカメラのコントロールを行うことができます。	
ズーム	デジタルズームに移動します。	
ログ	最新の録画イベントのログリストを表示します。	
オーディオチャンネル選択ボタン	オーディオ入力をサポートするカメラを使用して音声を聞くことができます。.	
手動録画	手動（パニック）録画を開始します。	
アラーム インジケータ	イベントが発生すると通知されます。 クリックすると発生したイベント情報を確認できます。	
ネットワーク 接続状況	外部PCまたはモバイル端末によるネットワーク接続が行われているかを確認します。 クリックするとネットワーク接続状況を確認することができます。	
ディスク容量	ディスク容量の情報を表示します。 上書き中は「 OW 」と表示されます。 クリックするとディスク状態の詳細を表示します。	
日時表示	現在の日付と時刻が表示されます。	

2. 2 タイムライン

画面の右側にマウスカーソルを移動すると、タイムラインが表示されます。
ここでは簡易的に映像検索やバックアップを行うことができます。

タイムライン項目

タイムライン日付	現在のタイムラインの日付を表示します。 クリックするとカレンダーが表示され、タイムラインの日付を選択できます。	
タイムラインバー	録画データを時間で表示します。 録画モードごとに色分けされて表示されます。 緑: 連続録画 / 赤: アラーム録画 青: モーション録画 / 黄: 手動（パニック）録画 ・ タイムラインをダブルクリックすると、その時刻の再生画面に移動します。 ・ タイムライン上でドラッグ＆ドロップで範囲を選択して右クリックすると、メニューが表示されます。  サーチ（イベントサーチ） ： 選択された範囲の中で、イベントサーチを行います。 書出し ： 選択範囲の映像をバックアップします。 リザーブデータ ： 選択範囲の映像をリザーブデータに追加します	
タイムラインの拡大/縮小	タイムラインをズームイン/ズームアウトします。	
タイムライン上下	タイムラインを上下にスクロールします。 マウスホイールでも同様の操作が可能です。	

2．3　クイックメニュー

ライブ画面の各 CH の上でマウスを右クリックすると、クイックメニューが表示されます。

クイックメニュー項目

CH番号	現在のチャンネルの番号が表示されます。
再生	時刻を選択し、その時点からの映像を再生します。
ズーム	選択したチャンネルのデジタルズーム画面に移動します。 →　2-7頁　参照
静止画	ライブ映像のスナップショットをUSBメモリ等に保存します。

2．4　画面表示切換え

画面分割モードの切換えや、シーケンス表示を行います。

画面分割モードの選択

ステータス画面のアイコンからそれぞれの分割モードをクリックすると、画面表示が切り替わります。
リモコンの場合　・・・［ DISPLAY ］ボタンを押します。（押すたびに分割モード/シーケンス表示が切り替わります。）

- KB-SHR04Aは、1画面および 4分割画面が選択可能です。
- KB-SHR08Aは、1画面および 4 / 6 / 8 / 9 分割画面が選択可能です。
- KB-SHR16Aは、1画面および 4 / 6 / 8 / 9 / 16分割画面が選択可能です。

シーケンス表示

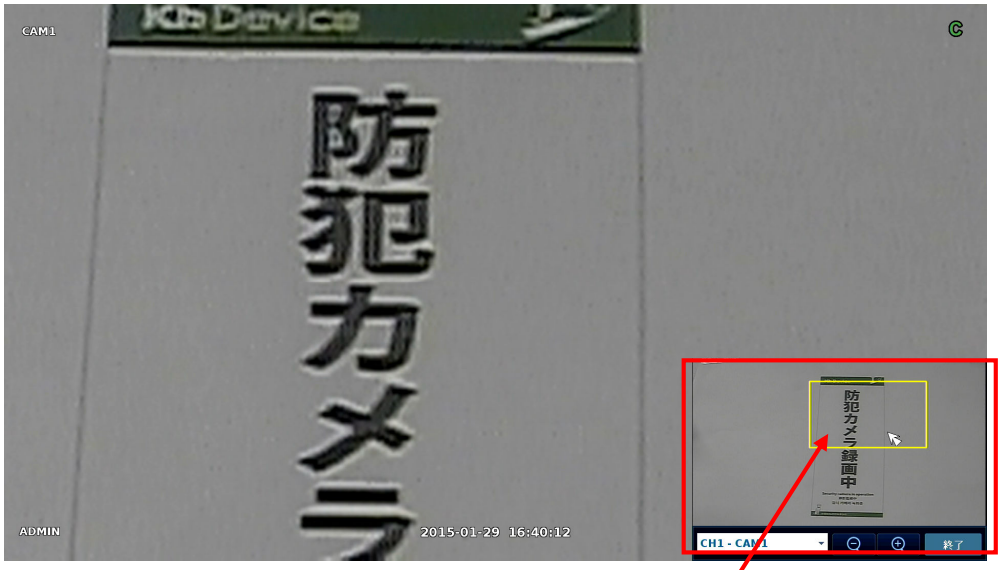
ステータス画面のアイコンから　自動切換え　をクリックすると、シーケンス表示モードになります。
リモコンの場合　・・・［ DISPLAY ］ボタンを押します。（押すたびに分割モード/シーケンス表示が切り替わります。）
シーケンスパターンの設定方法は　3-15 頁　を参照してください。

2．5　デジタルズーム

ライブ画面において、拡大表示したい箇所をデジタルズームすることができます。

1. ステータスバーの をクリックして、デジタルズーム画面に入ります。

またはいずれかの CH で右クリックし、< ズーム > を選択します。
リモコンの場合　・・・［ ZOOM ］ボタンを押します。



全体画面　：
黄色の枠をドラッグ＆ドロップすることで、表示箇所を移動します。
マウスホイールのスクロールで、ズームイン/ズームアウトを行います。

2. デジタルズーム画面で以下のようにズーム操作を行います。

CH1 - CAM1	デジタルズームを行うCHを選択します。 リモコンの場合　・・・　各CHボタン
	ズームアウトを行います。 リモコンの場合　・・・　巻戻しボタン
	ズームインを行います。 リモコンの場合　・・・　早送りボタン
終了	ライブ画面に戻ります。 リモコンの場合　・・・　< EXIT > ボタン

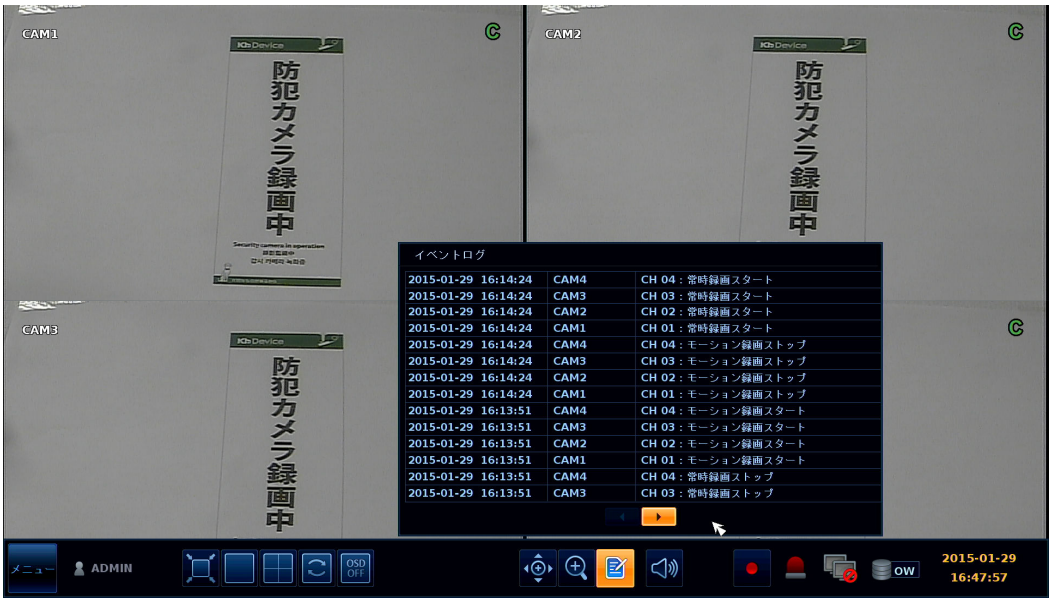
2．6　その他のライブ機能

イベントログ表示

発生したイベントのログを確認することができます。

1. ステータスバーの をクリックすると“イベントログ”ウィンドウが表示されます。
   リモコンの場合　・・・ ＜ LOG ＞ ボタンを押します。
   ログリストは最新のログが先頭になるようにソートされます。

2. ログの項目をダブルクリックすると、映像が再生されます。



音声出力 CH の選択

ライブ画面上で、どのカメラの音声を再生するかを選択します。

ステータスバーの をクリックし、対象の CH を選択します。

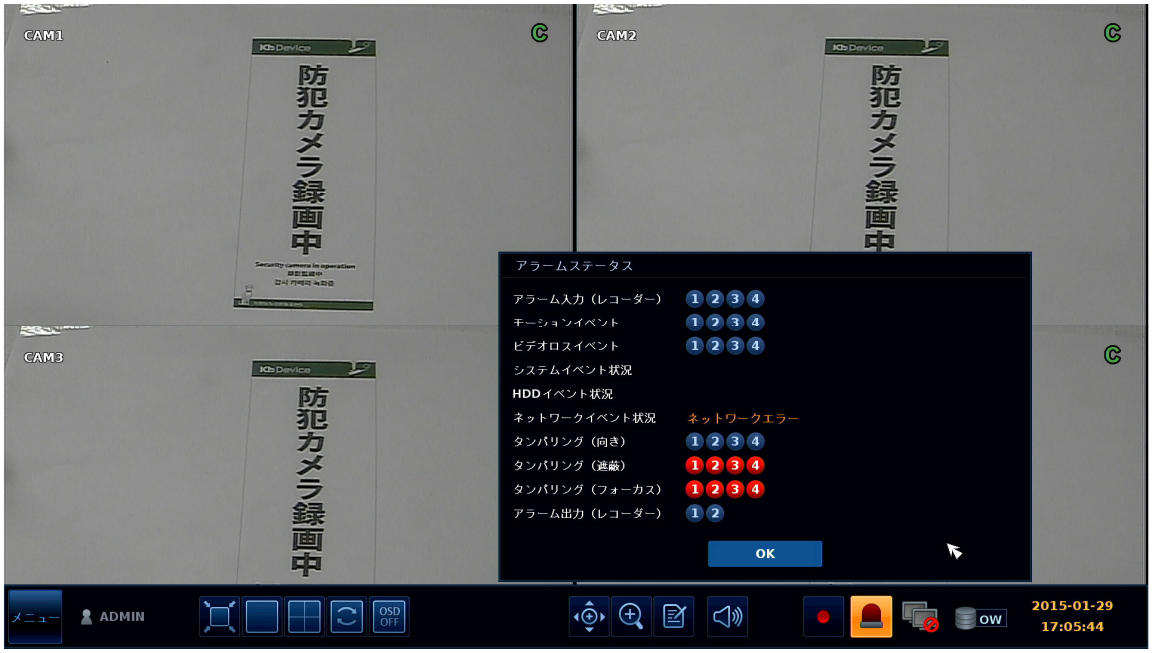
再度アイコンをクリックするとウィンドウを閉じます。

アラーム状態の確認

発生したイベント情報を確認することができます。.

ステータスバーの をクリックすると発生したアラーム等の情報が表示されます。

＜ OK ＞ をクリックするとウィンドウを閉じます。

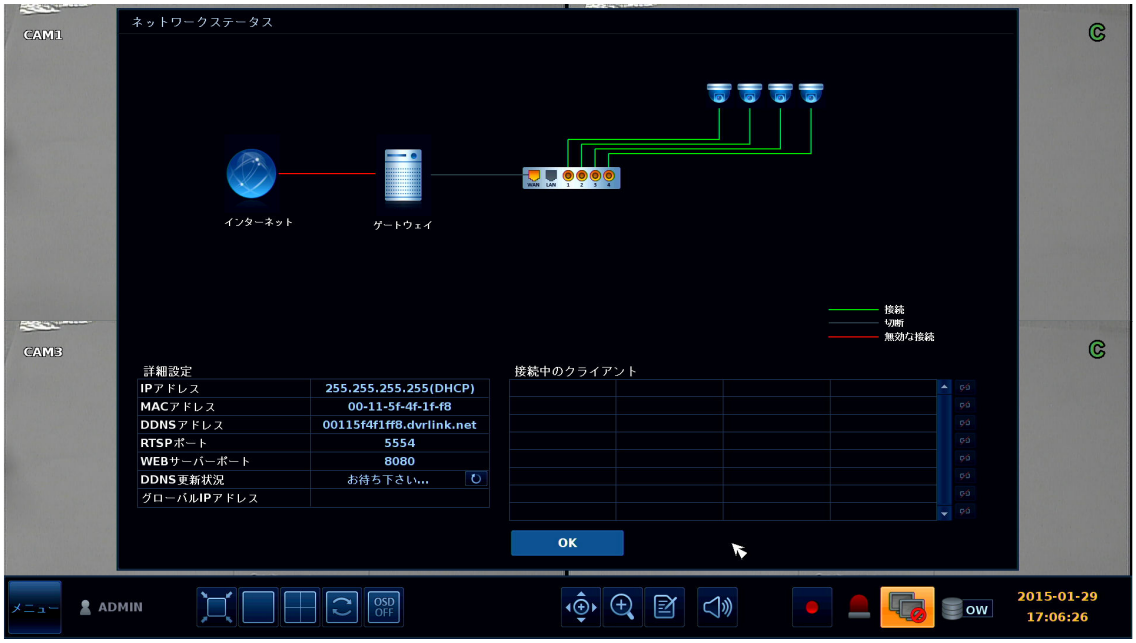


ネットワーク状態の表示

機器のネットワーク接続状態を確認することができます。

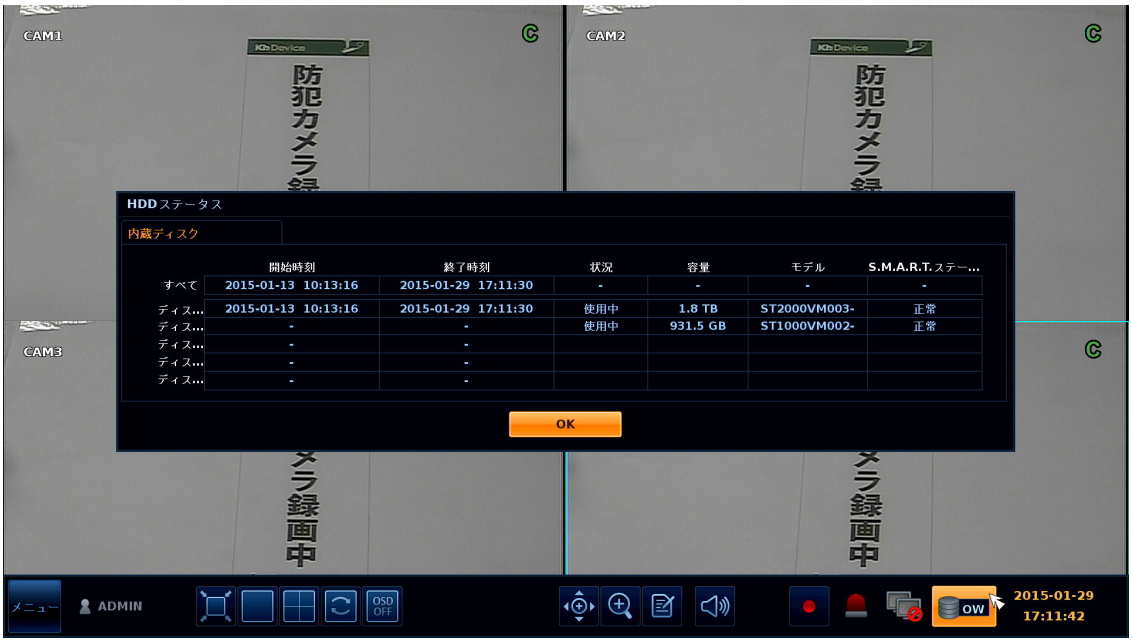
ステータスバーの をクリックすると発生したネットワーク状態が表示されます。

〈 OK 〉 をクリックするとウィンドウを閉じます。



ディスクの状態の表示

現在のストレージ容量等を確認することができます。



3章　各種設定

本機をお使いいただく上でのさまざまな設定を行います。

以下の手順でシステム設定画面に入ります。

マウス

リモコン１

リモコン２

それぞれのメニューを選択します。

【　設定メニューの操作　】

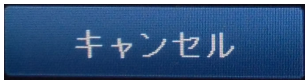
設定メニューの操作

設定箇所	設定方法
	ダブルクリックするとキーボードが表示されるので、文字を入力します。
	矢印をクリックして設定値を選択します。
	クリックすると次のページを表示します。
	クリックすると前のページを表示します。

【　設定を終えるとき　】

設定値を保存するときは画面下の「保存」を選択してください。

設定を終えるとき

画面下のアイコン	内容
	クリックすると設定値を破棄し、変更前の状態に戻ります。
	クリックすると変更した設定値を更新し、保存します。
	クリックすると設定メニューを閉じてライブ画面に戻ります。

3．1　カメラ

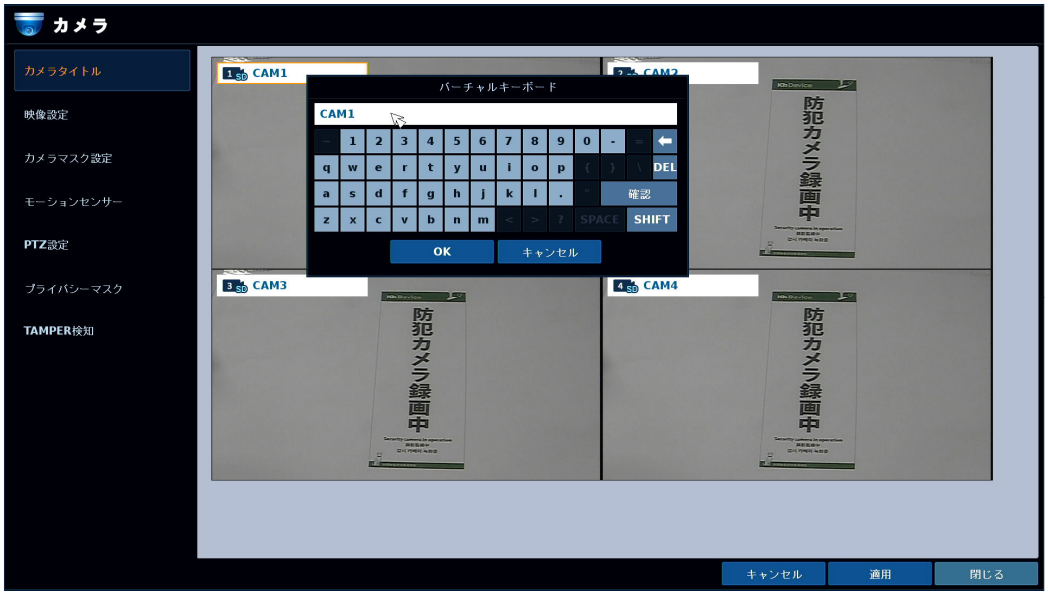
カメラのライブ機能等の設定を行います。
※　カメラごとの録画設定については　3．9　録画設定　を参照して下さい。

3．1．1　カメラタイトル

システム設定　＞　カメラ　＞　カメラタイトル

ライブ画面に表示するカメラタイトルの設定を行います。

それぞれの CH 左上のカメラ名をダブルクリックします。
表示されるキーボードでカメラタイトルを入力し、< OK > をクリックします。



※　設定値を保存するときは画面右下の 「適用」を選択してください。

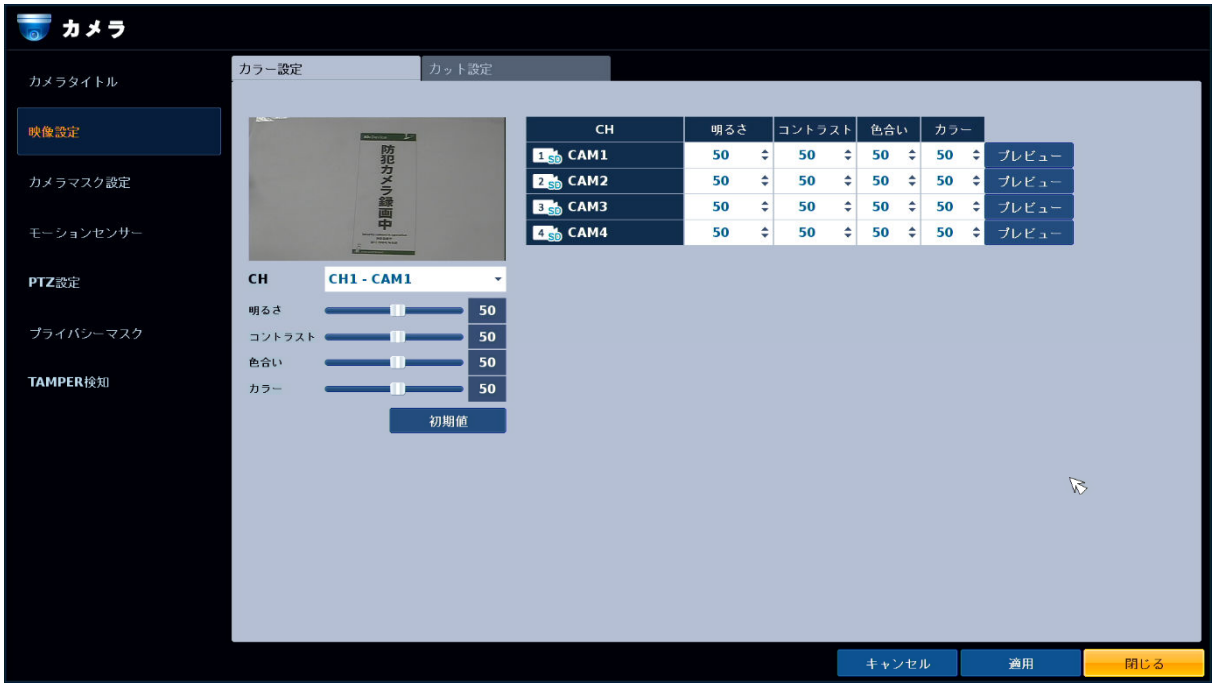
3．1．2　映像設定

システム設定　＞　カメラ　＞　映像設定

カラー設定

＞　画面上方の「カラー設定」タブをクリックして下さい。

カメラ映像の明るさ・コントラスト等の設定や、レンズのフォーカス調整を行います。



カラー設定メニューの項目

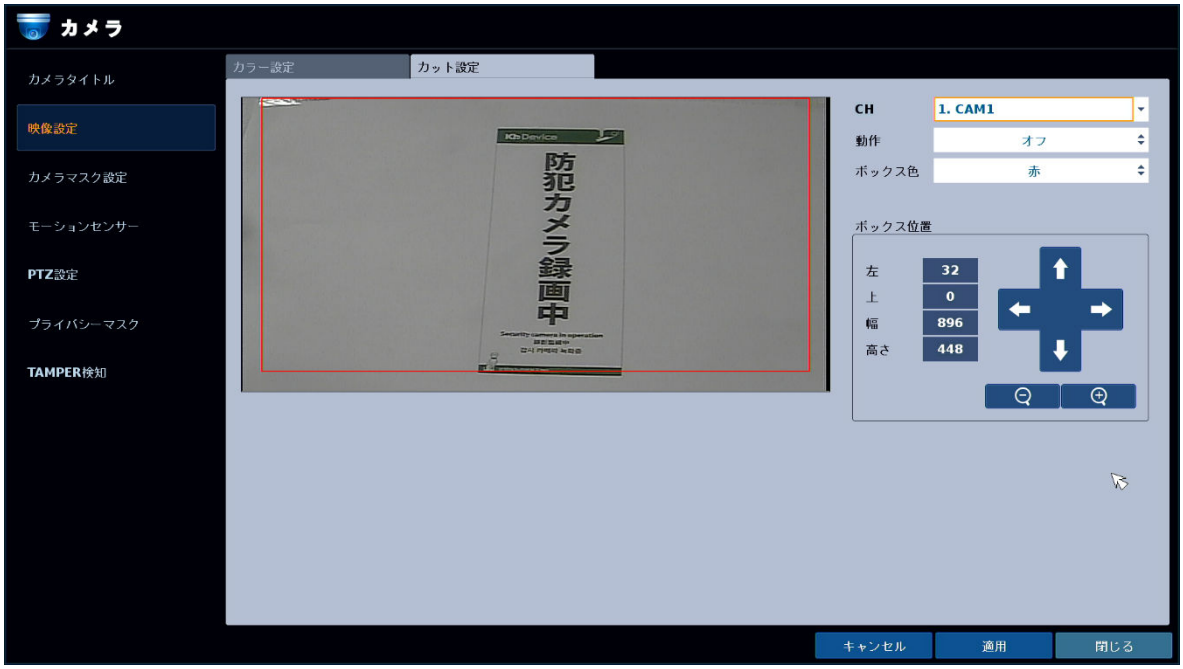
項目	説明
CH	設定を行うカメラ CH を選択します。
明るさ	映像の明るさを調節します。(設定範囲　：　0　～　100)
コントラスト	画面のコントラストを調節します。(設定範囲　：　0　～　100)
色合い	画面の彩度を調節します。(設定範囲　：　0　～　100)
カラー	画面のシャープネスを調節します。(設定範囲　：　1　～　100)
プレビュー	クリックすると大きな画面で映像を表示しながらカラー調整ができます。

※　設定値を保存するときは画面右下の 「適用」を選択して下さい。

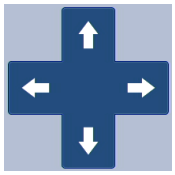
カット設定

＞ 「カット設定」タブをクリックして下さい。

カメラの一部を切り出して表示・録画をすることができます。



カット設定メニューの項目

項目	説明
CH	設定を行うカメラ CH を選択します。
動作	画面切り出しの有効/無効を選択します。(オン ／ オフ)
ボックス色	切り出し調整画面の枠色を選択します。
	上下左右の矢印をクリックし、切り出し画面の位置を調整します。
	クリックすると切り出す範囲が広くなります。
	クリックすると切り出す範囲が狭くなります。

※　設定値を保存するときは画面右下の 「適用」 を選択して下さい。

3．1．3　カメラマスク設定

システム設定　＞　カメラ　＞　カメラマスク設定

カメラ映像を、特定のユーザーグループに対して非表示にするよう設定を行います。

カメラマスク設定メニュー項目

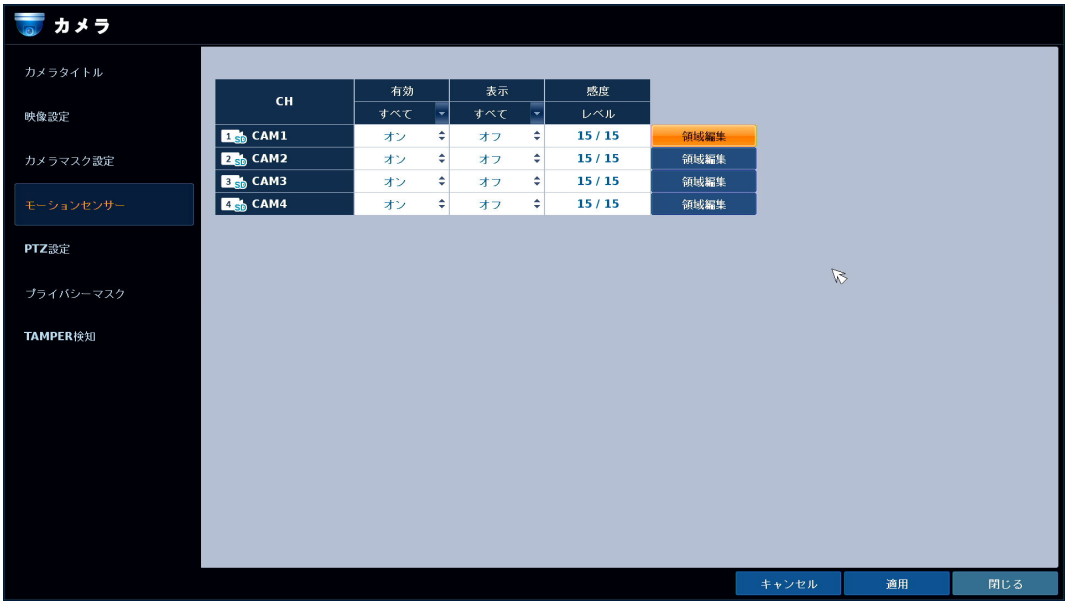
CH	ADMIN	MANAGER	USER	LOG OUT
CH1	“オン”にすると、ADMIN グループのユーザーは CH1 の映像を見られなくなります。	“オン”にすると、MANAGER グループのユーザーは CH1 の映像を見られなくなります。	“オン”にすると、USER グループのユーザーは CH1 の映像を見られなくなります。	“オン”にすると、レコーダーがログアウト状態のとき CH1 の映像を見られなくなります。
CH2	“オン”にすると、ADMIN グループのユーザーは CH2 の映像を見られなくなります。	“オン”にすると、MANAGER グループのユーザーは CH2 の映像を見られなくなります。	“オン”にすると、USER グループのユーザーは CH2 の映像を見られなくなります。	“オン”にすると、レコーダーがログアウト状態のとき CH2 の映像を見られなくなります。
・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・
画面表示	マスク中のCHの表記を設定します。	マスク中のCHの表記を設定します。	マスク中のCHの表記を設定します。	マスク中のCHの表記を設定します。

※　設定値を保存するときは画面右下の 「適用」を選択してください。

3．1．4　モーションセンサー

システム設定　＞　カメラ　＞　モーションセンサー設定

カメラ映像からモーション検知をおこなうかどうかの設定ができます。



モーションセンサー設定メニューの項目

項目	説明
有効	“オン” にすると、モーション検知が有効になります。
表示	“オン” にすると、モーション検知箇所にカラーブロックを表示します。
感度	モーションを検知する感度を設定します。(ダブルクリック)
領域編集	モーション検知をおこなう領域を設定します。

【　感度設定　】

＞　各 CH の「感度」の項目をダブルクリックすると、感度設定画面が表示されます。

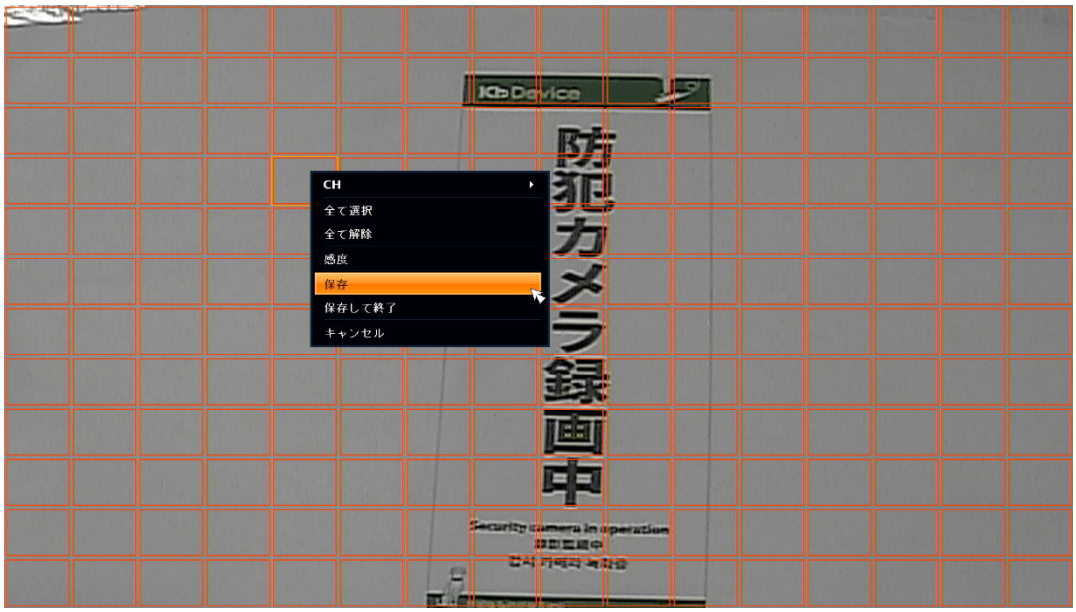
CH	感度設定をおこなう CH を選択します。
デイ	昼間を定義する時刻を設定します。
感度/レベル	デイ(昼間)とナイト(夜間)それぞれのモーション検知感度を設定します。 (1～30)

※　設定値を保存するときは画面右下の 「適用」を選択して下さい。

【　領域編集　】

＞　各 CH の「領域編集」をクリックして下さい。 モーション検知エリアの設定を行います。

画面上でドラッグ&ドロップ操作をし、モーション検知エリアを選択します。
色がついているブロックが、モーション検知が有効となるエリアです。
画面上で右クリックするとメニューを表示します。



右クリックメニュー

CH	モーション領域設定をおこなう CH を選択します。
全て選択	画面の全領域をモーション有効にします。
全て解除	画面の全領域をモーション無効にします。
感度	感度設定画面を表示します。
保存	現在の領域設定を保存します。
保存して終了	現在の領域設定を保存し、前画面へ戻ります。
キャンセル	現在の領域設定を破棄し、前画面へ戻ります。

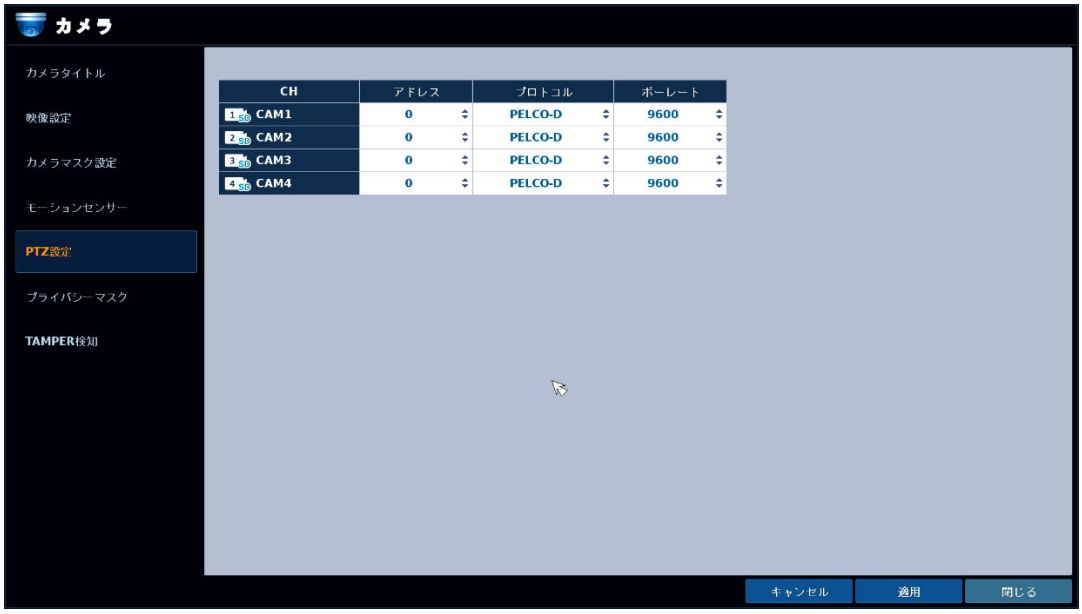
※　設定値を保存するときは画面右下の 「適用」を選択して下さい。

3．1．5　PTZ 設定

システム設定　＞　カメラ　＞　PTZ 設定

レコーダー本体に RS-485 制御の PTZ カメラを接続している場合、以下の設定を行います。

※　カメラの設定値と同じになるように設定します。



PTZ 設定メニューの項目

項目	説明
アドレス	PTZ カメラの ID を設定します。
プロトコル	PTZ カメラのプロトコル(カメラモデル名)を選択します。
ボーレート	PTZ カメラのボーレート(通信速度)を選択します。 (2400/4800/9600/19200/38400/57600/115200)

※　設定値を保存するときは画面右下の 「適用」を選択してください。

3．1．6 プライバシーマスク

システム設定 ＞ カメラ ＞ プライバシーマスク

プライバシー保護のため、カメラの一部にマスク（目隠し）をかけることができます。

【 有効 】

＞ 画面上部の「有効」タブをクリックします。

プライバシーマスクの項目

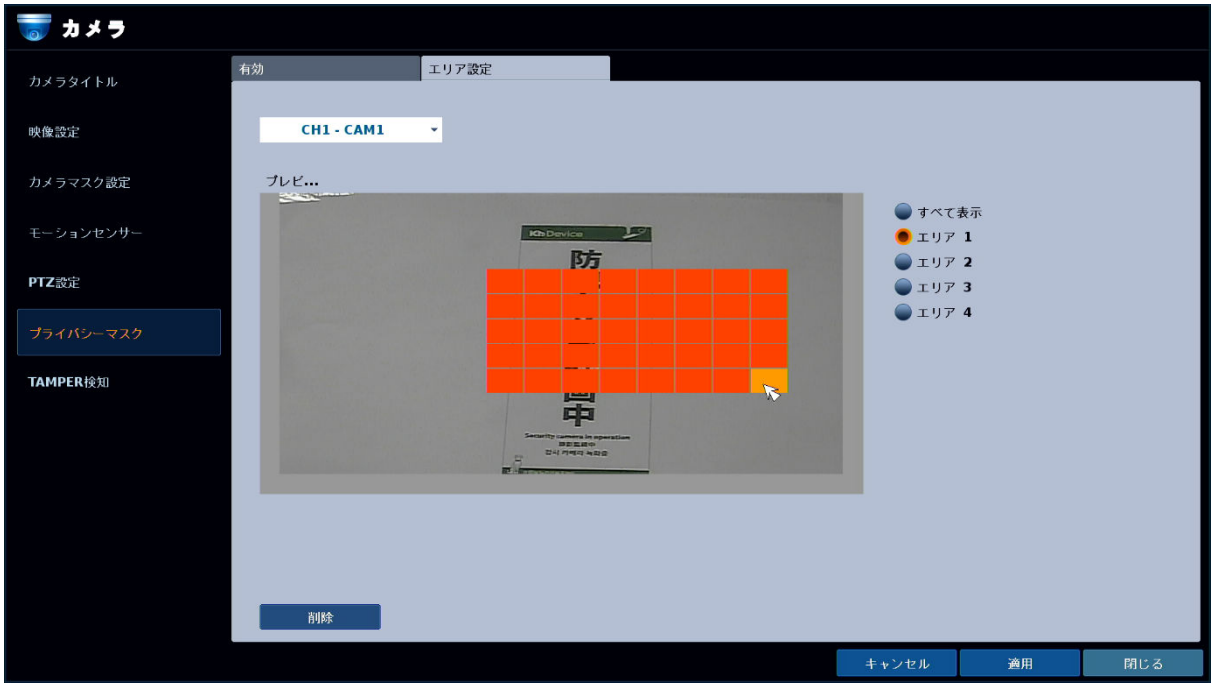
項目	説明
有効	プライバシーマスクの有効/無効を選択します。（オン/オフ）
マスク表示色	PTZ カメラのプロトコル(カメラモデル名)を選択します。

※ 設定値を保存するときは画面右下の 「適用」 を選択してください。

【 エリア設定 】

＞　画面上部の「エリア設定」タブをクリックします。

プライバシーマスクをかける領域を設定します。
画面上でドラッグ＆ドロップ操作にて領域を指定します。
1CH につき 4 つの領域を設定することができます。



項目	説明
CH	エリア設定をおこなう CH を選択します。
すべて表示	設定したエリアをすべて表示します。
エリア 1～エリア 4	1～4 のいずれかを選択し、画面上で領域を指定します。
削除	設定した領域を削除します。

※　設定値を保存するときは画面右下の 「適用」を選択してください。

3．1．7　TAMPER(いたずら)検知

システム設定　＞　カメラ　＞　TAMPER 検知

カメラに対して衝撃を与えたり、布などを被せたりするいたずらがあった際にそれを検知する設定をすることができます。

TAMPER 検知の項目

項目	説明
有効	いたずら検知の有効/無効を選択します。(オン/オフ)
表示	いたずらを検出している間、アイコン表示をおこなうかどうかを選択します。(オン/オフ)
感度	いたずらを検知する感度を設定します。(ダブルクリック) ※詳細の設定方法は 3-7 頁の **【感度設定】** を参照してください。

3．2　ディスプレイ

レコーダーのライブ画面についての設定を行います。

3．2．1　ディスプレイ設定

システム設定　＞　ディスプレイ　＞　ディスプレイ

ディスプレイ設定メニューの項目

項目	説明
カメラタイトル	カメラタイトルの表示の有効（オン）/無効（オフ）を選択します。
イベントアイコン	イベントアイコンの表示の有効（オン）/無効（オフ）を選択します。
全画面表示時の ステータスバー	ライブ画面でステータスバーを表示させる時間を設定します。 （自動的に隠す/常にオン/ 5 秒/ 10 秒/15 秒/20 秒/30 秒/1 分）
全画面表示時の タイムライン	ライブ画面でタイムラインを表示させる時間を設定します。 （自動的に隠す/常にオン/ 5 秒/ 10 秒/15 秒/20 秒/30 秒/1 分）
ズーム PIP	デジタルズーム画面の右下に表示されるウィンドウ表示を自動的に隠すか、常に表示するかを設定します。（常にオン/1 秒/3 秒/5 秒）
境界線	各 CH 間の境界線の表示（オン）/非表示（オフ）を選択します。
境界線の色	各 CH 間の境界線の色を選択します。（グレー/黄/青/緑/赤/白）
ユーザ名	ログイン中のユーザー名の表示の有効（オン）/無効（オフ）を選択します。
言語	システムの表示言語を選択します。

※　設定値を保存するときは画面右下の 「適用」を選択してください。

3．2．2　モニター設定

システム設定　＞　ディスプレイ　＞　モニター

シーケンス表示の切換え時間を設定します。

モニター設定メニューの項目

項目	説明
シーケンス切換時間	シーケンス表示の画面を切換えるインターバル（待機時間）を設定します。 （1 秒/2 秒/3 秒/5 秒/ 10 秒/15 秒/20 秒/30 秒/40 秒/60 秒）
スポット画面切換時間	スポット出力の CH 切換時間（インターバル）を設定します。 （1 秒/2 秒/3 秒/5 秒/ 10 秒/15 秒/20 秒/30 秒/40 秒/60 秒）
画面比率	カメラ映像の縦横比を設定します。（16:9 / 4:3）
モニター解像度	メインモニター出力の解像度を設定します。 （自動 / 1920x1080 / 1280x720 / 1280x1024） **注意：** 接続するモニターによっては設定変更をおこなうと映像表示ができないことがあるため、**「自動」から変更しないことを推奨します。**

3．2．3　シーケンス

システム設定　＞　ディスプレイ　＞　シーケンス

画面自動切換（シーケンス表示）のパターンを設定します。

※ 初期設定では、各 CH を順番に 1 画面表示する 「DEFAULT」 が登録されています。

新しく自動切換パターンを作成する場合は、以下のような手順になります。

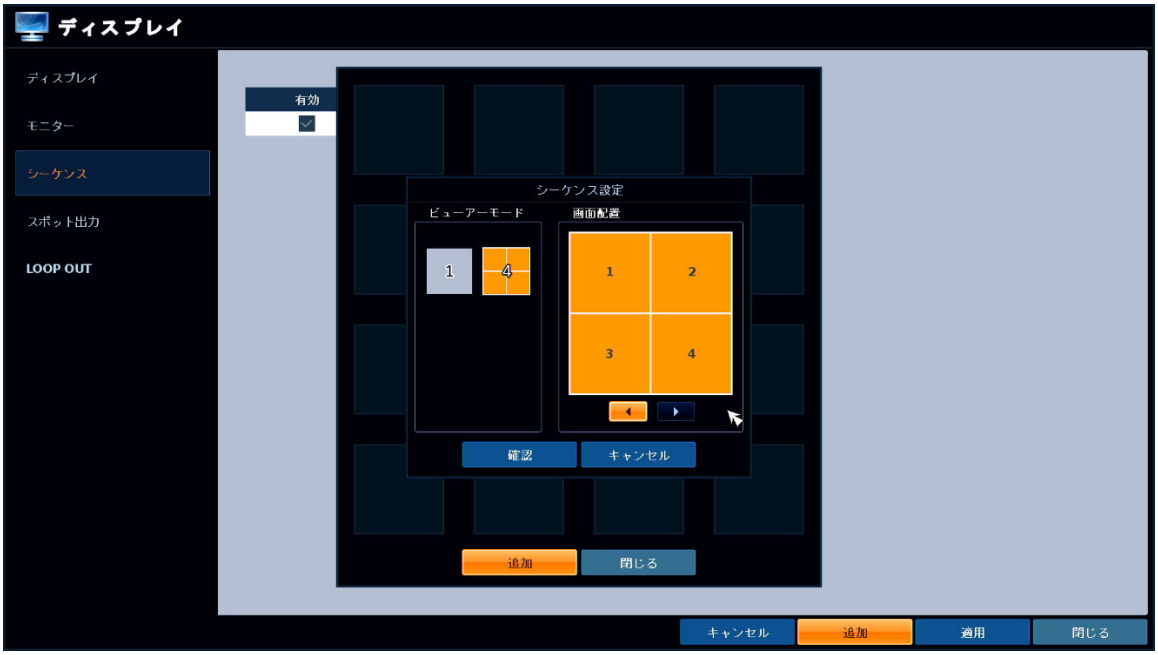
1. 「追加」 を選択します。下のようなウィンドウが表示されます。

2. 「シーケンス名」 をダブルクリックして、キーボードで任意の名前を入力します。
   作成したシーケンス設定を実際に動作させるには、「有効」 を　オン　に設定します。

3. 「保存」 を選択します。新たにウィンドウが表示されます。

4. 「追加」 を選択します。

5. ＜ ビューアーモード ＞ の中から、表示する画面の分割モードを選択します。
分割画面の場合は ＜ 映像調整 ＞ の左右の矢印をクリックして、CH のレイアウトを指定します。



6. 「確認」 をクリックします。

7. 上記 *4. ～6.* を繰返して自動切換パターンを作成します。

※ 登録した画面レイアウトを選択すると、その画面レイアウトの設定変更および削除ができます。

8. 「閉じる」 を選択して作成を終了します。

※ 「有効」 にチェックが入っているシーケンスパターンがライブ画面で実際に動作します。

※ 設定値を保存するときは画面右下の 「適用」 を選択してください。

3．2．4　スポット出力

システム設定　＞　ディスプレイ　＞　スポット出力

スポット出力画面の表示パターンを設定します。

※　当機種のスポット出力は2種類あります。

AUX 端子　・・・　カメラすべての映像を分割表示で出力することができます。

SPOT 端子　・・・　最大 4 分割画面でシーケンス表示にて映像出力をします。

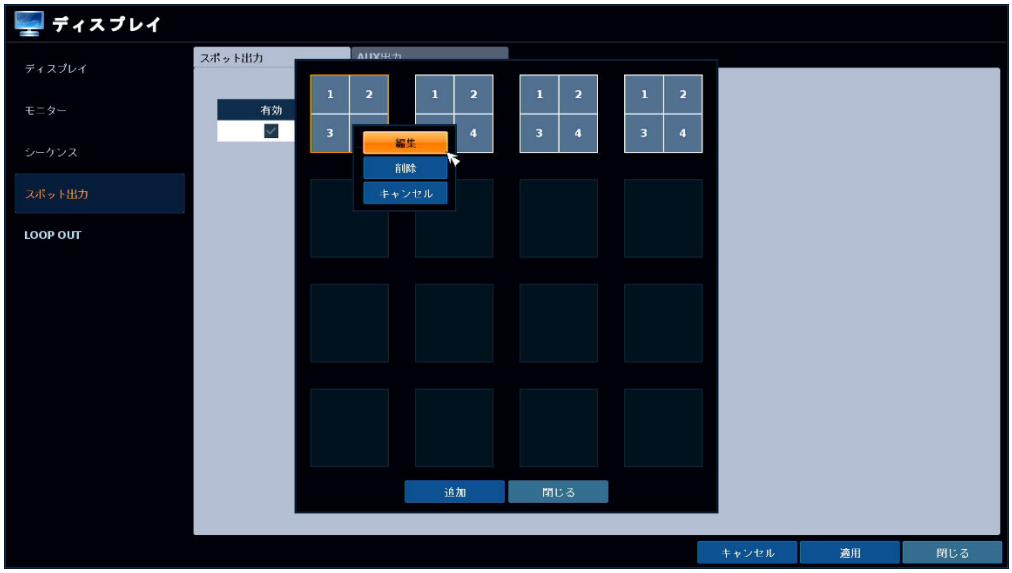
設定手順：

1. 画面上部のタブで、【スポット出力】or【AUX 出力】を選択します。

2. 「リスト」 の中から設定する項目をダブルクリックします。

3. 「編集」 をクリックします。

4. すでに登録されている表示タイルを編集する場合は、表示タイルを右クリックし「編集」を選択します。
※　表示タイルを削除する場合は、右クリック→「削除」を選択します。



5. ＜ ビューアーモード ＞ の中から、表示する画面の分割モードを選択します。
分割画面の場合は ＜ 映像調整 ＞ の左右の矢印をクリックして、CH のレイアウトを指定します。

6. 「確認」 をクリックします。

7. 上記 *4. ～6.* を繰返して自動切換パターンを作成します。

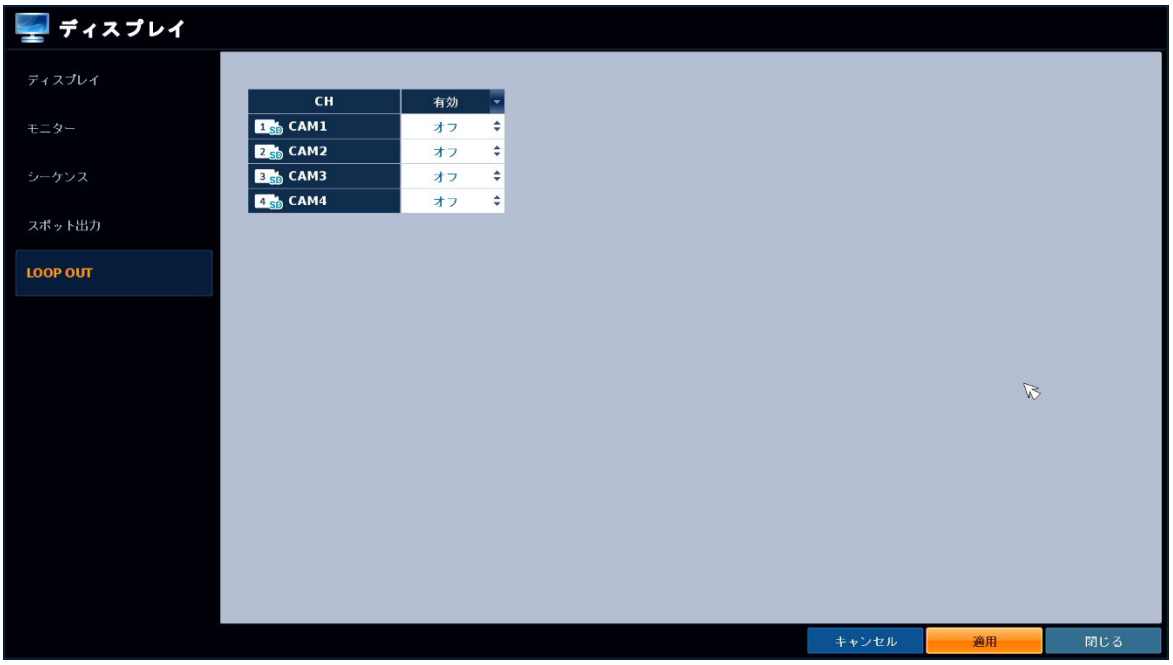
8. 「閉じる」 を選択して作成を終了します。

※　設定値を保存するときは画面右下の 「適用」 を選択してください。

3．2．5　LOOP OUT

システム設定　＞　ディスプレイ　＞　LOOP OUT

スルー出力のオン/オフを設定します。



LOOP OUT メニューの項目

項目	説明
有効	各 CH 毎に、スルー出力端子の有効/無効を選択します。(オン/オフ)

※　設定値を保存するときは画面右下の 「適用」を選択してください。

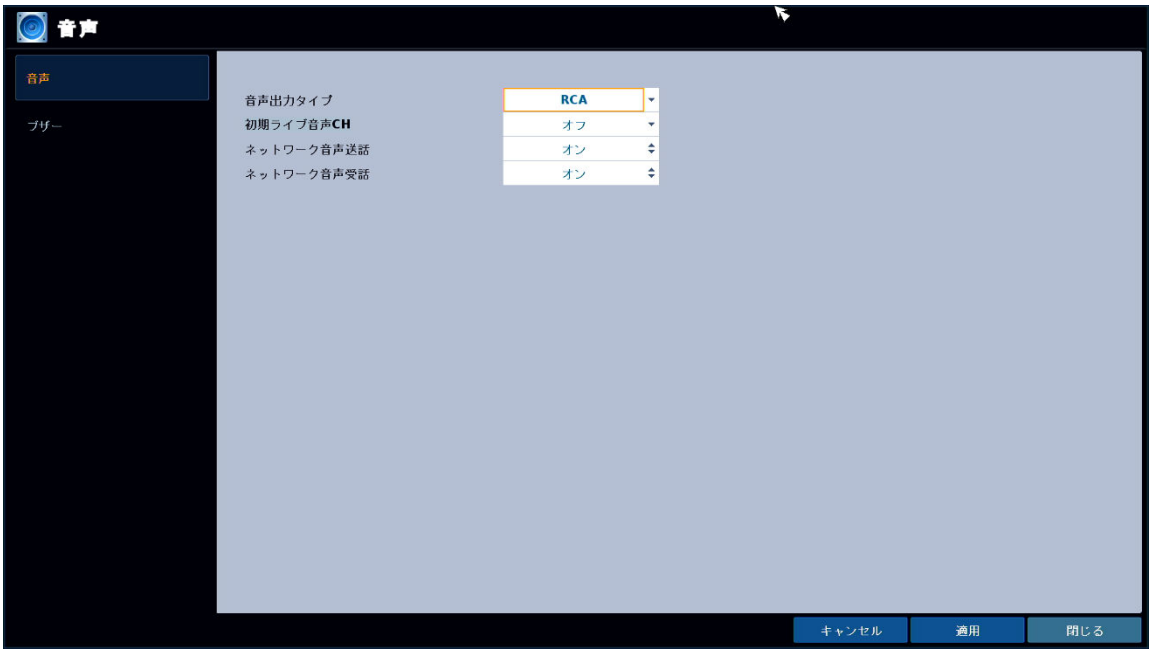
3．3　音声

ライブ・ネットワーク音声やブザー音の設定を行います。

3．3．1　音声設定

システム設定　＞　音声　＞　音声

ライブ音声やネットワーク音声双方向通信の設定を行います。



音声設定メニューの項目

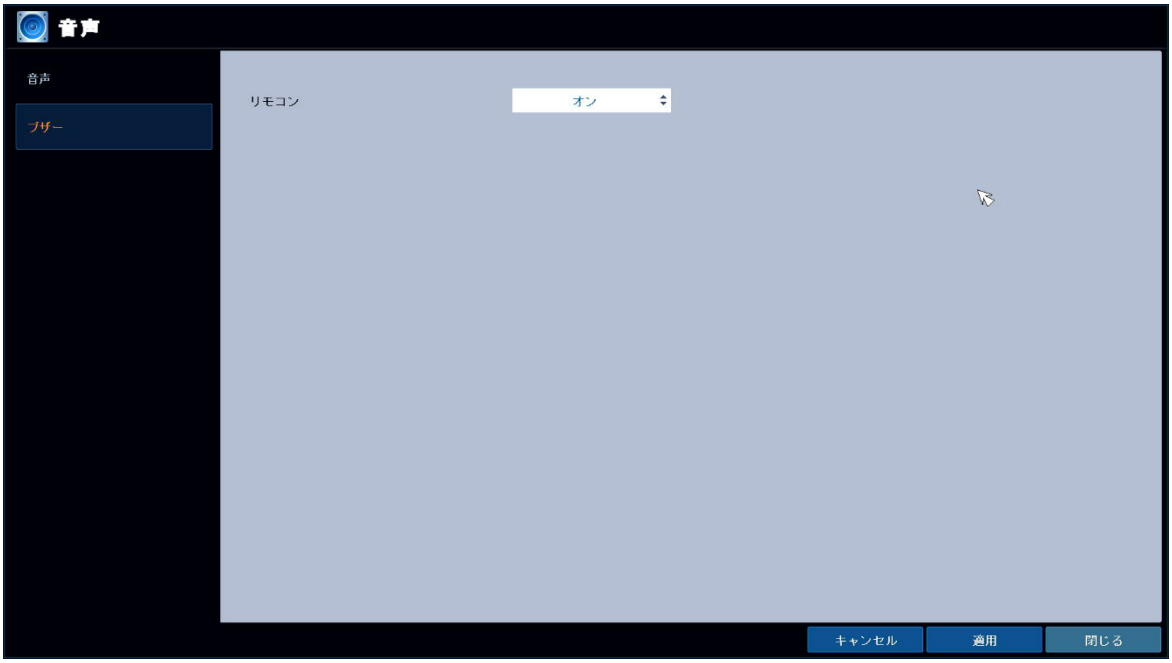
項目	説明
音声出力タイプ	音声出力を RCA 端子から出力するか、HDMI ケーブルに重畳して出力するかを設定します。(RCA/HDMI)
初期ライブ音声 CH	ライブ画面で出力する音声の初期 CH を指定します。(オフ/CAM1～CAM16)
ネットワーク音声送信	遠隔監視時、クライアント PC への音声送信の有効(オン)/無効(オフ)を設定します。
ネットワーク音声受信	遠隔監視時、クライアント PC からの音声受信の有効(オン)/無効(オフ)を設定します。

※　設定値を保存するときは画面右下の 「適用」を選択してください。

3．3．2 ブザー設定

システム設定 ＞ 音声 ＞ ブザー

キー操作音の設定を行います。



ブザー設定メニューの項目

項目	説明
リモコン	リモコン操作時にブザー音を鳴らす（オン）か鳴らさない（オフ）かを選択します。

※　設定値を保存するときは画面右下の 「適用」を選択してください。

3．4　ユーザー

新規ユーザーアカウントの登録やパスワードの変更等を行います。

3．4．1　ユーザー管理

システム設定　＞　ユーザー　＞　管理

登録されているアカウントのリストが表示されます。

ユーザー管理設定メニューの項目

項目	説明
ユーザーID	ユーザー名が表示されます。
グループ	ユーザーの権限（ADMIN/MANAGER/USER）が表示されます。 **ADMIN** ： 全操作が可能です。 **MANAGER ／ USER** ： 3．4．2　グループ権限　で許可された項目のみ操作できます。
カメラマスク	カメラマスクを設定した CH が表示されます。
メール	入力したメールアドレスが表示されます。
メール通知	メール送信が有効な場合、チェックが入ります。

※　設定値を保存するときは画面右下の 「適用」を選択して下さい。

【　新規アカウントの作成　】

新規アカウントを作成する場合は、以下のような手順になります。

1. 「追加」 を選択します。

2. 「ユーザーID」 および 「パスワード」 を入力します。

3. 「権限」 を　ADMIN ／ MANAGER ／ USER　から選択します。
それぞれの権限については、3．4．2　グループ権限　で設定します。

4. メール通知機能を利用する場合は、「メール」 に送信先のメールアドレスを入力し、「メール通知」を 「オン」 にします。

5. ＜ カメラマスク ＞ を有効にする場合は、マスクをかける CH 番号にチェックを入れます。

6. 「OK」 を選択します。

※　設定値を保存するときは画面右下の 「適用」 を選択してください。

3．4．2 グループ権限

システム設定 ＞ ユーザー ＞ グループ権限

3．4．1 ユーザー管理 で 「MANAGER」 または 「ユーザー」 のユーザーを作成した場合、その操作権限を設定できます。

以下の項目の操作を制限することができます。
チェックを外した項目は、その権限では操作ができなくなります。
設定を有効にするには、 システム ＞ システム管理 の 「パスワード」 を 「ON」 にして下さい。
（ 3-31 頁参照 ）

グループ権限設定メニューの項目

項目	説明
サーチ	過去映像の検索を行う権限です。
バックアップ	映像のバックアップを行う権限です。
システム設定	システム設定の変更を行う権限です。
録画設定	録画設定の変更を行う権限です。
イベント動作の制御	アラーム等のイベント発生時にアラーム出力やブザー制御を行う権限です。
オーディオを聞く	カメラの音声を聞く権限です。
マイク	レコーダーにマイク入力を行う権限です。
リモートログイン	ネットワークから本機に遠隔接続を行う権限です。
シャットダウン	本機をシャットダウンする権限です。

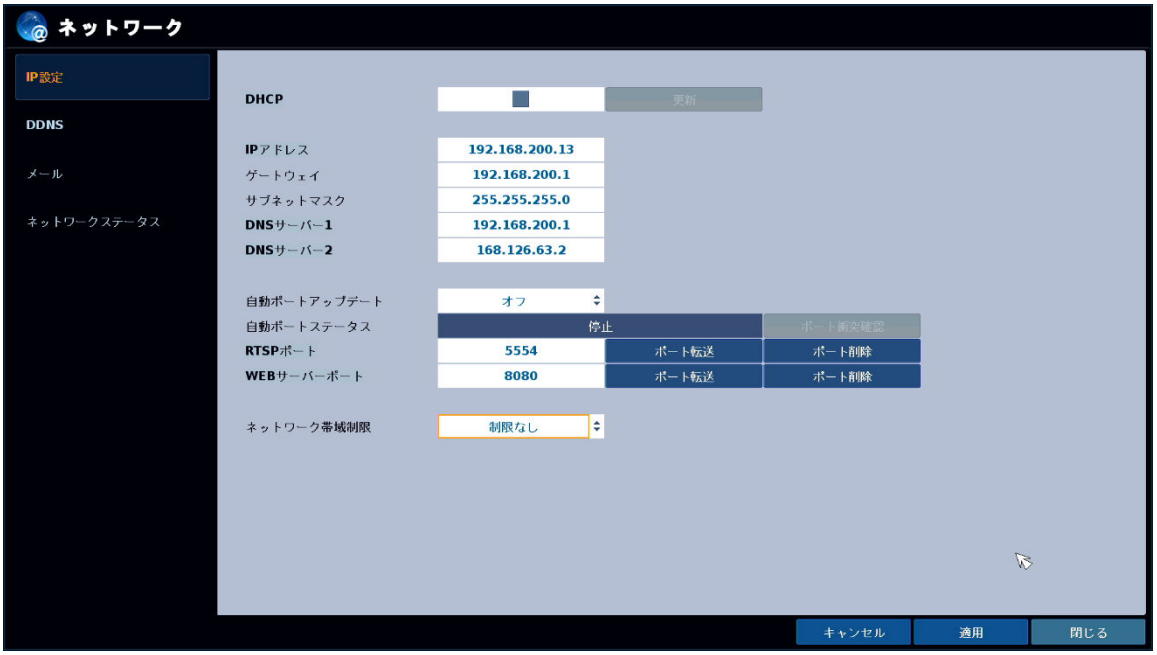
※ 設定値を保存するときは画面右下の 「適用」 を選択してください。

3．5　ネットワーク

本機の IP アドレスやメールの設定を行います。

3．5．1　IP 設定

システム設定　＞　ネットワーク　＞　IP 設定



IP 設定メニューの項目

項目	説明
DHCP	チェックを入れると、利用可能な IP アドレスを自動取得します。
IP アドレス	固定 IP アドレスを使用する際は、ここに IP アドレスを入力します。
ゲートウェイ	固定 IP アドレスを使用する際は、ここにゲートウェイを入力します。
サブネットマスク	固定 IP アドレスを使用する際は、ここにサブネットマスクを入力します。
DNS サーバー1	固定 IP アドレスを使用する際は、ここに優先 DNS サーバーを入力します。
DNS サーバー2	固定 IP アドレスを使用する際は、ここに代替 DNS サーバーを入力します。
自動ポートアップデート	使用しません。
自動ポートステータス	使用しません。
RTSP ポート	ネットワークストリーミングに使用するポート番号を指定します。（1024～9999）
WEB サーバーポート	WEB ブラウザおよび同梱のクライアントソフトから本機にアクセスする際に使用するポート番号を指定します。（80 または 1024～9999）
ネットワーク送信速度	ネットワーク接続時の最大速度を設定します。（最大/256Kbps/512Kbps/1Mbps/2 Mbps/4 Mbps/8 Mbps/16 Mbps/32 Mbps）

※　設定値を保存するときは画面右下の 「適用」を選択してください。

3．5．2　DDNS 設定

システム設定　＞　ネットワーク　＞　DDNS

弊社指定の DDNS サーバーを使用して、本機の IP アドレスを任意のドメイン名に変換することができます。

DDNS 設定メニューの項目

項目	説明
DDNS	DDNS を利用する場合は 「オン」 に設定します。
DDNS サーバー	使用する DDNS サーバーが表示されます。 **※「dvrlink.net」 以外は使用できません。** （弊社指定のサーバーを使用します。）
レコーダー名	DDNS のドメイン名を入力します。 ※　初期値は本機の MAC アドレスが入力されています。 **DDNS を利用する場合は、入力後に必ず 「DDNS 登録テスト」 をクリックして下さい。** **サーバーにホスト名が登録完了すると、「成功」 と表示されます。**
ユーザー名	使用しません。
パスワード	使用しません。
DVR 接続アドレス	本機のドメイン名が表示されます。 外部からの接続時、IP アドレスがこのドメイン名となります。 **DDNS を利用する場合は、入力後に必ず 「DDNS 接続テスト」 をクリックして下さい。**

※　設定値を保存するときは画面右下の 「適用」 を選択してください。

DDNS を利用した遠隔からの接続

※　例として「レコーダー名」を「kbdevice」と設定した場合、本機の IP アドレスは「kbdevice.dvrlink.net」に変換されます。
この場合、Internet Explorer でアクセスするときの URL は http://kbdevice.dvrlink.net:8080/ になります。（初期ポート番号 8080 の場合）

※DDNS サービスのご利用について（免責事項 ）

DDNS サービスのご利用の際は下記の内容に同意したうえでご利用下さい。

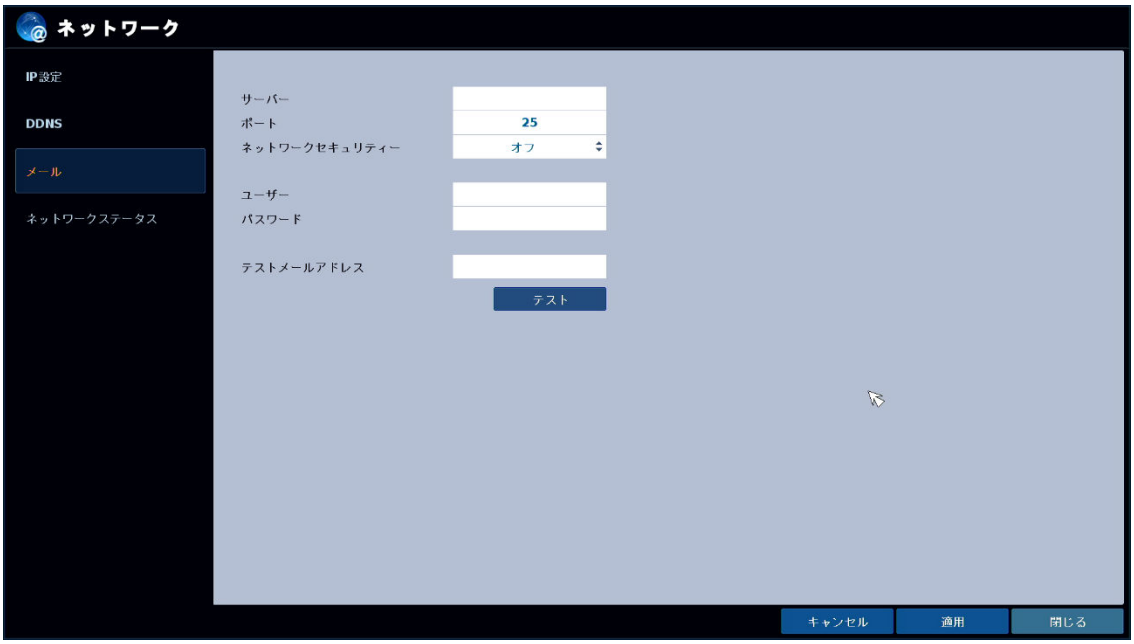
・DDNS サービスのご利用はお客様の責任の下でご利用下さい。

・DDNS サービスを利用することにより発生した損害、または第三者に対して損害を与えた場合について弊社は一切の責任を負わないものとし、損害賠償する義務はないものとします。

3．5．3　メール設定

システム設定　＞　ネットワーク　＞　メール

イベント発生時に送信するメールの設定を行います。
どのイベントでメール通知をするかの設定は、 3．8　イベント　で行います。



メール設定メニューの項目

項目	説明
サーバー	メール送信に使用するメールサーバーを入力します。
ポート	メール送信に使用するポート番号を入力します。
ネットワーク セキュリティー	使用するメールサーバーがパスワード認証を必要とする場合、「オン」 に設定します。
ユーザー	使用するメールサーバーがパスワード認証を必要とする場合、ユーザーを入力します。
パスワード	使用するメールサーバーがパスワード認証を必要とする場合、パスワードを入力します。
テストメールアドレス	テストメール用の送信先アドレスを入力します。
テスト	「テスト」 をクリックすると、上記アドレスにテストメールが送信されます。

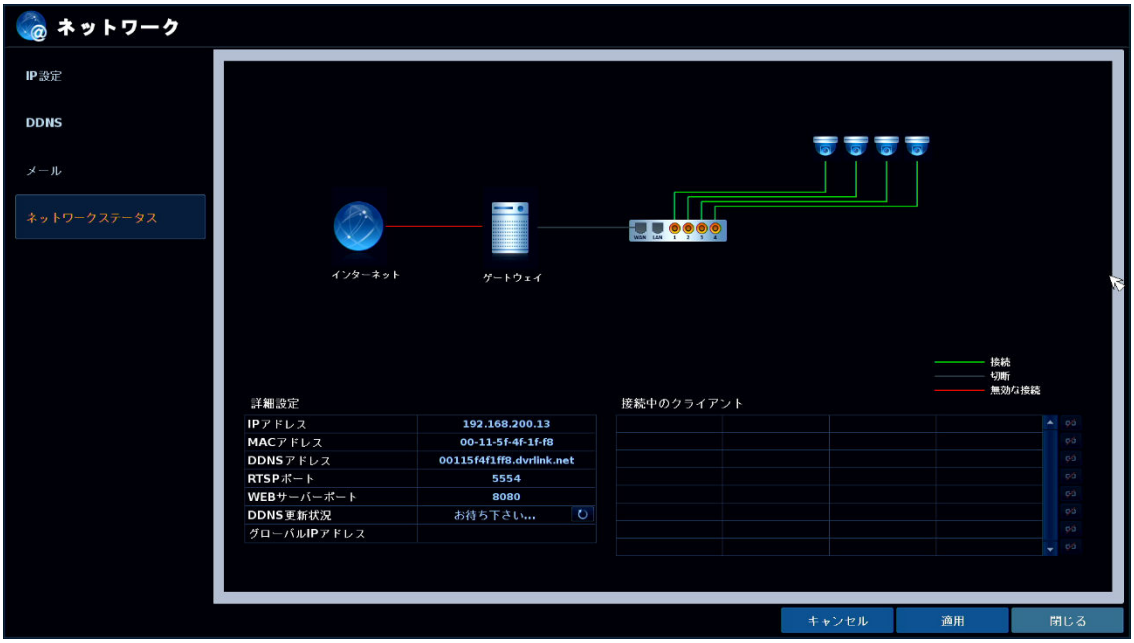
※　設定値を保存するときは画面右下の 「適用」を選択してください。

3．5．4　ネットワークステータス

システム設定　＞　ネットワーク　＞　ネットワークステータス

ネットワーク系統図

機器のネットワーク接続状況が確認できます。



ネットワーク系統図の項目

項目	説明
IP アドレス	本機のローカル IP アドレスが表示されます。
MAC アドレス	本機の MAC アドレスが表示されます。
DDNS アドレス	本機の DDNS アドレスが表示されます。
RTSP ポート	本機の RTSP ポートが表示されます。
WEB サーバーポート	本機の WEB サーバーポートが表示されます。
DDNS 更新状況	DDNS 更新の状況が表示されます。
グローバル IP アドレス	本機のグローバル（WAN 側）IP アドレスが表示されます。

3．6　システム

本機の日時設定やリモコン設定、システム情報の確認を行います。

3．6．1　日時設定

システム設定　＞　システム　＞　日時設定

日時設定メニューの項目

項目	説明
日付/時刻	をクリックして、現在の日付・時刻を設定します。
日付表示形式	日付の表示形式を選択します。(月/日/年，日/月/年，年/月/日)
時刻表示形式	時刻の表示形式を選択します。(24 時間，AM/PM)
タイムサーバー	ネットワーク時刻同期(NTP)を行うサーバーを入力します。 をクリックすると、その時点での時刻同期を行います。 ※この機能を利用するには、NTP サーバーへの接続が必要です。
自動時刻同期	「オン」 にすると、ネットワーク時刻同期(NTP)を自動で行います。
同期時刻	時刻同期を行う時刻を設定します。
タイムゾーン	**「GMT+09:00 Asia/Tokyo」 から変更しないで下さい。** ※変更されると、時刻ずれの原因となります。
サマータイム	「オフ」 から変更しないで下さい。 ※変更されると、時刻ずれの原因となります。

※　設定値を保存するときは画面右下の 「適用」 を選択してください。

3．6．2 システム管理

システム設定 ＞ システム ＞ システム管理

システム管理メニューの項目

項目	説明
FW アップデート	＜ USB ＞ をクリックすると USB メモリからファームウェアを読込み、アップデートを行います。 詳しくは本項目の **【 FW アップデート 】** を参照して下さい。
工場出荷時設定	＜ 読込み ＞ をクリックすると、本機の設定を工場出荷時の初期設定に戻します。 ※ **実行すると、すべての設定が初期状態に戻ります。**
メニュー設定のコピー/ロード	＜ 保存 ＞ をクリックすると、設定内容を USB メモリにバックアップします。 ＜ 読込み ＞ を選択すると、USB メモリに保存したシステム設定内容を読み込みます。
システム ID	本機の名称を入力します。
パスワード	検索画面や設定画面に入る際、パスワード入力を求める（オン）か求めない（オフ）かを選択します。 ※ **安全に運用するために、必ず オン に設定して下さい。**
パスワードの有効期間	設定すると、一定期間が経過したときにパスワードの変更を求められます。 （使用不可/1 ヶ月/2 ヶ月/4 ヶ月/6 ヶ月/12 ヶ月）
オートログオフ	オン にすると、一定期間が経過したときにユーザーがログアウトされます。
待機時間	オートログオフを行うまでの時間を設定します。 （1 分/2 分/3 分/5 分/10 分）

※ 設定値を保存するときは画面右下の 「適用」を選択してください。

【 F/W アップグレード 】

＜ USB ＞ をクリックすると、下のような画面が表示されます。

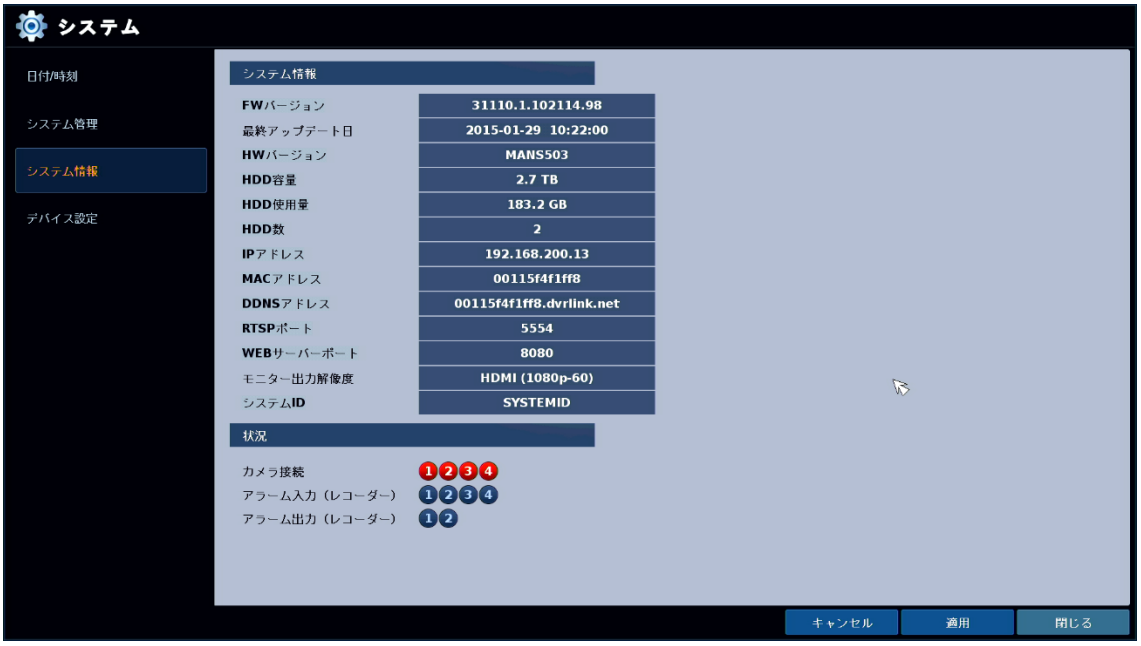
「デバイス」 でファームウェアの入った USB メモリを選択し、「F/W リスト」 からファームウェアを選択します。

「実行」 を選択すると F/W のアップグレードを開始します。

アップグレード完了後、本体が再起動されます。

3．6．3　システム情報

システム設定　＞　システム　＞　システム情報



システム情報

FW バージョン ： 本機のファームウェアバージョンを表示します。

最終アップデート日 ： 最後に FW アップデートを行った日時が表示されます。

HW バージョン ： 本機のハードウェアバージョンを表示します。

HDD 容量 ： HDD の総容量を表示します。

HDD 使用量 ： HDD の使用中の容量を表示します。

HDD 数 ： 接続中の HDD の数を表示します。

IP アドレス ： 本機のローカル IP アドレスを表示します。

MAC アドレス ： 本機の MAC アドレスを表示します。

DDNS アドレス ： 本機の DDNS アドレスが表示されます。

RTSP ポート ： クライアントソフトから本機にアクセスする際に使用するポートを表示します。

WEB サーバーポート ： ウェブブラウザから本機にアクセスする際に使用するポートを表示します。

モニター出力解像度 ： メイン映像出力の現在の解像度が表示されます。

システム ID ： 本機の名称が表示されます。

状況

カメラ接続 ： 接続中のカメラ CH が赤く表示されます。

アラーム入力（レコーダー） ： アラーム入力が発生中の CH が赤く表示されます。

アラーム入力（レコーダー） ： アラーム出力が発生中の CH が赤く表示されます。

3．6．4　デバイス設定

システム設定　＞　システム　＞　デバイス設定

キーボードコントローラおよびリモコン ID の設定を行います。

デバイス設定メニューの項目

項目	説明
システム ID	キーボードコントローラのシステム ID を設定します。
プロトコル	キーボードコントローラのプロトコルを設定します。
ボーレート	キーボードコントローラのボーレート（通信速度）を設定します。
リモコン ID	リモコン ID を設定します。（0～255） ※　ここで設定したリモコン ID をリモコンで入力すると、リモコン操作が有効となります。　→　リモコン ID の入力（1-7 頁）　を参照して下さい。

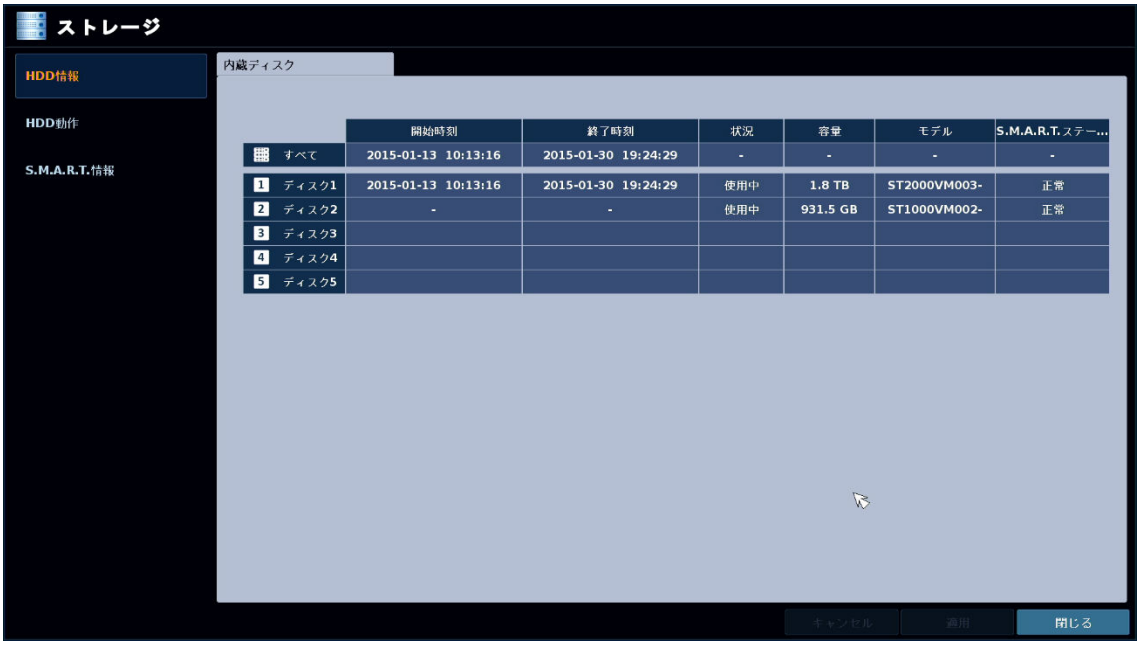
※　設定値を保存するときは画面右下の 「適用」を選択してください。

3．7　ストレージ

3．7．1　HDD 情報

システム設定　＞　ストレージ　＞　HDD 情報

接続（内蔵）している HDD の容量や動作状況を確認することができます。



HDD 情報メニューの項目

項目	説明
開始時刻	HDD に通電を開始した日時が表示されます。
終了時刻	HDD が最後に通電確認をした時刻が表示されます。
状況	接続状況が表示されます。
容量	HDD の総容量が表示されます。
モデル	HDD の品番が表示されます。
S.M.A.R.T.ステータス	S.M.A.R.T.の状態が表示されます。

3．7．2　HDD 動作

システム設定　＞　ストレージ　＞　HDD 動作

HDD 動作メニューの項目

項目	説明
HDD 上書きモード	「オン」 にすると、HDD 使用量が 100%になった際に、最も古いデータを消去しながら記録を続けます。 ※ 上書き中、ライブ画面の HDD 使用量は 「OW」 と表示されます。 **注）「オフ」 に設定すると、HDD 使用量が 100%になった時点で録画を停止します。**
記録画像保存期限	「オン」 に設定すると、その期間を過ぎた映像を消去します。 （「オン」 のとき・・・ 12 時間/1 日/2 日/3 日/4 日/5 日/6 日/1 週間/2 週間/3 週間/1 ヶ月/2 ヶ月/3 ヶ月）
HDD フォーマット	「HDD 初期化」 を選択すると、HDD に保存されているすべての映像を消去します。 **注） この操作は行わないことを推奨します。**

※　設定値を保存するときは画面右下の 「適用」 を選択してください。

3．7．3　S.M.A.R.T.設定

システム設定　＞　ストレージ　＞　S.M.A.R.T.設定

S.M.A.R.T.設定メニューの項目

項目	説明
S.M.A.R.T.ステータス	各 HDD の状態が表示されます。 **通常**　：　ディスクは通常の状態です。 **チェック**　：　ディスクにエラーがあり、ディスクまたはディスク接続ケーブルのチェックが必要です。 問題が解決しないと、録画できない場合があります。直ちにディスクの交換をお勧めします。 **エラー**　：　ディスクが破損しているか、ディスクまたはケーブルのエラーにより使用できません。直ちにディスクを交換してください。 ディスクの交換については、販売店または弊社までお問い合わせ下さい。 ＜ 詳細情報 ＞ をクリックすると、さらに詳細の情報が表示されます。
S.M.A.R.T.検査間隔	S.M.A.R.T.チェックを行う間隔を設定します。(24 時間/12 時間/6 時間) ＜ 検査開始 ＞ をクリックすると、ただちに S.M.A.R.T.チェックを開始します。

※　設定値を保存するときは画面右下の 「適用」を選択して下さい。

3．7．4　RAID 設定

システム設定　＞　ストレージ　＞　RAID.設定（8CH/16CH のみ）

HDD の故障時に録画映像を守るための設定をおこないます。（KB-SHR04A に当機能はありません。）

※　内蔵HDDが2枚以上の時に有効となります。

※　**この機能を利用開始する際、すべての録画データが消去されます。**

【RAID 設定手順】

1. RAID構築 をクリックします。

2. 「RAID1」（ミラーリング） または 「RAID5」 のいずれかを選択し、「OK」 をクリックします。
   RAID1 ・・・ 2 枚の HDD に同じデータを同時に書込みます。実際の容量は半分になります。
   RAID5 ・・・ 複数の HDD が互いにデータを共有し、故障時に他の HDD からデータを復元します。
   実際の容量は 「HDD 総数 － 1」 枚分となります。
   ※　RAID5 は HDD を 3 枚以上搭載しているときに使用可能です。

3. 「すべての録画データが初期化されます。よろしいですか？」というメッセージが表示されます。
   「OK」 をクリックします。

4. 「すべての設定は再起動後適用されます」というメッセージが表示されます。
   3 つの項目にすべてチェックを入れ、「OK」 をクリックします。

5. 「システムを再起動します」というメッセージが表示されます。
   「OK」 をクリックします。
   再起動後、RAID 構築が完了します。

3．8 イベント

イベントごとに発報させるアラーム等の動作の設定を行います。

機器異常時の動作概要

※ HDD に異常が生じた場合 ・・・

- ライブ画面上に、「 S.M.A.R.T.HDD ALARM DETECTED! 」の文字が表示されます。
- 本体フロントパネルの REC ランプが消灯します。(1-3 頁参照)
- アラーム出力 / ブザー / メール送信 のうち、設定したいくつかの動作を行います。(3-52 頁 参照)

※ ビデオロス(映像断)が生じた場合 ・・・

- ライブ画面上で、ビデオロスが生じた CH に「ビデオロス」の文字が表示されます。
- 全 CH でビデオロスが生じた場合、本体フロントパネルの REC ランプが消灯します。(1-3 頁参照)
- アラーム出力 / ブザー / メール送信 / イベントプリセット のうち、設定したいくつかの動作を行います。(3-50 頁 参照)

3．8．1　アラーム出力

システム設定　＞　イベント　＞　アラーム出力

アラーム出力

レコーダー本体のアラーム出力端子の設定を行います。

レコーダーのアラーム出力端子の接続　→　1-11 頁　を参照して下さい。

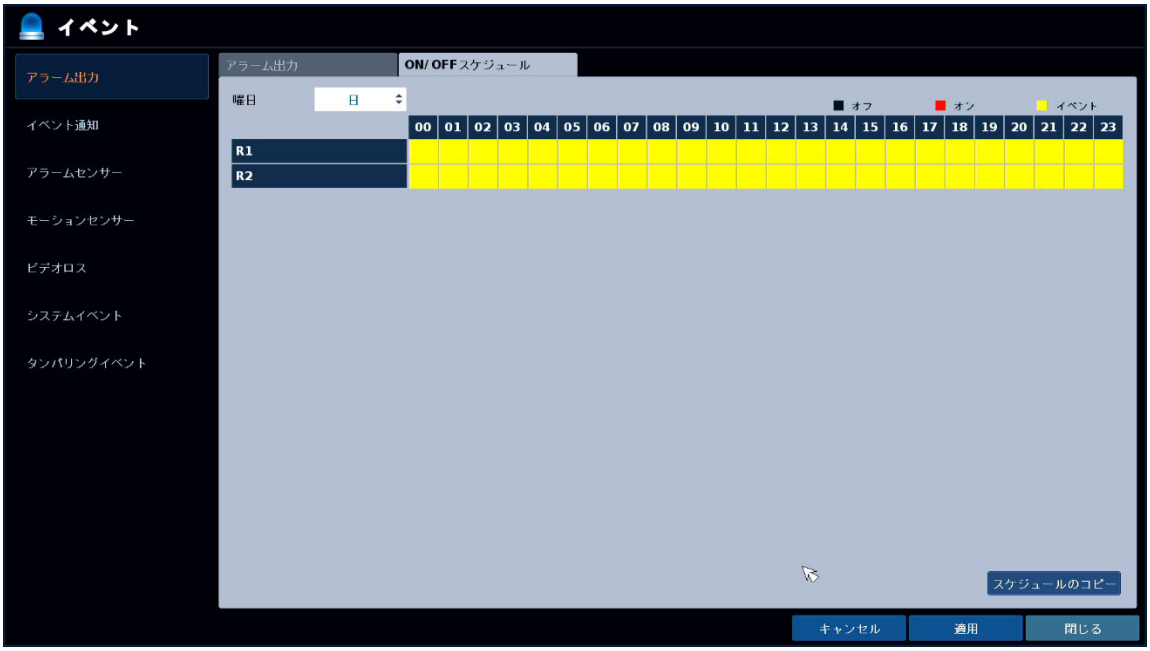
アラーム出力設定メニューの項目

項目	説明
名前	名称が表示されます。
動作	アラームの接点タイプを選択します。 N/O（A 接点）：通常は Open 状態で、アラーム発生時に Close の状態になります。 N/C（B 接点）：通常は Close 状態で、アラーム発生時に Open の状態になります。
持続時間	アラームを出力する時間を設定します。 （復帰するまで/5 秒/10 秒/15 秒/20 秒/30 秒/40 秒/60 秒/120 秒/180 秒/300 秒/キーを押すまで） ＜ 復帰するまで ＞ を選択すると、イベント状態から復帰するまでアラーム出力を継続します。 ＜ キーを押すまで ＞ を選択すると、リモコンまたはマウスの何れかのボタンを押すまでアラーム出力を継続します。
テスト	クリックすると、テストとしてアラーム出力信号を出します。

※　設定値を保存するときは画面右下の 「適用」を選択して下さい。

ON/OFF スケジュール

アラーム出力設定画面の上方の ＜ ON/OFF スケジュール ＞ をクリックします。
ここでは、アラーム出力を有効にする時間帯のスケジュール設定を行います。



以下の手順で、スケジュール設定を行います。

1. マウスのドラッグ &ドロップで、スケジュールを変更するカメラと時間帯を範囲選択します。

2. 任意のアラーム出力モードを選択します。
   - ✓ オン: アラーム出力は常に オン になります。
   - ✓ オフ: アラーム出力は常に オフ になります。
   - ✓ イベント: イベント発生に応じて、アラーム出力の オン / オフ を切換えます。
   - ※ センサーやHDDイベント、ビデオロス等のイベントと連動させるときは、「 イベント 」 を選択して下さい。

3. ＜ スケジュールのコピー ＞ をクリックして、スケジュールをコピーする日付のチェックボックスを選択します。

4. 完了後、＜ OK ＞ をクリックして設定を適用します。

※ 設定値を保存するときは画面右下の 「適用」を選択して下さい。

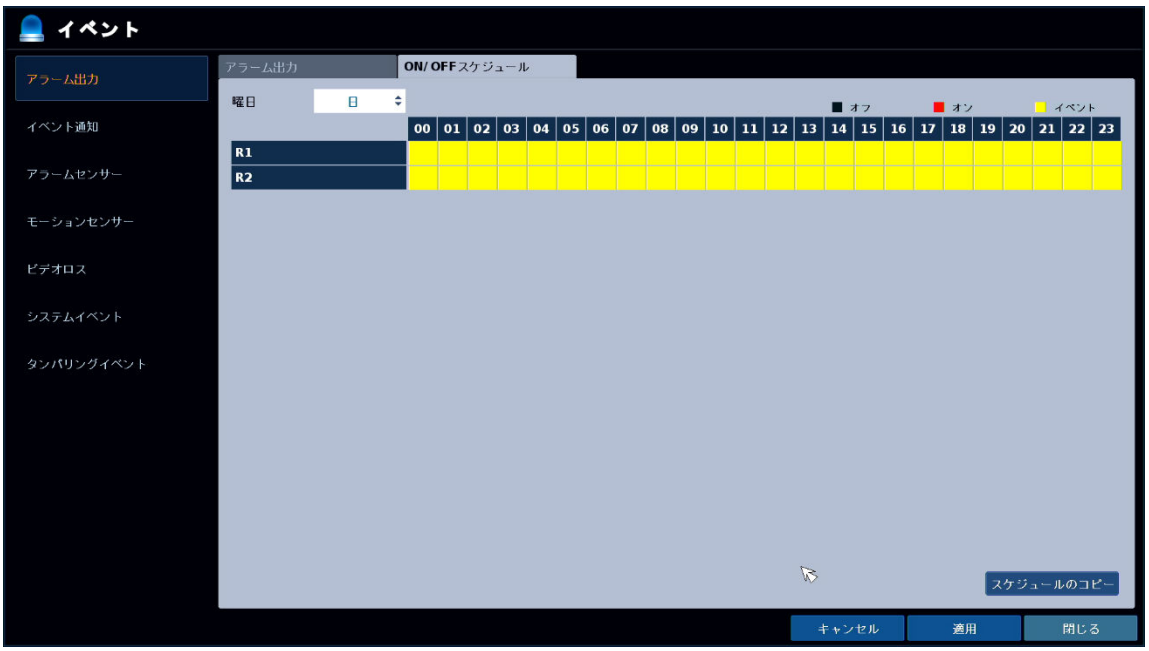
3．8．2　イベント通知

システム設定　＞　イベント　＞　イベント通知

イベント発生時に通知する手段（ブザー・ポップアップ・メール）の設定を行います。

ブザー

ブザーを鳴らす時間の設定を行います。



ブザー設定メニューの項目

項目	説明
持続時間	ブザーを鳴らし続ける時間を設定します。 （復帰するまで/5 秒/10 秒/15 秒/20 秒/30 秒/40 秒/60 秒/120 秒/180 秒/300 秒/キーを押すまで） ＜ 復帰するまで ＞ を選択すると、イベント状態から復帰するまでアラーム出力を継続します。 ＜ キーを押すまで ＞ を選択すると、リモコンまたはマウスの何れかのボタンを押すまでアラーム出力を継続します。

※　設定値を保存するときは画面右下の 「適用」を選択して下さい。

ディスプレイ

イベント発生時、特定のカメラのチャンネルポップアップ（一定時間、1 画面表示にする）やインフォメーションポップアップ（イベントの内容を画面に表示する）の設定を行います。

ディスプレイ設定メニューの項目

項目	説明
チャンネルポップアップ	イベント発生時、その CH 映像をポップアップする時間を設定します。 （復帰するまで/5 秒/10 秒/15 秒/20 秒/30 秒/40 秒/60 秒/120 秒/180 秒/300 秒/キーを押すまで） < 復帰するまで > を選択すると、イベント状態から復帰するまでアラーム出力を継続します。 < キーを押すまで > を選択すると、リモコンまたはマウスの何れかのボタンを押すまでアラーム出力を継続します。
インフォメーション ポップアップ	イベント発生時、画面上に文字を表示する時間を設定します。 （復帰するまで/5 秒/10 秒/15 秒/20 秒/30 秒/40 秒/60 秒/120 秒/180 秒/300 秒/キーを押すまで）

※　設定値を保存するときは画面右下の 「適用」を選択して下さい。

メール

イベント発生時メール通知を行うための設定を行います。

メール設定メニューの項目

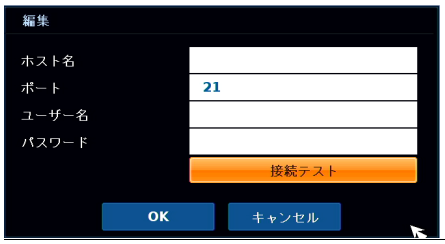
項目	説明
新規メールを追加	新規メール受信者を追加する場合は<編集>をクリックし、設定を行います。
最小メール送信間隔	メールを送信してから次のメールを送信するまでの間隔を設定します。 ※　メールサーバーによって、配信周期が短すぎるメールをブロックするものがあります。その場合、この設定によってメール配信の間隔を設定し、通知もれを回避します。
スナップショットイメージを含める	チェックを入れると、メールにイベントの発生した CH の静止画を添付します。

※　設定値を保存するときは画面右下の 「適用」を選択して下さい。

FTP

イベント発生時、FTP サーバーにテキストデータを保存することができます。

メール設定メニューの項目

項目	説明
FTP SERVER	編集 をクリックして、保存先 FTP サーバーの設定をします。  ホスト名： FTP サーバーのホスト(ドメイン)名を入力します。 ポート： FTP サーバーの使用ポート番号を設定します。 ユーザー名： FTP サーバーの認証ユーザー名を入力します。 パスワード： FTP サーバーの認証パスワードを入力します。
ディレクトリ	FTP 内の保存先ディレクトリ名を設定します。
ファイル名	保存するテキストデータのファイル名を設定します。
最小通知間隔	メールを送信してから次のメールを送信するまでの間隔を設定します。 ※ メールサーバーによって、配信周期が短すぎるメールをブロックするものがあります。その場合、この設定によってメール配信の間隔を設定し、通知もれを回避します。
スナップショットイメージを含める	チェックを入れると、メールにイベントの発生した CH の静止画を添付します。

※ 設定値を保存するときは画面右下の 「適用」を選択して下さい。

3．8．3　アラームセンサー

システム設定　＞　イベント　＞　アラームセンサー

レコーダー本体にアラーム入力が発生した際の動作についての設定を行います。

レコーダーのアラーム入力端子の接続　→　1-11 頁　を参照して下さい。

※　設定値を保存するときは画面右下の 「適用」を選択して下さい。

アラームセンサー設定メニューの項目

項目	説明
AI1～AI16	端子の名称が表示されます。
名前	名称が表示されます。
動作	アラームの接点タイプを選択します。 N/O（A 接点）：通常は Open 状態で、アラーム発生時に Close の状態になります。 N/C（B 接点）：通常は Close 状態で、アラーム発生時に Open の状態になります。
連動カメラ	アラーム入力が発生したとき、アラーム録画を行う CH を指定します。
プリセット	アラーム入力が発生したときに、接続されている PTZ カメラを指定のプリセットに移動させる設定を行います。 〈プリセット〉 にチェックを入れ、 をクリックしてカメラ CH ごとにプリセット位置を指定します。
アラーム出力	アラーム入力が発生したとき、アラーム出力を行う出力ポートを指定します。 N/A はアラーム出力無効です。
	チェックを入れると、アラーム入力が発生したときブザーを鳴らします。
	チェックを入れると、アラーム入力が発生したときその CH 映像をポップアップします。
	チェックを入れると、アラーム入力が発生したときインフォメーションポップアップを行います。
	チェックを入れると、アラーム入力が発生したときメール通知を行います。
	チェックを入れると、アラーム入力が発生したとき FTP サーバーに通知を行います。

※　設定値を保存するときは画面右下の 「適用」を選択して下さい。

3．8．4　モーションセンサー

システム設定　＞　イベント　＞　モーションセンサー

カメラ映像にモーションが発生した際の動作についての設定を行います。

モーションセンサー設定メニューの項目

項目	説明
カメラ	それぞれの CH のカメラを示します。
無視する時間	モーション検知を有効とする最小間隔を指定します。 たとえば 5 秒に設定した場合。モーションを検知した後 5 秒以内に次のモーションを検知しても、それは無視されます。 モーション検知の回数が多すぎる場合にここで調整します。
アラーム出力	モーション検知が発生したとき、アラーム出力を行う出力ポートを指定します。 N/A はアラーム出力無効です。
プリセット	モーション検知が発生したときに、接続されている PTZ カメラを指定のプリセットに移動させる設定を行います。 〈プリセット〉 にチェックを入れ、 をクリックしてカメラ CH ごとにプリセット位置を指定します。
	チェックを入れると、モーション検知が発生したときブザーを鳴らします。
	チェックを入れると、モーション検知が発生したときその CH 映像をポップアップします。
	チェックを入れると、モーション検知が発生したときインフォメーションポップアップを行います。
	チェックを入れると、モーション検知が発生したときメール通知を行います。
	チェックを入れると、モーション検知が発生したとき FTP サーバーに通知を行います。

※　設定値を保存するときは画面右下の 「適用」を選択して下さい。

3．8．5 ビデオロス

システム設定 ＞ イベント ＞ ビデオロス

カメラとの接続が切れ、ビデオロスが生じた際の動作について設定します。

ビデオロス設定メニューの項目

項目	説明
カメラ	それぞれの CH のカメラを示します。
アラーム出力	ビデオロスが発生したとき、アラーム出力を行う出力ポートを指定します。 N/A はアラーム出力無効です。
プリセット	ビデオロスが発生したときに、接続されている PTZ カメラを指定のプリセットに移動させる設定を行います。 〈プリセット〉 にチェックを入れ、 .. をクリックしてカメラ CH ごとにプリセット位置を指定します。
	チェックを入れると、ビデオロスが発生したときブザーを鳴らします。
	チェックを入れると、ビデオロスが発生したときメール通知を行います。
	チェックを入れると、ビデオロスが発生したとき FTP サーバーに通知を行います。

※ 設定値を保存するときは画面右下の 「適用」を選択して下さい。

3．8．6　システムイベント

システム設定　＞　イベント　＞　システムイベント

レコーダー本体に HDD、ネットワーク、システム等のさまざまなイベントが生じた際の動作について設定します。

システムイベント設定メニューの項目（通知設定）

項目	説明
イベントタイプ	アクションを起こすトリガ（きっかけ）となるイベントを表示します。
アラーム出力	イベントが発生したとき、アラーム出力を行う出力ポートを指定します。 N/A はアラーム出力無効です。
	チェックを入れると、イベントが発生したときブザーを鳴らします。
	チェックを入れると、イベントが発生したときその CH 映像をポップアップします。
	チェックを入れると、イベントが発生したときインフォメーションポップアップを行います。
	チェックを入れると、イベントが発生したときメール通知を行います。

※　設定値を保存するときは画面右下の 「適用」を選択して下さい。

ディスク

HDD に関するイベントの通知設定を行います。

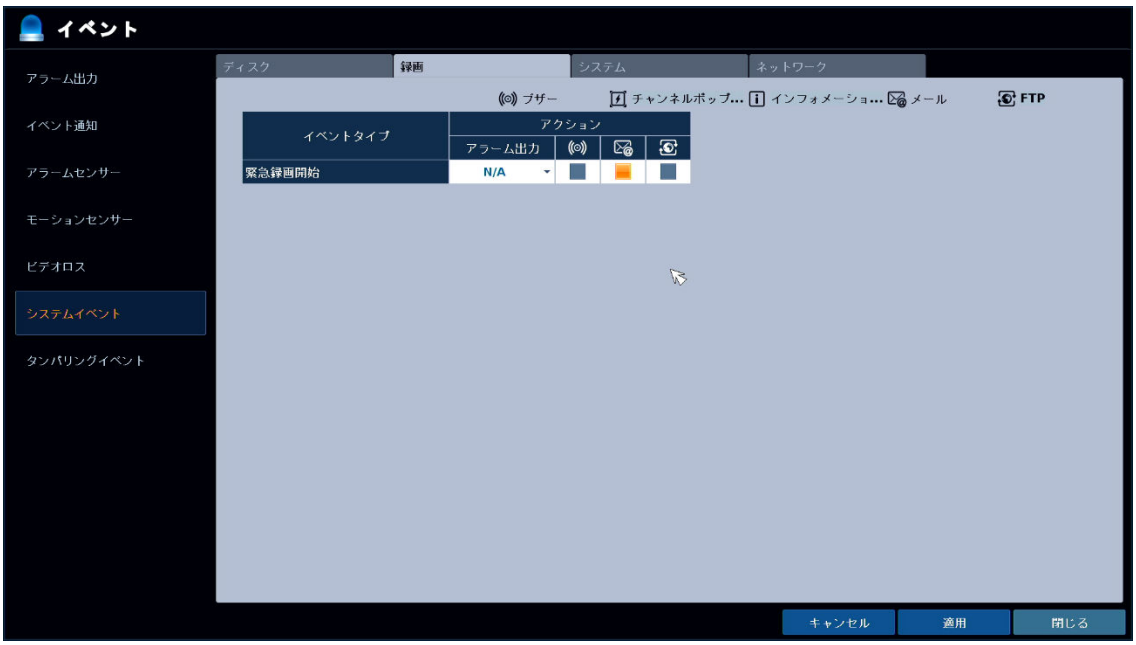
システムイベント設定メニューの項目（ディスク）

項目	説明
上書き開始	HDD 上書きモードを<オン>に設定した場合、上書きを開始した際にイベントを発生させます。
HDD FULL **空き容量なし**	HDD 上書きモードを<オフ>に設定した場合、HDD 容量がいっぱいになったときにイベントを発生させます。
HDD 使用量警告	HDD 使用量が、指定したパーセンテージ以上になったときにイベントを発生させます。 ※　クリックしてしきい値となるパーセンテージを指定します。
S.M.A.R.T.エラー	HDD から S.M.A.R.T.エラーを検出するとイベントを発生させます。
HDD 認証エラー	HDD の電源断などで HDD を認識できなくなったときにイベントを発生させます。

※　設定値を保存するときは画面右下の 「適用」を選択して下さい。

録画

録画に関するイベントの通知設定を行います。



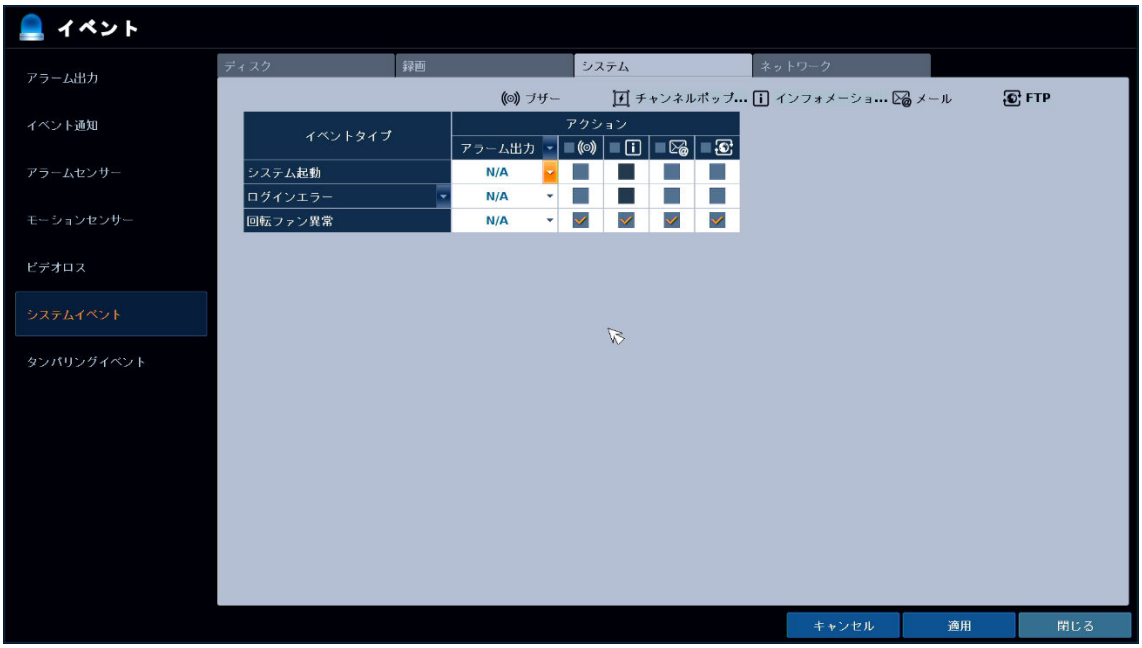
システムイベント設定メニューの項目（録画）

項目	説明
緊急録画開始	手動録画の開始時にイベントを発生させます。

※　設定値を保存するときは画面右下の 「適用」を選択して下さい。

システム

レコーダー本体のシステムに関するイベントの通知設定を行います。



システムイベント設定メニューの項目（システム）

項目	説明
システム起動	レコーダー本体が起動したときにイベントを発生させます。
ログインエラー	パスワードの誤りでログインに失敗した際にイベントを発生させます。 ※　クリックして、ログインに何回失敗したときにイベントを発生させるかを指定します。
回転ファン異常	レコーダーに内蔵されている冷却ファンに異常があった際にイベントを発生させます。 **ファン異常が発生した場合は、販売店までお問い合わせ下さい。**

※　設定値を保存するときは画面右下の 「適用」を選択して下さい。

ネットワーク

ネットワークに関するイベントの通知設定を行います。

システムイベント設定メニューの項目（ネットワーク）

項目	説明
ネットワークエラー	レコーダー本体のネットワーク接続でエラーが生じた際にイベントを発生させます。 ※　レコーダー本体のインターネット接続を行わないときは、イベント通知を行わない設定にして下さい。
クライアントログインエラー	クライアントPCからレコーダー本体へログインに失敗したときにイベントを発生させます。 ※　クリックして、リモートログインに何回失敗するとイベントを発生させるかを指定します。
DDNS 更新エラー	レコーダーが DDNS アドレスの更新に失敗したときにイベントを発生させます。 ※　クリックして、DDNSアドレスの更新に何回失敗するとイベントを発生させるかを指定します。

※　設定値を保存するときは画面右下の 「適用」を選択して下さい。

3．8．7　タンパリングイベント

システム設定　＞　イベント　＞　タンパリングイベント

TAMPER 検知（いたずら）のさまざまなイベントが生じた際の動作について設定します。

タンパリングイベント設定メニューの項目（通知設定）

項目	説明
連動カメラ	イベントに対して連動させるカメラ CH を示します。
アラーム出力	TAMPER（いたずら）検知が発生したとき、アラーム出力を行う出力ポートを指定します。 N/A はアラーム出力無効です。
プリセット	TAMPER（いたずら）検知が発生したときに、接続されている PTZ カメラを指定のプリセットに移動させる設定を行います。 〈プリセット〉 にチェックを入れ、 [..] をクリックしてカメラ CH ごとにプリセット位置を指定します。
	チェックを入れると、TAMPER（いたずら）検知が発生したときブザーを鳴らします。
	チェックを入れると、TAMPER（いたずら）検知が発生したときその CH 映像をポップアップします。
	チェックを入れると、TAMPER（いたずら）検知が発生したときインフォメーションポップアップを行います。
	チェックを入れると、TAMPER（いたずら）検知が発生したときメール通知を行います。

※　設定値を保存するときは画面右下の 「適用」を選択して下さい。

3．9　録画設定

本機の録画モードや解像度・フレームレートの設定を行います。

録画設定画面に入るには・・・

➠ マウスの使用方法

➠ リモコンの使用方法

3．9．1　録画モード設定

録画設定　＞　録画モード設定

ここでは、かんたん設定/マニュアル記録設定を切換えます。

録画モード設定メニューの項目

項目	説明
モード	録画モードを設定します。 かんたん設定　：　推奨の記録モードの中から選択して記録を行います。（解像度やフレームレートは自動的に決定されます。） マニュアル記録設定　：　解像度やフレームレートを詳細に設定して記録を行います。
緊急録画時間	緊急録画の際、開始から何分間録画を行うかを設定します。 （手動/1 分/5 分/10 分/20 分/30 分/40 分/50 分/60 分/） <手動> を選択すると、ユーザーが緊急録画を停止するまで継続します。 ※　緊急録画の開始/終了については　2-3 頁　を参照して下さい。

※　設定値を保存するときは画面右下の 「適用」を選択して下さい。

かんたん設定

〈モード〉 で 〈かんたん設定〉 を選択します。

かんたん録画設定メニューの項目

項目	説明
常時録画（HD 録画日数を優先）	長期間の録画ができるよう解像度/画質/フレームレートを自動で調整します。
常時録画（HD 録画画質を優先）	最大解像度/最高画質/最大フレームレートで連続録画（24 時間録画）を行います。
モーション録画	普段は録画を行わず、モーションを検知したときのみ録画を行います。
アラーム録画	普段は録画を行わず、アラーム入力が発生したときのみ録画を行います。
モーション or アラーム録画	普段は録画を行わず、モーション検知あるいはアラーム入力が発生したときのみ録画を行います。
モーション優先/常時録画	普段は低解像度/低画質/低フレームレートで録画を行い、モーションを検知したときに最大解像度/最高画質/最大フレームレートで録画を行います。
アラーム優先/常時録画	普段は低解像度/低画質/低フレームレートで録画を行い、アラーム入力が発生したときに最大解像度/最高画質/最大フレームレートで録画を行います。
モーション or アラーム優先/常時録画	普段は低解像度/低画質/低フレームレートで録画を行い、モーション検知あるいはアラーム入力が発生したときに最大解像度/最高画質/最大フレームレートで録画を行います。

※ 設定値を保存するときは画面右下の 「適用」 を選択して下さい。

マニュアル設定

〈モード〉 で 〈マニュアル設定〉 を選択します。

マニュアル設定メニューの項目

項目	説明
スケジュール設定	スケジュールを行う単位を設定します。 1 日 ： 毎日同じスケジュールで録画を行います。 週間 ： 1 週間のうち曜日ごとに異なるスケジュールで録画を行います。
プリイベント録画	イベント発生の何秒前からの映像を録画するかを設定します。
ポストイベント録画	イベント発生の何秒後まで映像を録画するかを設定します。
緊急録画時間	緊急録画の際、開始から何分間録画を行うかを設定します。 （手動/1 分/5 分/10 分/20 分/30 分/40 分/50 分/60 分/） 〈手動〉 を選択すると、ユーザーが緊急録画を停止するまで継続します。 ※ 緊急録画の開始/終了については 2-3 頁 を参照して下さい。

※ **マニュアル設定を適用する場合は、これ以降の常時録画・モーション録画・アラーム録画の設定を行って下さい。**

※ 設定値を保存するときは画面右下の 「適用」を選択して下さい。

それぞれの録画モードを選択後、以下のように解像度等の設定を行って下さい。

解像度	録画する画像サイズを指定します。 （960x480 / 704x480 / 704x240 / 352x240）
FPS	フレームレート（1 秒間に何枚の画像を録画するか）を指定します。 （30/15/7/3/2/1）
画質	録画する画質を指定します。（最高/高/標準/低/長時間）
音声	音声記録を行うかどうかを設定します。（オン/オフ）

※　設定値を保存するときは画面右下の 「適用」を選択して下さい。

3．9．2　常時録画設定

録画設定　＞　常時録画

常時録画（24 時間録画）の解像度・フレームレートやスケジュールの設定を行います。

パラメータ

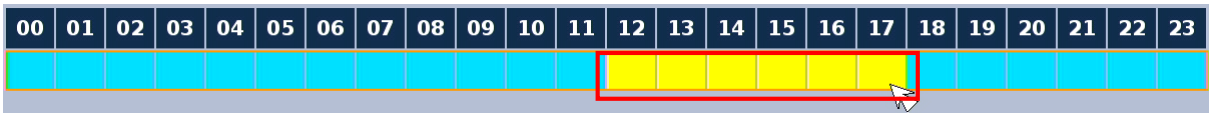
常時録画時の解像度/FPS/画質等の設定を行います。

以下の手順で設定を行います。

1. 画面上方の 「パラメータ」 タブを選択します。

2. タイムバーから、パラメータ変更を行いたい時間を選択します。

※　1 時間ごとに異なるパラメータを設定することが可能です。



左端および右端を決めます。

※　設定値を保存するときは画面右下の 「適用」 を選択して下さい。

3. 以下の内容を設定します。

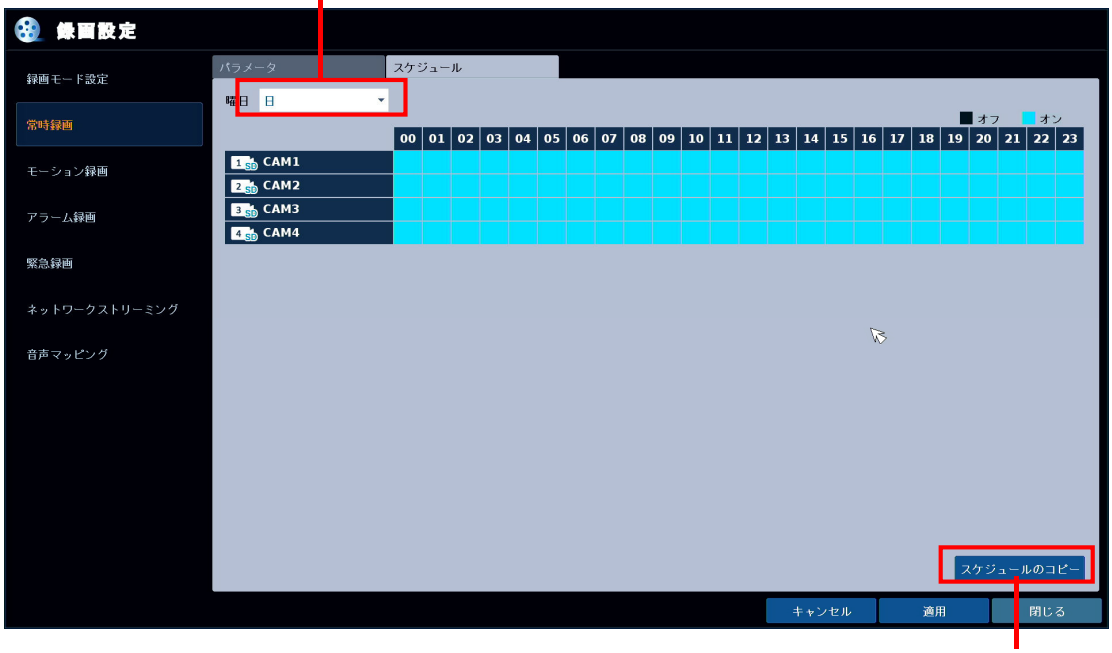
解像度	録画する画像サイズを指定します。 （960x480 / 704x480 / 704x240 / 352x240）
FPS	フレームレート（1 秒間に何枚の画像を録画するか）を指定します。 （30/15/7/3/2/1）
画質	録画する画質を指定します。（最高/高/標準/低/長時間）
音声	音声記録を行うかどうかを設定します。（オン/オフ）

※　設定値を保存するときは画面右下の 「適用」を選択して下さい。

スケジュール

常時録画（24 時間録画）を行うスケジュールを設定します。

曜日ごとの設定を行う場合は、設定変更する曜日を選択します。

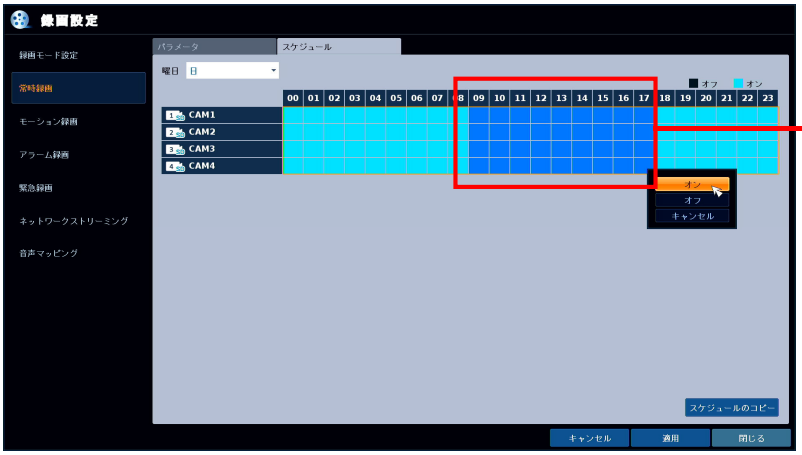


別の曜日に同じスケジュールを
コピーするときにクリックします。

以下の手順で設定を行います。

1. 画面上方の 「スケジュール」 タブを選択します。

2. CH1～CH16 のタイムバーから、スケジュール設定を変更したい箇所を選択します。



左上端と右下端を
決めます。

3. ウィンドウが表示されるので、以下の常時録画のオン/オフを選択します。

注意　：　通常、常時録画はオンで運用しすることを推奨します。

※　設定値を保存するときは画面右下の 「適用」 を選択して下さい。

３．９．３　モーション録画設定

録画設定　＞　モーション録画

モーション録画の解像度・フレームレートやスケジュールの設定を行います。

パラメータ

モーション録画時の画像サイズ/FPS/画質等の設定を行います。

設定方法は　**３．９．２　常時録画設定**　と同様です。

スケジュール

モーション録画時のスケジュール設定を行います。

３．９．２　常時録画設定　と同様の手順で、モーション録画のオン/オフを切換えます。

※　設定値を保存するときは画面右下の 「適用」を選択して下さい。

３．９．４　アラーム録画設定

録画設定　＞　アラーム録画

アラーム録画の解像度・フレームレートやスケジュールの設定を行います。

パラメータ

アラーム録画時の画像サイズ/FPS/画質等の設定を行います。

設定方法は　**３．９．２　常時録画設定**　と同様です。

スケジュール

アラーム録画時のスケジュール設定を行います。

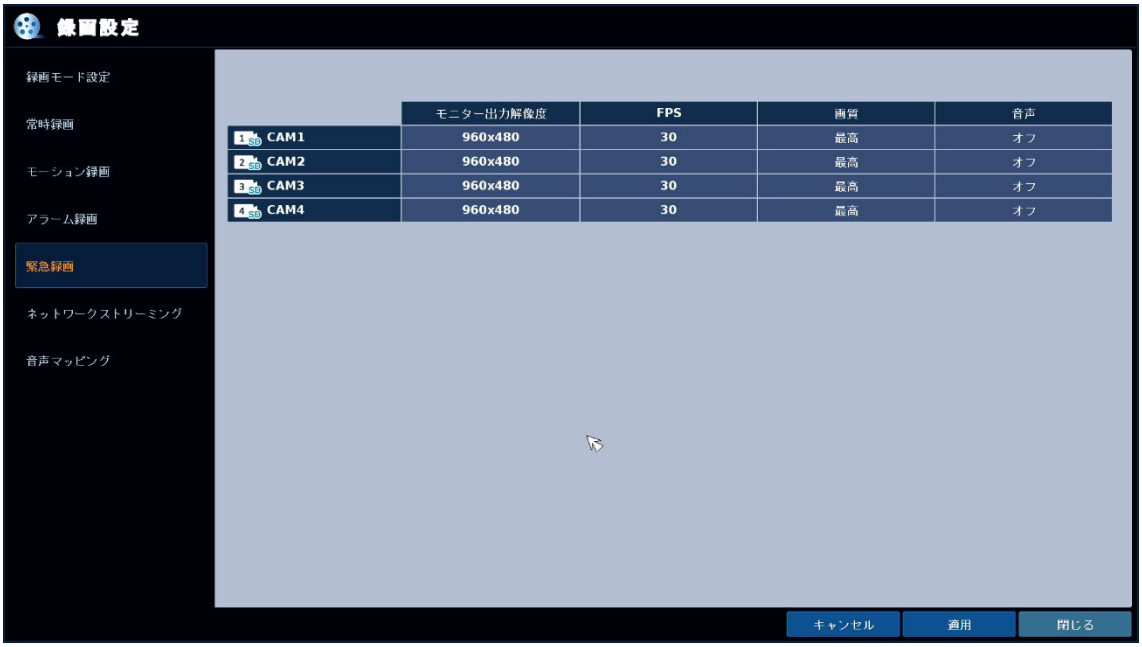
３．９．２　常時録画設定　と同様の手順で、アラーム録画のオン/オフを切換えます。

※　設定値を保存するときは画面右下の 「適用」を選択して下さい。

３．９．５　緊急録画

録画設定　＞　緊急録画

緊急録画の解像度･フレームレート等の設定を行います。



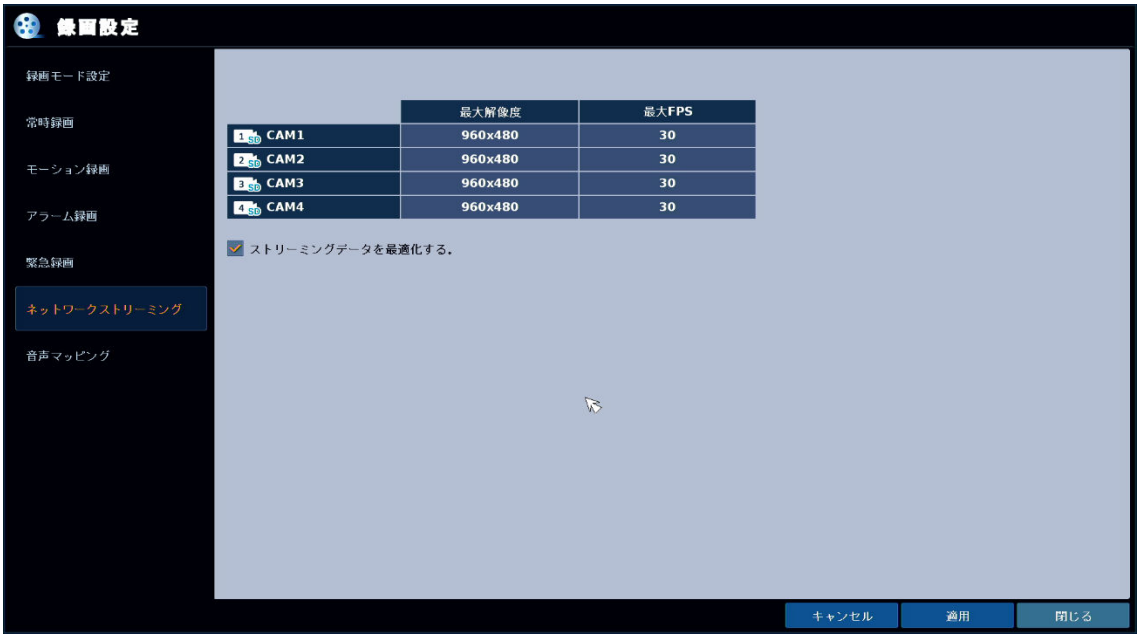
設定方法は　**３．９．２　常時録画設定**　と同様です。

※　設定値を保存するときは画面右下の 「適用」を選択して下さい。

３．９．６　ネットワークストリーミング

録画設定　＞　ネットワークストリーミング

ネットワーク配信用（インターネット等からの遠隔監視）の解像度・フレームレートの設定を行います。



設定方法は　**３．９．２　常時録画設定**　と同様です。

※　設定値を保存するときは画面右下の 「適用」を選択して下さい。

3．9．7　音声マッピング

録画設定　＞　音声マッピング

それぞれのカメラ CH に割り当てる音声入力ポートの設定を行います。

音声マッピング設定メニューの項目

項目	説明
音声入力	カメラ CH に紐付けする音声入力ポートを選択します。

※　設定値を保存するときは画面右下の 「適用」を選択して下さい。

4.　検索・再生

レコーダーに記録した映像を検索（サーチ）・再生します。

4．1　サーチ画面に入るには

以下のいずれかの方法で、サーチ画面に入ります。

以下の 2 つから検索方法を選択します。

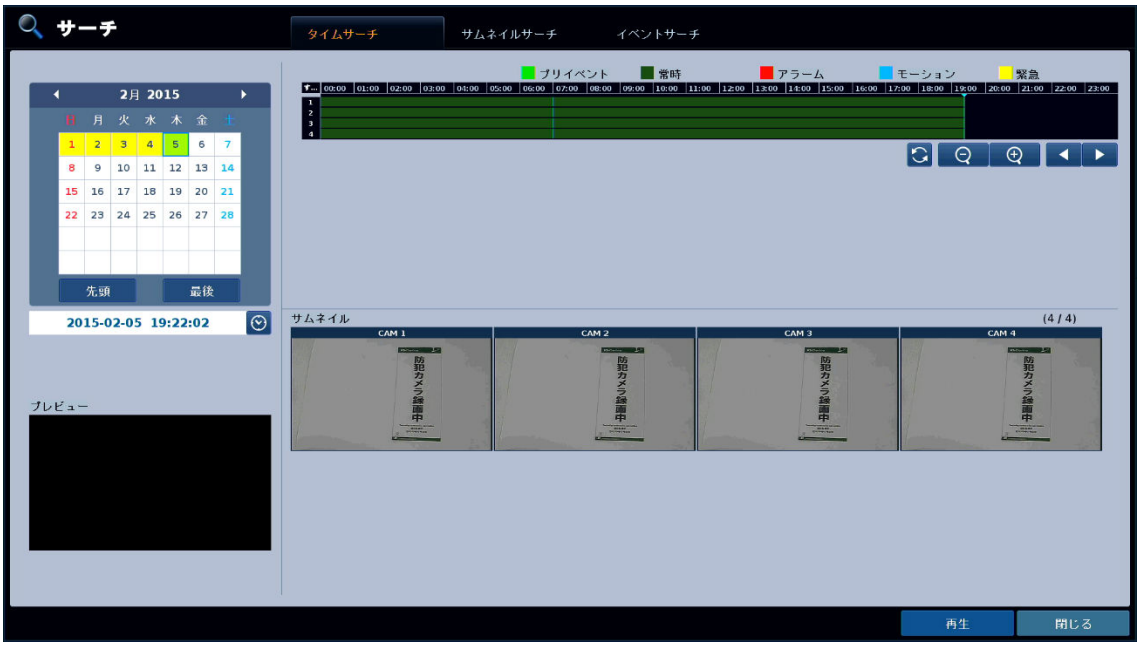
タイムサーチ　・・・　カレンダーとタイムバーから日時を選択し、映像を検索します。

サムネイルサーチ　・・・　1 時間ごと/1 分ごとなど、映像を一覧表示して検索します。

イベントサーチ　・・・　アラームやモーションなどのイベントログから、映像を検索します。

4．2　タイムサーチ

カレンダーとタイムバーを使って映像を検索します。



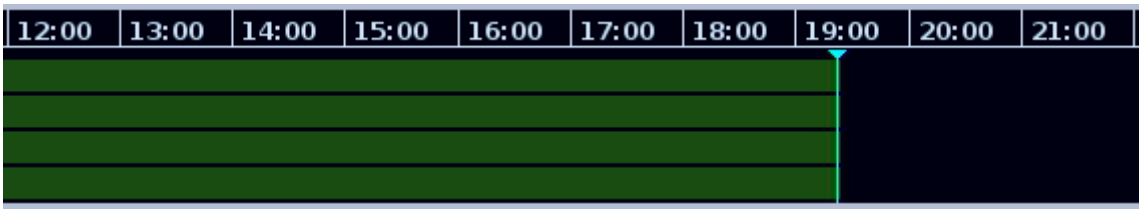
以下の手順で映像を検索します。

1. サーチ画面上方の、「タイムサーチ」 タブをクリックします。

2. 画面左上のカレンダーから、見たい映像の日付を選択します。
（録画映像のある日付は背景が黄色で表示されます。）

<u>カレンダーの操作</u>

3. カレンダーで日付を指定すると画面右上にタイムバーが表示されます。
ドラッグ&ドロップでタイムバーを移動させ、見たい映像の時刻を選択します。
※　タイムバー上では、映像のある時間帯が録画モードごとに色つきで表示されます。
緑　・・・　常時録画　/　赤　・・・　アラーム録画　/　青　・・・　モーション録画
黄色　・・・　緊急録画　/　黄緑　・・・　プリイベント録画



タイムバーでの操作

	タイムバーを最新の状態に更新します。
	タイムバーをズームイン/ズームアウトします。
	タイムバーを左右にスクロールします。

※　日時指定で再生する場合

再生する映像の日時がわかっている場合、直接日時を指定して再生を行うことができます。

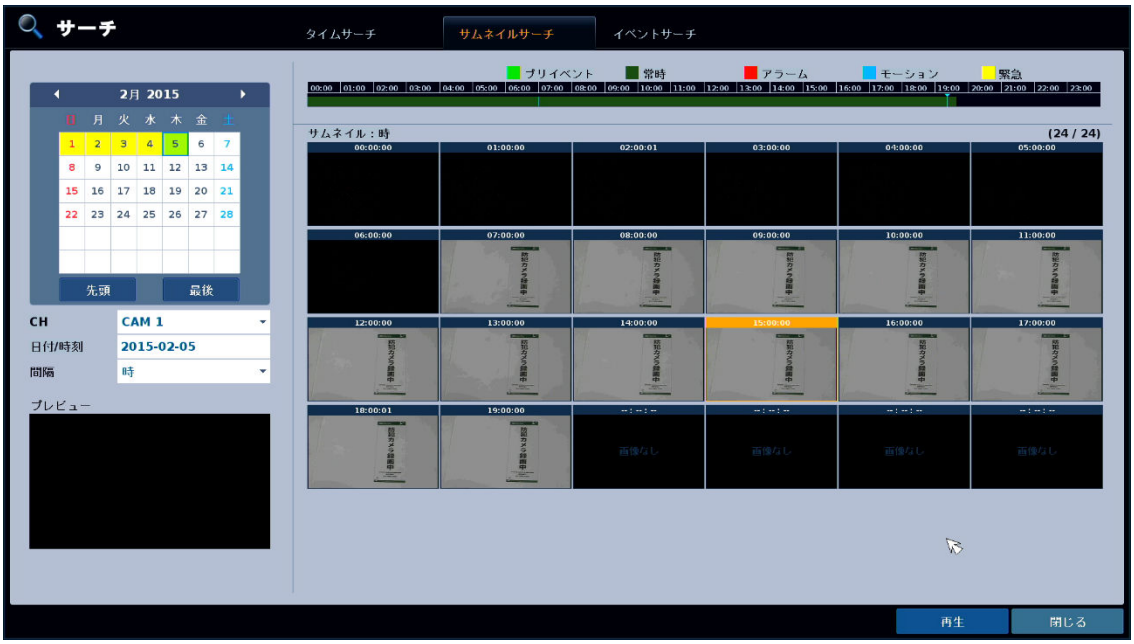
① カレンダー下の時刻入力欄にある をクリックし、日時指定ウィンドウを表示させます。
② 上下の矢印のアイコンをクリックして、 年/月/日/時/分/秒　を設定します。

③ <OK> をクリックします。

4. 画面右下の 〈 再生 〉 を選択すると映像が再生されます。
※　再生画面の操作方法については　4-7 頁　を参照して下さい。

4．3　サムネイルサーチ

CH ごとに 1 日ごと、1 時間ごと、あるいは 1 分ごとの映像の一覧を表示して検索します。



以下の手順で映像を検索します。

1. サーチ画面上方の、「サムネイルサーチ」 タブをクリックします。

2. 画面左上のカレンダーから、見たい映像の日付を選択します。
（録画映像のある日付は背景が黄色で表示されます。）
※　カレンダーの操作については　4-2 頁　を参照して下さい。

3. カレンダー下の 〈チャンネル〉 から、検索対象とするカメラ CH を選択します。
さらにその下の 〈間隔〉 から、表示する一覧を　1 日ごとにするか/1 時間ごとにするか/1 分ごとにするか　を選択します。

4. 画面右上のタイムバーから、検索する時間帯を選択します。
※　タイムバーの操作については　4-3 頁　を参照して下さい。

5. 画面右に映像の一覧（サムネイル）が表示されるので、その中から見たい映像をクリックします。
画面左下のプレビューに映像が小さく再生されます。

6. 画面下方の　〈 再生 〉 をクリックすると、再生画面に入ります。
※　再生画面の操作方法については　4-7 頁　を参照して下さい。

4．4　イベントサーチ

発生したイベントログを検索し、その時刻の映像を再生することができます。

以下の手順で映像を検索します。

1. サーチ画面上方の 「イベントサーチ」 タブをクリックします。
2. 画面左上の 〈 開始 〉 の をクリックし、検索開始点となる日時を指定します。
3. 画面左上の 〈 終了 〉 の をクリックし、検索終了点となる日時を指定します。

※　開始点から終了点までの日時の範囲内でイベントログを検索します。

4. ＜ イベント ＞ の選択欄から、検索するイベントにチェックを入れます。
「全て」 のチェックを入/切することで、全イベントのチェックを入/切することができます。

アラーム　：アラーム入力を検出したログを検索します。
ビデオ　：ビデオロス等を検出したログを検索します。
システム　：ログインやシステム起動、システムエラー等のログを検索します。
ネットワーク　：遠隔接続やネットワークエラー等のログを検索します。
設定　：レコーダーの設定変更を行ったログを検索します。
モーション　：モーション検知が発生したログを検索します。
録画　：各録画モードで録画を開始したログを検索します。
ストレージ　：HDD エラー等が発生したログを検索します。
タンパリング　：TAMPER(いたずら)を検出したログを検索します。

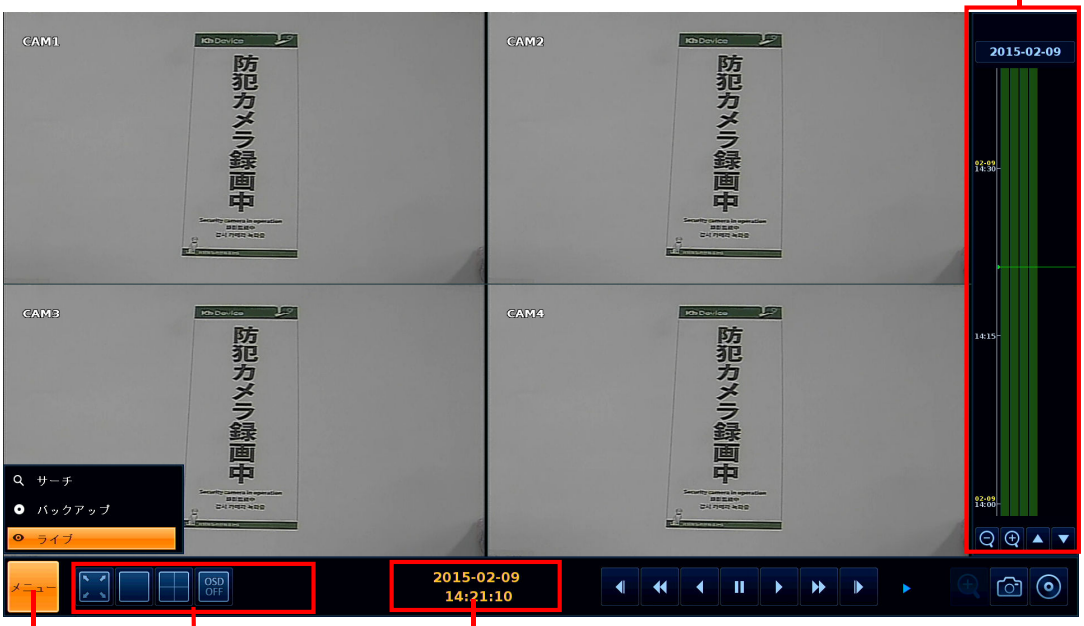
をクリックして、ページ戻し/ページ送り　を行います。

5. 検索で表示されたログの中から見たい映像のものをクリックし、画面下方の ＜ 再生 ＞ をクリックすると映像が再生されます。

4．5　再生画面

映像再生中の操作は以下のように行います。

タイムライン（→ 2-4 頁参照）

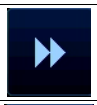
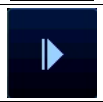
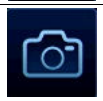


再生映像の録画時刻を表示します。

画面表示を切換えます。

サーチ画面やライブ画面に戻ります。

再生画面での操作

	再生中、映像を 5 秒戻します。
	再生中：　巻戻しを行います。（ x2 / x4 / x8 / x16 / x32 / x64 ） 一時停止中：　コマ戻しを行います。(1 フレームずつ戻します。)
	逆方向再生をします。
	再生中に一時停止をします。
	正方向再生をします。
	再生中：　早送りを行います。（ x2 / x4 / x8 / x16 / x32 / x64 ） 一時停止中：　コマ送りを行います。(1 フレームずつ進みます。)
	再生中、映像を 5 秒送ります。
	1 画面表示のとき、デジタルズーム画面に入ります。 ※　デジタルズームの操作方法は　2-7 頁　を参照して下さい。
	1 画面表示のとき、カメラのスナップショット(静止画)を保存します。
	録画映像をバックアップするためのリザーブデータ(予約)を作成します。 詳細は本項目の　**再生画面でのバックアップ予約の作成**　を参照して下さい。

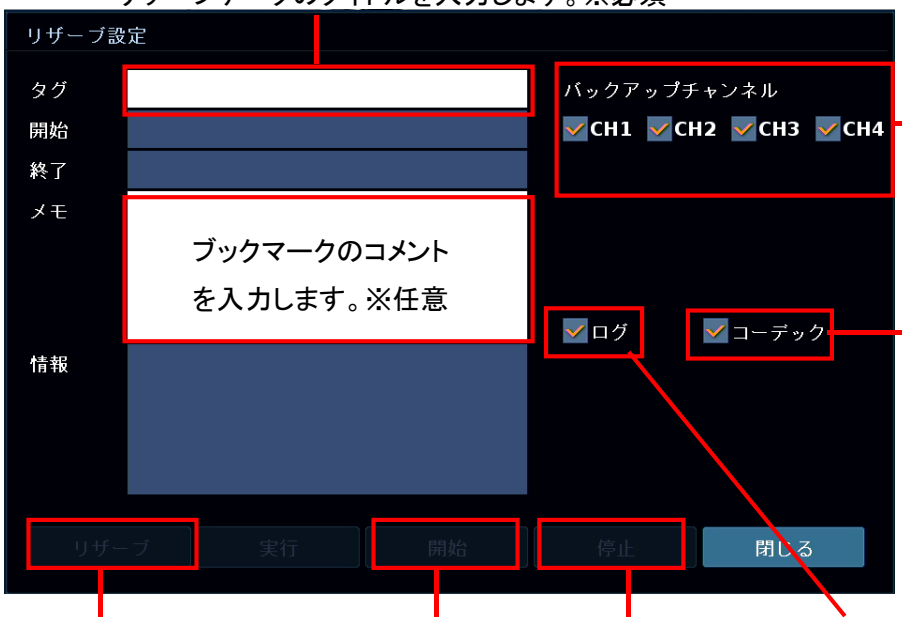
再生画面でのバックアップ予約の作成

映像を再生中、その時点からのバックアップを行いたいときに、バックアップ予約（リザーブデータ）を作成することができます。
再生中にリザーブデータをいくつか作成しておくことで、映像検索終了後にデータを USB メモリ等へ書込むことができます。

1. 映像再生中、バックアップする映像の開始点となるところで、映像を一時停止 「 ▮▮ 」 します。

2. 再生画面右下のの をクリックします。

3. 表示されるウィンドウで 〈タグ名〉 を入力し、〈開始〉 をクリックします。



4. バックアップ映像の終了点となるところまで映像を進め、一時停止 「 ▮▮ 」 します。

5. 再生画面右下の をクリックします。

6. 表示されるウィンドウの 〈停止〉 をクリックし、〈リザーブ〉 をクリックするとバックアップ予約が完了します。

※ ブックマークした映像を実際に USB メモリ等に保存するには、 5-3 頁　を参照して下さい。

5章　バックアップ

録画映像を USB メモリまたは FTP サーバーにバックアップします。

バックアップ画面に入るには　・・・

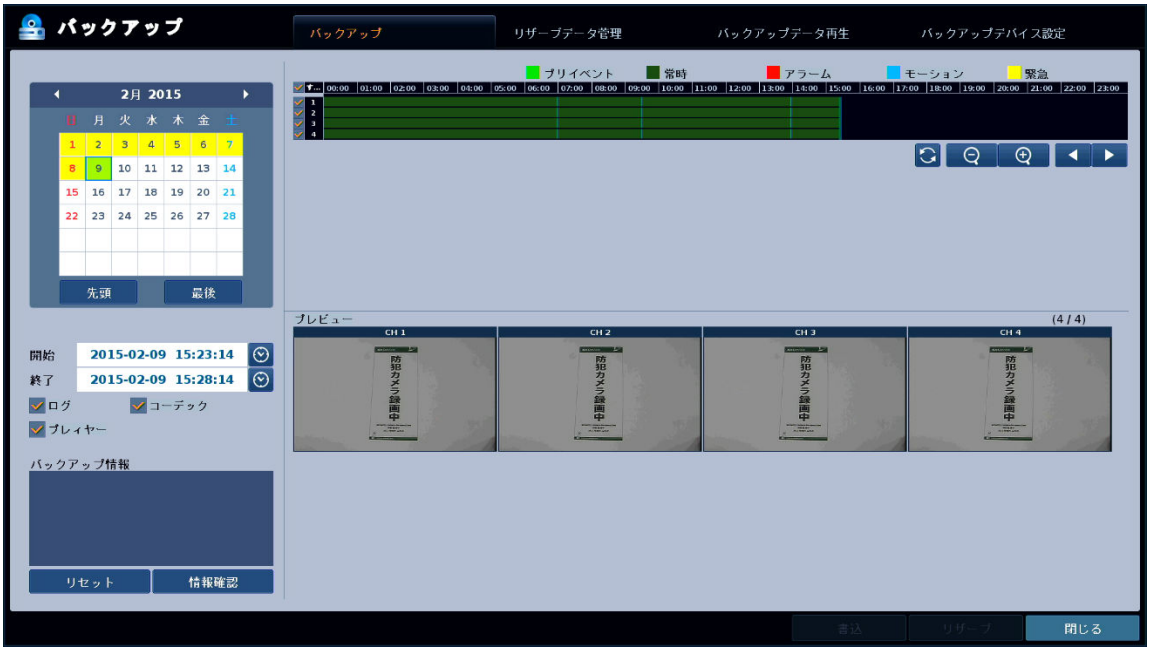
ライブ画面左下の　メニュー　をクリックして　＜ バックアップ ＞　をクリックします。

※　再生画面からバックアップを行うには、 4-9 頁　を参照して下さい。

5．1　バックアップ

バックアップ　＞　バックアップ

開始日時と終了日時を指定してバックアップを行います。



以下の手順でバックアップを行います。

※　あらかじめ USB メモリ等の保存先デバイスをレコーダーに接続して下さい。

1. 画面左上のカレンダーから、バックアップする映像の日付を選択します。
   ※　カレンダーの操作については　4-2 頁　を参照して下さい。

2. 画面右上のタイムバーから、映像をバックアップする時間帯をドラッグ＆ドロップで範囲選択します。

   ※　タイムバーの操作については　4-3 頁　を参照して下さい。
   ※　**バックアップできるデータ容量は最大　20GB　です。**

3. 開始時刻および終了時刻をさらに調整する場合は、カレンダーしたの〈開始〉および〈終了〉で時刻を指定します。

4. 画面左方のチェックボックスで、映像といっしょに保存するデータの設定を行います。
   ログ　・・・　チェックを入れると、バックアップ映像のイベントログのテキストデータを保存します。
   コーデック　・・・　チェックを入れると、バックアップ映像を PC で再生するために必要なビデオコーデックを保存します。

5. 画面左下の〈情報確認〉をクリックし、バックアップするデータの容量を確認します。

6. 画面右下の〈書込み〉をクリックします。
   ※　〈リザーブ〉をクリックすると、リザーブデータに追加されます。(5-3 頁参照)

7. 〈デバイス名〉から USB メモリ等の保存先デバイスを指定します。
   〈データ形式〉は　AVI　を選択し、タグ名に任意の名称を入力します。

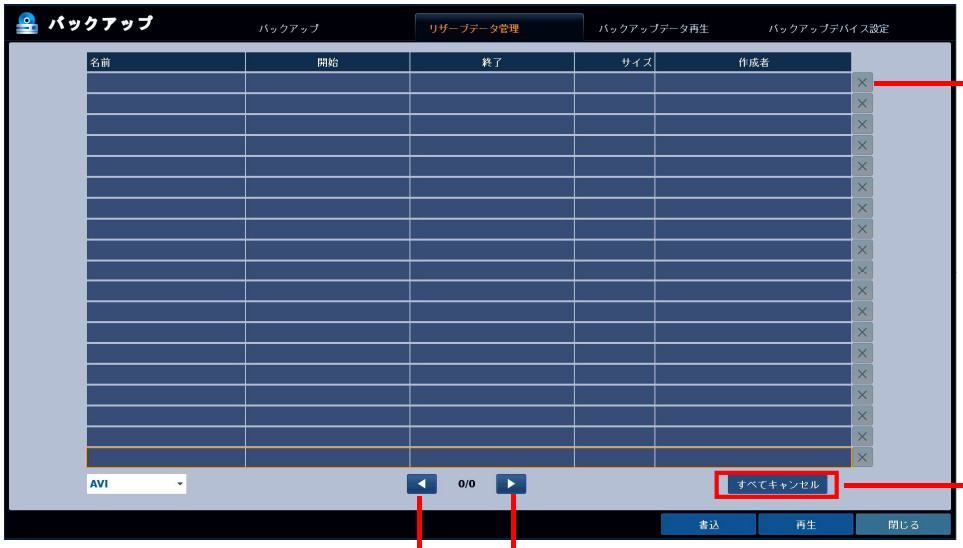
8. 〈バックアップ〉をクリックするとバックアップを実行します。
   〈デバイスフォーマット後...〉をクリックするとデバイス内のデータを消去(フォーマット)し、その後保存を行います。
   ※　バックアップ中は、全ての操作ができなくなります。
   バックアップ完了まで、キャンセルができないのでご注意下さい。

5．2　リザーブデータ管理

バックアップ　＞　リザーブデータ管理

リザーブデータ（バックアップ予約）に追加したファイル（バックアップ予約をしたファイル）を、実際にデバイスに保存します。

※　リザーブデータの保存方法は 4-9 頁　を参照して下さい。



以下の手順でバックアップ（書込み）を行います。

※　あらかじめ USB メモリ等の保存先デバイスをレコーダーに接続して下さい。

1. リストの中からバックアップ（書込み）を行うデータをクリックして選択します。
（選択したファイルは赤色の枠で表示されます。）

2. 画面右下の 〈書込み〉 をクリックします。
※〈再生〉 をクリックすると映像を再生します。

3. 〈デバイス名〉 から USB メモリ等の保存先デバイスを指定します。
〈データ形式〉 は AVI を選択し、タグ名に任意の名称を入力します。

4. 〈バックアップ〉 をクリックするとバックアップを実行します。
〈デバイスフォーマット後…〉 をクリックするとデバイス内のデータを消去（フォーマット）し、その後保存を行います。

※　バックアップ中は、全ての操作ができなくなります。
バックアップ完了まで、キャンセルができないのでご注意下さい。

5．3　バックアップデータ再生（レコーダー）

バックアップ　＞　リザーブデータ再生

USB メモリをレコーダー本体に接続し、USB メモリにバックアップした映像をレコーダーで再生したり情報を確認したりすることができます。

クリックするとデータの保存した日時や容量、総フレーム数などの情報を表示します。

前のページへ　　次のページへ

以下の手順で、USB メモリ内のバックアップ映像を再生します。

1. 画面上方の〈サーチ〉をクリックすると、USB メモリ内のバックアップ映像のリストが表示されます。

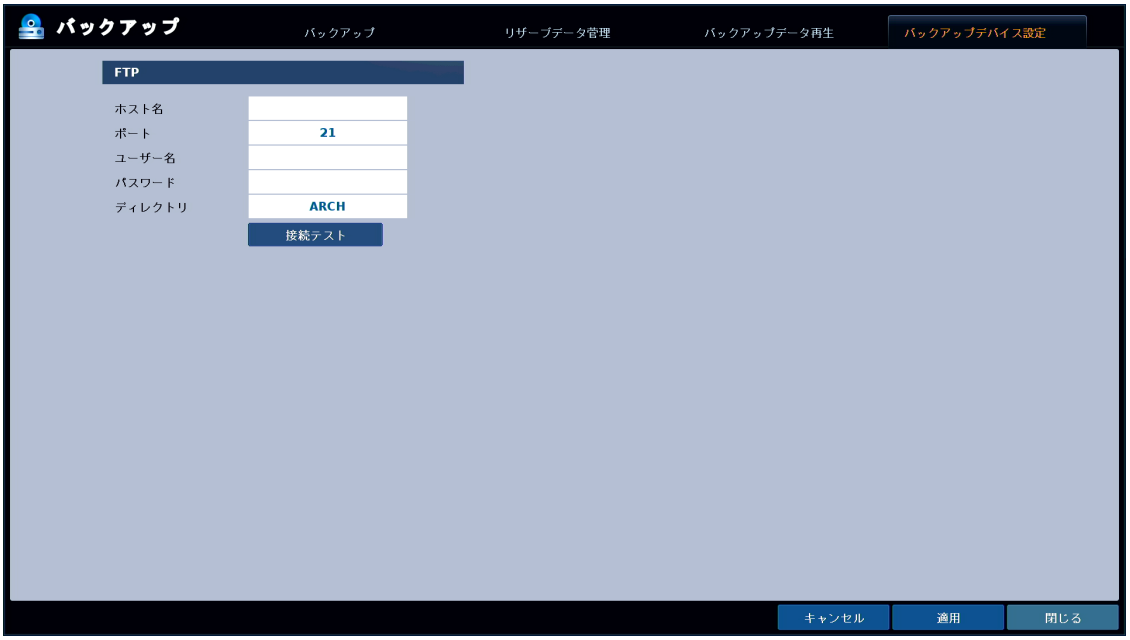
2. リストの中から、再生したいデータをクリックして選択します。
（選択したファイルは赤色の枠で表示されます。）

3. 画面右下の〈再生〉をクリックすると映像を再生します。

5．4　バックアップデバイス設定（FTP サーバー）

バックアップ　＞　バックアップデバイス設定

バックアップ映像を FTP サーバーへ保存する際の、保存先 FTP サーバーの設定を行います。



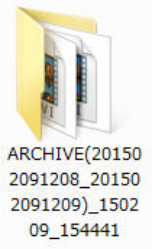
バックアップデバイス設定メニューの項目

項目	説明
ホスト名	FTP サーバーのアドレスを入力します。
ポート	FTP サーバーで使用するポート番号を入力します。
ユーザー名	FTP サーバーに登録しているユーザー名を入力します。
パスワード	FTP サーバーに登録しているパスワードを入力します。
ディレクトリ	FTP サーバー内の保存先ディレクトリのパスを入力します。
接続テスト	クリックすると、FTP サーバーへアクセスできるかどうかのテストを行います。

5．5　PC でのバックアップ映像の再生

バックアップ映像を PC で再生します。
動作確認済み OS は　Windows 7 ／ Windows 8 です。
本書では例として Windows 7 での再生方法を示します。

バックアップしたメディアを PC で開くと、以下のようなフォルダが生成されています。

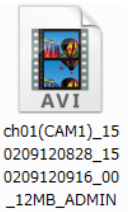


フォルダ名　：
ARCHIVE（映像開始日時__映像終了日時）__バックアップした日時

このフォルダ内には、以下の 3 つ（または 2 つ）のフォルダおよびファイルが保存されています。

専用プレイヤーおよびビデオコーデックが保存されています。

ログを保存した場合、この TXT ファイルが保存されています。

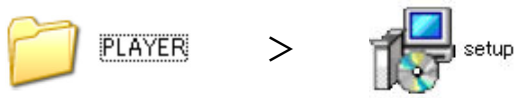


バックアップ映像ファイルです。
ファイル名　：
CH 番号（カメラ名）__開始点の年年月月日日時時分分秒秒
__終了点の年年月月日日時時分分秒秒__保存回数__
データサイズ__ユーザー名

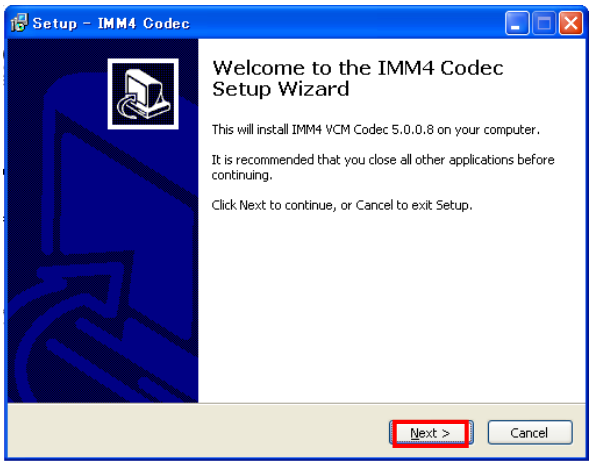
Windows Media Player での再生（ビデオコーデックのインストール）

本機で使用するビデオコーデックを PC にインストールすることで、Windows Media Player でバックアップ映像を再生することができます。

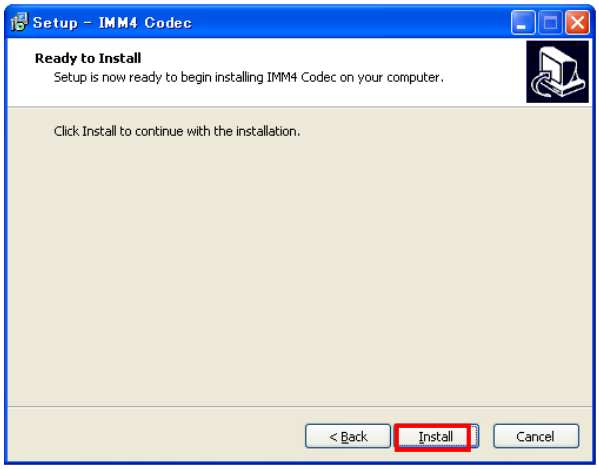
1. 「PLAYER」 フォルダ内の 「Setup」 ファイルを開きます。



2. 「Next」 をクリックします。

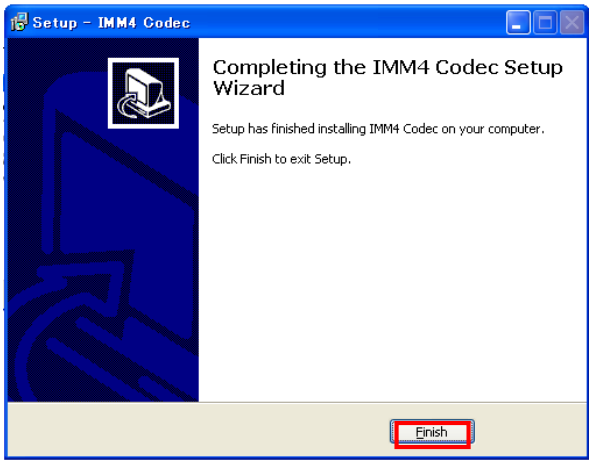

Setup - IMM4 Codec
Welcome to the IMM4 Codec Setup Wizard
This will install IMM4 VCM Codec 5.0.0.8 on your computer.
It is recommended that you close all other applications before continuing.
Click Next to continue, or Cancel to exit Setup.
Next >
Cancel

3. 「Install」 をクリックします。


Setup - IMM4 Codec
Ready to Install
Setup is now ready to begin installing IMM4 Codec on your computer.
Click Install to continue with the installation.
< Back
Install
Cancel

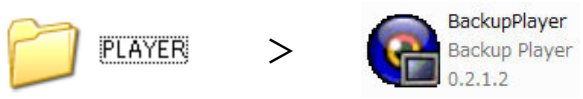
4. 「Finish」 をクリックしてインストールを完了します。

完了後、バックアップ映像ファイルが Windows Media Player で再生可能になります。

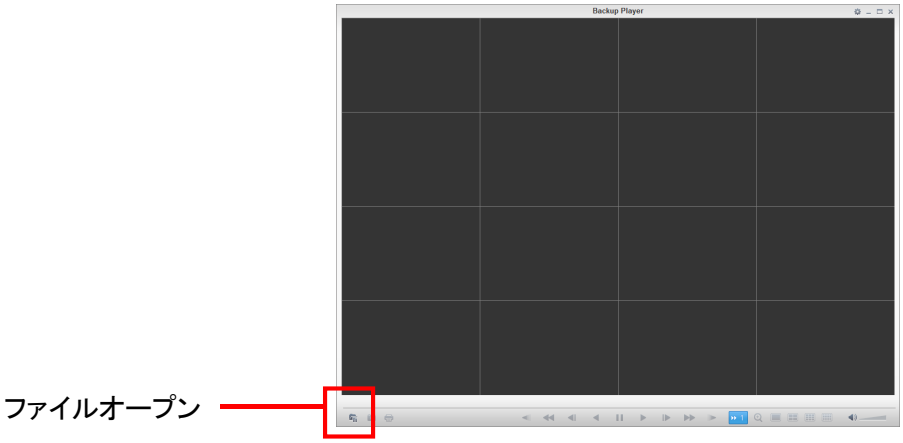

Setup - IMM4 Codec
Completing the IMM4 Codec Setup Wizard
Setup has finished installing IMM4 Codec on your computer.
Click Finish to exit Setup.
Finish

専用プレイヤー（BackupPlayer）での再生

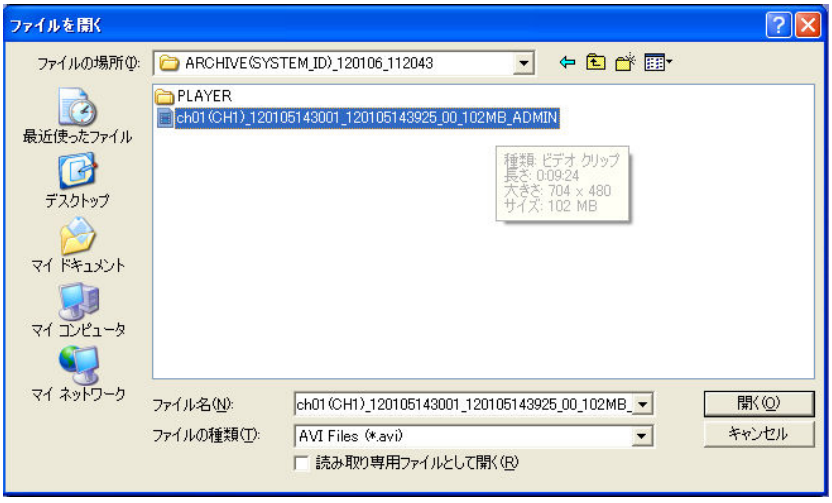
1. 「PLAYER」 フォルダ内の 「BuckupPlayer」 を開きます。



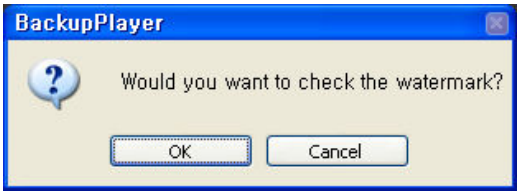
2. プレイヤー左下の 「ファイルオープン」 アイコンをクリックします。

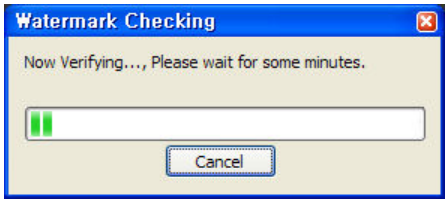


3. バックアップ映像ファイルのあるフォルダを参照し、ファイルを選択して 「開く」 をクリックします。



4. 以下のウィンドウで、< OK > を選択します。





5. バックアップファイルの映像が再生されます。

専用プレーヤーの操作

番号	名称	説明
①	設定	プレーヤーの設定を行います。
	最小化/閉じる	ウィンドウを最小化したり終了したりします。
②	映像情報	解像度等の情報を表示します。
③	再生時刻	再生中の時刻を表示します。
④	タイムバー時刻	タイムバーの時刻を表示します。
⑤	ファイルオープン	ファイルを指定して読込みます。
	スナップショット	再生中の映像のスナップショットを保存します。
	印刷	再生中の映像を印刷します。
⑥	操作アイコン	再生映像の早送りや巻戻しを行います。 操作については　4-8 頁　を参照して下さい。
⑦	画面表示	1 画面表示/分割画面表示を切り替えます。
⑧	音量	音量を調整します。
⑨	タイムバー	映像の再生位置を表示します。

6章　PTZ 操作

PTZ 対応カメラを接続して、本機でカメラの PTZ コントロールを行うことができます。

PTZ 操作画面に入るには　・・・

ライブ画面で PTZ カメラを 1 画面表示にして、ステータスバーの をクリックします。

PTZ 操作

番号	名称	説明
①	CH 切換え	PTZ 操作を行うカメラ CH を選択します。
②	プリセット	プリセットの登録　・・・　プリセット NO.を選択し、名前を入力して〈セット〉をクリックすると、下のリストに追加されます。 プリセットの移動　・・・　プリセット NO.を選択し、 をクリックすると登録したプリセットに移動します。
③	プリセットリスト	・・・　クリックするとそのプリセットに移動します。 ・・・　クリックするとそのプリセットを削除します。
④	スキャン/ツアー	スキャンやツアー（自動巡回）の設定および動作をオン/オフします。 ・・・　クリックすると、それぞれの設定画面に入ります。 スキャン　：　2 つのプリセット間を交互に移動します。 設定画面では 2 つのプリセット位置を決定し、何秒間停止させるかを選択して〈OK〉をクリックして下さい。 〈 ON 〉をクリックするとスキャンを開始します。 ツアー（自動巡回）　：　最大 16 のプリセットを順番に移動します。 設定画面では、上から順に移動させるプリセット位置を決定し、何秒間停止させるかを選択して〈OK〉をクリックして下さい。 〈 ON 〉をクリックするとツアーを開始します。
⑤	パン・チルト	パン・チルト方向に移動を行います。
		カメラのホームポジションに移動します。
	詳細設定	PTZ 速度等の詳細設定画面に入ります。
⑥	ズーム/フォーカス/アイリス	ズーム/フォーカス/アイリスの設定を行います。 〈 ONE PUSH FOCUS 〉をクリックすると
⑦	ライブアイコン	ライブ画面と同様、緊急録画や音声出力切換え等を行います。
⑧	ステータス	録画やアラームのステータスを表示します。
⑨	終了	ライブ画面に戻ります。

7章　遠隔監視

PC を用いて遠隔地から本機へアクセスします。
PC 側の操作でライブ監視、検索・再生、PTZ 操作、設定変更等の操作を行うことができます。
接続には Internet Explorer を使用します。

使用する PC の必要スペック

OS	Windows 7 Home /Basic / Premium Windows 8.1 Home /Pro
Web ブラウザ	Internet Explorer 10 以上
CPU	Intel Pentium 4　3.2G 以上
VGA	Nvidia Geforce 8500GT 以上
メモリ	1GB 以上
HDD	50MB 以上 （Active X インストール用）
モニター	High Color 32-Bit 1280x1024

7．1　WEB ビューアーへのアクセス

本書では例として、Windows　7での操作を記載します。

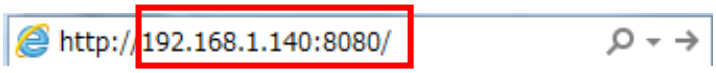
1. Internet　Explorerを開き、アドレスバーにレコーダーのIPアドレスまたはURLを入力します。
   - IP アドレスを入力する場合　・・・　レコーダーの IP アドレスのみを入力します。
   - URL を入力する場合　・・・　レコーダーの DDNS 設定で入力したドメインを入力します。

   （詳細は　3-26 頁　を参照して下さい。）

   レコーダーの初期　WEB　サーバーポート番号は　「8080」なので、アドレスまたはドメインの後に、「:8080」　を入力します。

   ※　WEB サーバーポートを変更した場合は、アドレスまたはドメインの後に　「:WEB サーバーポート番号」　を入力して下さい。

   （IP アドレスおよび WEB サーバーポートの設定は　3-25 頁　を参照して下さい。）



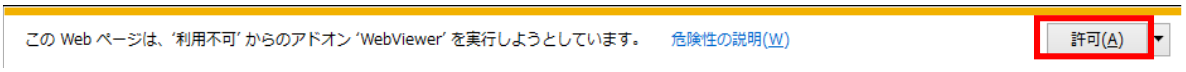
IP アドレス:ポート番号

2. レコーダーに設定したユーザー名およびパスワードを入力します。

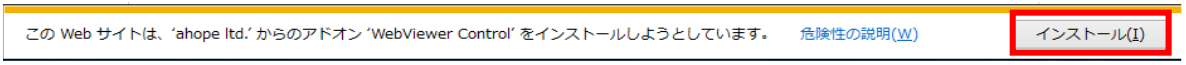
   （初期設定では　ユーザー名　：「ADMIN」／　パスワード　：「1234」となっています。）

3. 「OK」　をクリックすると WEB ビューアーが表示されます。

4. 画面下方に表示されるメッセージの〈許可〉をクリックします。



5. しばらくすると再度画面下方にメッセージが表示されるので、〈インストール〉をクリックします。



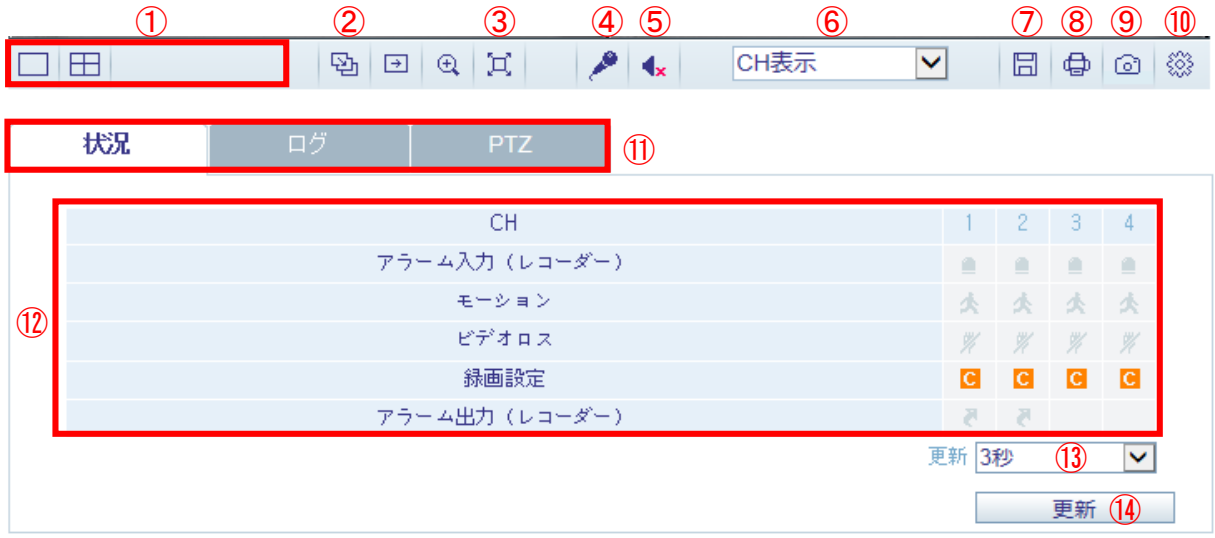
6. ライブ画面が表示されます。

7．2　WEB ビューアーの操作

【　ライブ画面　】

ライブ画面下の操作パネルで、以下の操作ができます。

※　ライブ画面のそれぞれのカメラ CH をダブルクリックすることで、1 画面表示にすることができます。
再度ダブルクリックすると分割画面表示に戻ります。



WEB ビューアー操作

番号	名称	説明
①	画面表示切換え	画面表示（1 画面表示/分割画面表示）を切換えます。
②	CH シフト	クリックするごとに 1CH ずつ CH を左にシフトします。
③	全画面表示	カメラ映像を全画面で表示します。 ※　全画面表示時に 「Esc」 キーで元の画面に戻ります。
④	マイク入力	PC に接続したマイクからレコーダへ音声を出力するかどうかを選択します。クリックするたびに ON/OFF が切替わります。
⑤	音声出力	レコーダの出力音声を PC のスピーカから出力するかどうかを選択します。クリックするたびに ON/OFF が切替わります。
⑥	チャンネル表示	CH 番号を選択すると、その CH の 1 画面表示に切替わります。
⑦	ライブ映像保存	クリックすると、ライブ映像を PC の HDD へ保存を開始します。 もう一度クリックすると保存を停止します。 ※　保存先ディレクトリは　⑩ビューワー設定　で指定します。
⑧	プリンタ出力	ライブ画面をプリンタへ出力し、印刷します。
⑨	スナップショット	ライブ画面のスナップショットを保存します。 ※　保存先ディレクトリは　⑩ビューワー設定　で指定します。
⑩	ビューワー設定	ビデオ出力形式や音声出力 CH、ライブ映像またはスナップショットの保存先ディレクトリの設定を行います。
⑪	タブ	状態表示タブ/ログ表示タブ/PTZ 操作タブを切換えます。

状態タブの表示

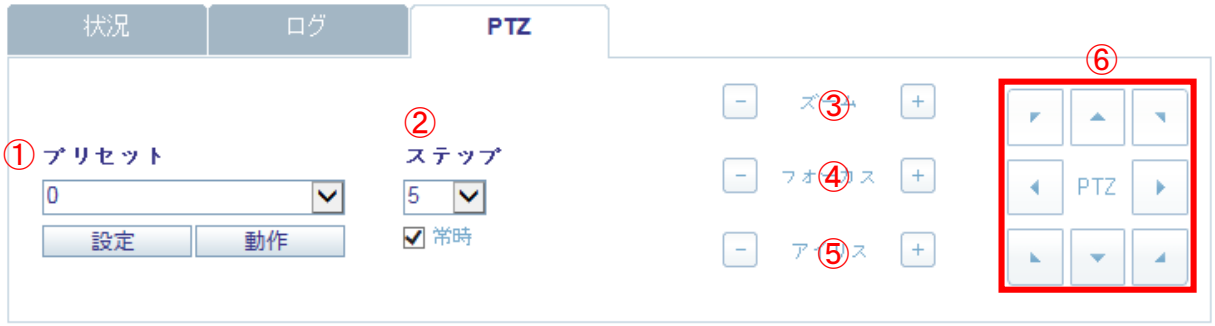
番号	名称	説明
⑫	状態表示	アラーム入力（レコーダー）：レコーダーへのアラーム入力を検知するとアイコンが表示されます。 モーション：モーションを検知するとアイコンが表示されます。 ビデオロス：ビデオ映像が遮断されるとアイコンが表示されます。 録画：録画中にアイコンが表示されます。 アラーム出力（レコーダー）：レコーダーからアラーム出力を発報中にアイコンが表示されます。
⑬	更新間隔	状態表示を読み込む間隔を設定します。
⑭	更新	クリックすると状態表示を更新します。

「ログ」 タブ を選択すると、レコーダーが記録したログリストが表示されます

ログタブの表示

番号	名称	説明
①	ログリスト	ログリストが新しい順に表示されます。
②	ページ送り	前ページを選択すると古いログのページへ、次ページを選択すると新しいログのページへ移動します。
③	更新間隔	ログリストを読み込む間隔を設定します。
④	更新	クリックするとログリストを更新します。

「PTZ」 タブ　を選択すると、レコーダーに接続した PTZ カメラを操作することができます。
操作したい PTZ カメラの CH を 1 画画面表示にすることで操作可能となります。



PTZ タブ操作

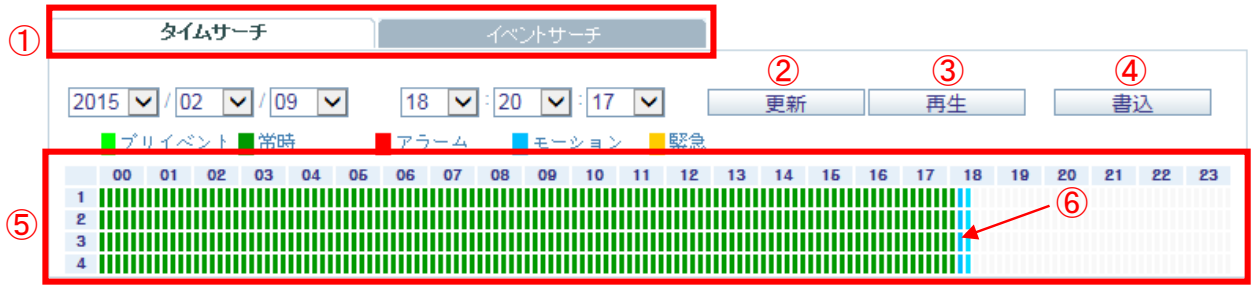
番号	名称	説明
①	プリセット登録	カメラ位置をプリセット番号登録したり、移動したりすることができます。
②	ステップ	カメラの移動速度を設定します。
③	ズーム	ズームイン/ズームアウトを行います。
④	フォーカス	カメラのフォーカスを調整します。
⑤	アイリス	カメラのアイリスを調整します。
⑥	パン・チルト	カメラのパン・チルト移動を行います。

【 検索画面 】

カメラ映像上部の 「検索」 タブ をクリックすると、レコーダの録画映像を検索・再生する画面に切り替わります。検索画面では、操作パネルが一部変化します。

① ② ③ ④ ⑤

番号	名称	説明
①	巻戻し	映像を巻戻します。
②	逆再生	映像を逆方向に再生します。
③	一時停止	映像を一時停止します。
④	再生	映像を順方向に再生します。
⑤	早送り	映像を早送りします。



⑦ BACKUP PLAYERをダウンロード

タイムサーチタブの操作

番号	名称	説明
①	日時	検索する日時を指定します。
②	更新	画面表示を最新の状態に更新します。
③	再生	指定した日時の映像を再生します。
④	バックアップ	PC の HDD へ映像をバックアップします。 表示されるウィンドウで開始時間・終了時間・カメラ CH を選択します。
⑤	タイムライン	映像がある場合、録画モードごとに色別で表示されます。
⑥	タイムバー	ドラッグ &ドロップすることで、再生する映像の時刻を移動することができます。
⑦	PLAYER ダウンロード	PC にバックアップした映像を PC 上で再生するための PLAYER をダウンロードします。

「イベントサーチ」 タブをクリックすると、イベントサーチを行います。

イベントサーチタブの操作

番号	名称	説明
①	イベント選択	検索対象とするイベントを選択します。
②	検索範囲	検索開始点と終了点を指定します。
③	検索順位	検索結果を新しい順で表示するか、古い順で表示するかを選択します。
④	サーチ	クリックすると検索結果を表示します。
⑤	ログリスト	検索結果が表示されます。 項目をクリックすると、その映像が再生されます。
⑥	ページ送り	下へ　を選択すると古いログのページへ、上へ　を選択すると新しいログのページへ移動します。

【　設定画面　】

カメラ映像上部の 「設定」 タブ　をクリックすると、レコーダーの本体設定を行う画面に切り替わります。

設定項目については本体設定と同様です。
詳しくは　**3章　各種設定**　を参照して下さい。

※　本体が設定画面を開いているときは、PC から設定変更が行えません。

8章　スマートフォンからの接続

スマートフォンの専用アプリ「nViewer」をダウンロードすることで、スマートフォンからレコーダーのライブ映像監視等を行うことができます。

動作確認機種　・・・　iPhone5 / iPhone5s / iPhone 6 / iPhone 6 Plus

※「nViewer」は Android 端末向けのものもあります。（機種によっては一部利用できない機能等があります。）

※　iPhone は Apple Inc.の登録商標です。Android は Google Inc.の登録商標です。

※スマートフォン専用アプリ「nViewer」のご利用について　（免責事項）

nViewer のご利用の際は下記の内容に同意したうえでご利用下さい。

・nViewer のご利用はお客様の責任の下でご利用下さい。

・nViewer のダウンロードおよびご利用には通信費が発生する場合がございます。発生した通信費に関して、弊社は一切の責任を負いません。

※　本書では iPhone での操作方法を記載します。

8．1　nViewer　のダウンロード

1. メニュー画面から　App Store　を開きます。

2. 検索欄に「nViewer」と入力し、検索します。

3. 「nViewer」または「nViewer Lite」をインストールします。

nViewer（有償）

nViewer Lite（無償）

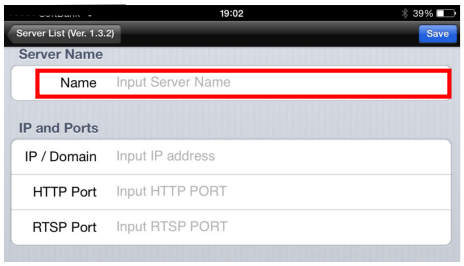
8．2　nViewer　の操作

【　初回接続設定　】

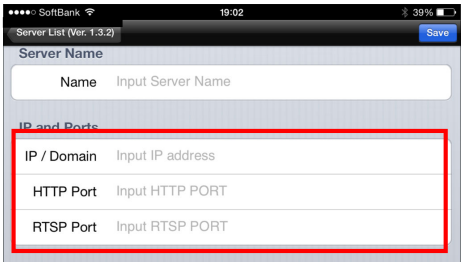
1. メニュー画面で「nViewer」を起動します。

2. 画面右上の「＋」を選択します。

3. 「Server Name」（任意）を入力します。



4. IP address（レコーダーの IP アドレス）
HTTP Port（レコーダーの WEB サーバーポート）
RTSP Port（レコーダーの RTSP ポート）
を入力します。



5. 画面を下へスクロールし、
ID（レコーダーのユーザー名）
Password（レコーダーのパスワード）
を入力し、「Save」を選択します。

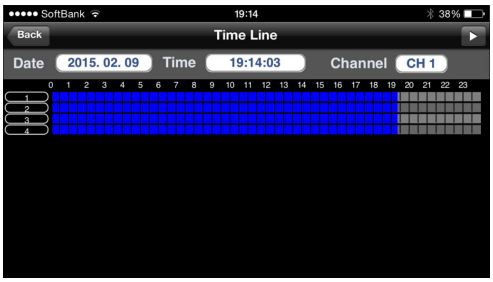
6. 登録した情報が接続先リストに登録されます。
選択（タップ）するとレコーダーへ接続します。

【 ライブ画面 】

接続先リストからレコーダーを選択するとレコーダーへ接続し、ライブ画面が表示されます。
ライブ画面をタッチすると、メニューが表示されます。

ライブ画面を左右に指ではじくことで、CH 切換えを行います。

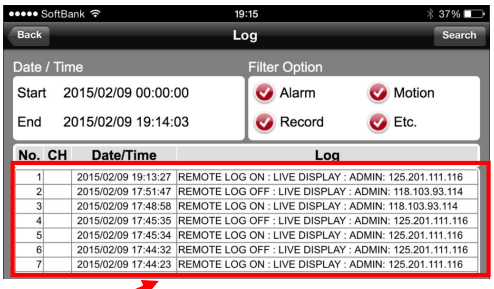
【 タイムサーチ画面 】



ライブ画面で 「タイムサーチ」 を選択します。
「Date」 で日付を選択し、「Time」 で時刻を選択します。

画面右上の を選ぶと映像が再生されます。

【 イベントサーチ画面 】



ライブ画面で 「イベントサーチ」 を選択します。
「Start」「End」 で検索範囲の開始点・終了点を選択します。
「Filter Option」 で検索対象とするイベントを選択します。

画面右上の を選ぶとログリストが表示されます。
検索結果のログを選択すると、その映像が再生されます。

9章 トラブルシューティング

症状	確認	対処
電源が入らない	電源コードが本体側およびコンセント側に接続されていますか？	電源コードを正しく接続して下さい。 → 1-9頁
映像が何も表示されない	本体とモニターが正しく接続できていますか？	本体背面の映像出力端子にモニターを接続して下さい。 → 1-8頁
	モニターの電源が入っていますか？	モニターの電源をONにして下さい。
	モニターの入力解像度は当機種に対応していますか？	対応するモニターを用意して下さい。 → 1-8頁
カメラの映像が表示されない	カメラの電源は入っていますか？	カメラに電源を供給してください。 ワンケーブルカメラの場合は専用のコントローラを接続して下さい。
	「カメラマスク」 がオンになっていませんか？	カメラマスク設定で、表示したいカメラCHを オフ にして下さい。 → 3-6頁
設定画面に入れない	ログイン中のユーザーに設定の権限がありますか？	設定の権限のあるユーザーもしくは管理者でログインして下さい。 → 1-15頁 、 3-22頁～3-24頁
ライブ音声が出ない	カメラおよびマイクの電源は入っていますか？	カメラおよびマイクの電源を確認し、正しく接続して下さい。 → 1-12頁 ※カメラ入力のないCHに音声入力をおこなうことはできません。
	音声出力CHの設定は正しいですか？	ライブ画面の「音声出力チャンネル」 で出力する音声CHを選んで下さい。 → 2-10頁
リモコン操作ができない	リモコンIDは正しいですか？	リモコンIDの登録が外れてしまっている恐れがあります。レコーダにリモコンIDを入力して下さい。 → 1-7頁

症状	確認	対処
マウス操作ができない	マウスがUSB端子に接続できていますか？	マウスを本体前面または本体背面のUSBポートに接続して下さい。 → 1-3頁～1-5頁
カメラ映像にちらつきが生じる	東日本（50Hz電源地域）でご使用されていますか？	カメラのフリッカレス設定等を確認して下さい。
録画ができない	ライブ画面でカメラ映像の右上に「C」 や 「P」 などのアイコンは表示されていますか？ アイコン表示がなければ録画が行われていません。	ライブ画面の録画モードアイコンを確認し、録画設定で正しく設定を行って下さい。 → 2-2頁 、 3．9 録画設定
	上書きはONになっていますか？	HDD動作設定で、HDD上書きモードを オン にして下さい。 → 3-36頁
カメラのPTZコントロールができない	カメラがPTZに対応していますか？	カメラの取扱説明書等で仕様を確認して下さい。
	信号線が正しく配線されていますか？	RS-485端子にPTZカメラの信号線を正しく配線して下さい。 → 1-12頁
検索再生ができない	ログイン中のユーザーに検索再生の権限がありますか？	検索再生の権限のあるユーザーでログインして下さい。 → 1-15頁 、 3-22頁～3-24頁
ライブ画面中の操作が効かない	ログアウト状態になっていませんか？	ログインして下さい。 → 1-15頁
バックアップしたファイルが再生できない	BackupPlayer以外のプレイヤーで再生していませんか？	ビデオコーデックをインストールするか、または専用のBackupPlayerで再生して下さい。 → 5．5 PCでのバックアップ映像の再生
PCから遠隔監視ができない	アドレス等は正しいですか？	ネットワークステータス画面でレコーダーのアドレスを確認して下さい。 → 2-10 頁

10章　製品仕様

本体仕様

品番		KB-SHR04A	KB-SHR08A	KB-SHR16A
本体仕様	カメラ接続 CH 数	4	8	16
	入力インターフェース	マウス（同梱）、リモコン（同梱）		
	電源電圧	DC12V アダプタ	AC100V	
	最大消費電力	24W	45W	
	動作温度	0℃ ～ 40℃		
	動作湿度	10 ～ 90%		
	質量	約 3.5kg （HDD 1 台のとき）	約 5.5kg （HDD 1 台のとき）	約 5.6kg （HDD 1 台のとき）
	外形寸法（mm）	360（幅）× 661（高さ）×362（奥行）	430（幅）×89（高さ）×367（奥行）	
ハードウェア仕様	モニター出力	HDMI / VGA （1920x1080 / 1280x1024 / 1280x720）		
	音声入力	4	8	16
	音声出力	1		
	LAN	1000BASE-T		
	USB 端子	3		
ライブ機能	シーケンス表示	○（シーケンスパターン設定あり）		
	PTZ コントロール	○		
	デジタルズーム	○		
記録機能	圧縮形式	H.264		
	記録モード	常時 / モーション / アラーム / 手動		
	解像度	960x480 / 704x480 / 704x280 / 352x254		
	記録可能フレーム数	30 / 15 / 7 / 3 / 2 / 1 FPS		
	かんたん設定	○		
	HDD 冗長	×	RAID1, RAID5	
再生機能	検索モード	タイムサーチ / サムネイルサーチ / イベントサーチ		
	再生速度	最大 64 倍速		

仕様は改良の為、予告無く変更することがあります。

品番		KB-SHR04A	KB-SHR08A	KB-SHR16A
バックアップ	ファイル形式	AVI / 専用形式		
	保存メディア	USB メモリ / USB 外付け HDD ※1 / FTP / クライアント PC の HDD		
イベント/アラーム	モーション検知	○		
	タンパ検知	○		
	アラーム入力	4	8	16
	アラーム出力	2	4	8
	イベントトリガー	モーション検知/センサー入力/ネットワークエラー/HDD SMART/HDD 温度上昇/ファン異常/システム起動 など		
	その他イベント通知	ブザー/CH ポップアップ/メール送信/イベントプリセット		
ネットワーク	WEB ビューアー	ライブ監視 / データ検索・再生 / バックアップ / PTZ コントロール / 遠隔設定		
	スマートフォン ※2	iOS 5 以上 / Android 2.4 以上 ライブ監視 / データ検索・再生 / PTZ コントロール / 遠隔設定		
	デュアルストリーム	○		
	音声双方向通信	○		
その他	多言語	○		
	ファームウェア更新	USB メモリ		
	ネットワーク時刻同期	○		
	原産国	韓国		

仕様は改良の為、予告無く変更することがあります。

※1　弊社で動作確認済みの機器に限ります。

※2　iPhoneはApple Inc.の登録商標です。AndroidはGoogle Inc.の登録商標です。

クライアント PC の推奨スペック

OS	Windows 7 Home /Basic / Premium Windows 8.1 Home /Pro
Web ブラウザ	Internet Explorer 10 以上
CPU	Intel Pentium 4　3.2G 以上
VGA	Nvidia Geforce 8500GT 以上
メモリ	1GB 以上
HDD	50MB 以上 （Active X インストール用）
モニター	High Color 32-Bit 1280x1024

仕様は改良の為、予告無く変更することがあります。

11章　初期設定リスト

工場出荷時の初期設定値は、以下のようになっています。

第1階層	第2階層	設定項目	詳細設定項目	初期値
カメラ	カメラタイトル			CH1～CH 16
	カメラ設定	明るさ		50 （全CH同様）
		コントラスト		50 （全CH同様）
		色合い		50 （全CH同様）
		カラー		50 （全CH同様）
	カメラマスク設定			オフ （全CH同様）
		画面表示		映像入力なし（全CH同様）
	モーションセンサー	有効		オン （全CH同様）
		モーションを表示		オフ （全CH同様）
		感度		15/15 （全CH同様）
	PTZ設定	アドレス		0 （全CH同様）
		プロトコル		PELCO-D （全CH同様）
		ボーレート		9600 （全CH同様）
ディスプレイ	ディスプレイ	カメラタイトル		オン
		イベントアイコン		オン
		全画面表示からのステータスバー		自動的に隠す
		全画面表示からのタイムライン		自動的に隠す
		ズームPIP		常にオン
		境界線		オン
		境界線の色		グレー
		ユーザー名		オン
		言語		日本語
	モニター	シーケンス切替時間		5秒
		スポット画面切換時間		5秒
		画面比率		16 : 9
		モニター解像度		自動
	シーケンス			DEFAULTのみ登録済み

ディスプレイ	スポット出力	スポット出力		SPOT1 ～ SPOT4が登録済
		AUX出力		AUXのみ登録済み
	LOOP OUT			オフ （全CH同様）
音声	音声	音声出力タイプ		RCA
		ネットワーク音声送信		オン
		ネットワーク音声受信		オン
	ブザー	リモコン		オン
ユーザー	管理			ADMINのみ登録
	グループ権限	MANAGER		サーチ/システム設定/録画設定/イベント動作の制御/オーディオを聞く/マイク/リモートログイン/シャットダウン　が有効
		USER		イベント動作の制御/オーディオを聞く/マイク/シャットダウン　が有効
ネットワーク	ネットワーク設定	DHCP		オン
		IPアドレス		DHCPサーバーより取得
		ゲートウェイ		DHCPサーバーより取得
		サブネットマスク		DHCPサーバーより取得
		DNSサーバー1		DHCPサーバーより取得
		DNSサーバー2		DHCPサーバーより取得
		RTSPポート		5554
		WEBサーバーポート		8080
		ネットワーク送信速度		制限なし
	DDNS	DDNS		オン
		DDNSサーバー		dvrlink.net
		レコーダー名		MACアドレス
		ユーザー名		なし
		パスワード		なし
		DVRアドレス		MACアドレス.dvrlink.net
ネットワーク	メール設定	サーバー		空欄
		ポート		25

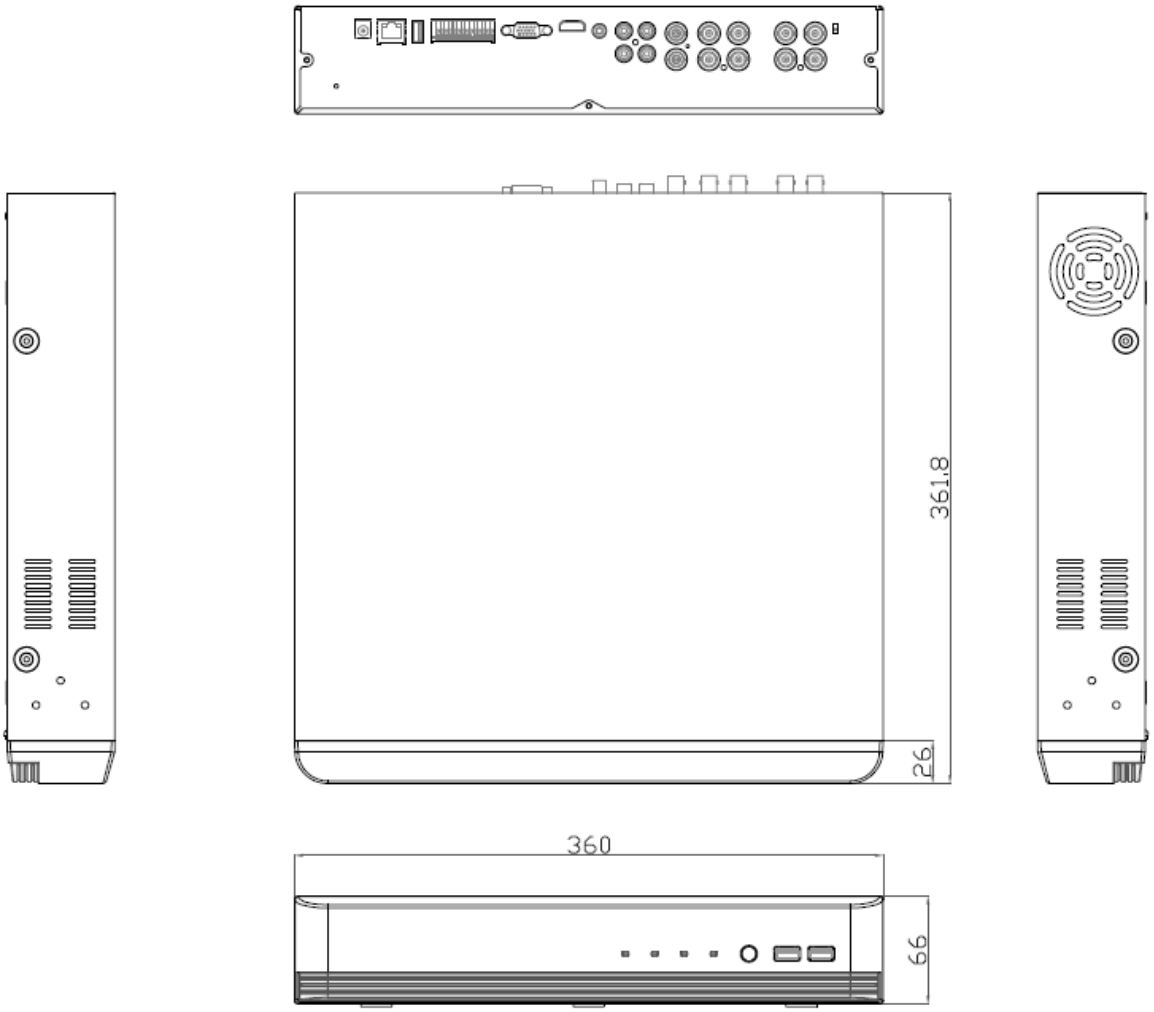
ネット ワーク	メール 設定	ユーザー		オフ
		ユーザー		空欄
		パスワード		空欄
		テストメール アドレス		空欄
システム	日付/ 時刻	日付/時刻		現在時刻
		日付表示形式		YYYY/MM/DD
		時刻表示形式		24時間
		タイムサーバー		pool.ntp.org
		自動時刻同期		オフ
		タイムゾーン		GMT+09:00 Asia/Tokyo
		サマータイム		オフ
	システム 管理	システムID		SYSTEMID
		パスワード		オン
		パスワード 有効期間		使用不可
		オートログオフ		オフ
		待機時間		1分
	デバイス 設定	システムID		0
		プロトコル		D-Max
		ボーレート		9600
		リモコンID		0
ストレージ	HDD動作	HDD上書きモード		オン
		記録映像 保存期限		オフ
	S.M.A.R.T 設定	S.M.A.R.T 検査間隔		24時間
イベント	アラーム 出力	名前		R1 ～ R8
		動作		N/O （全CH同様）
		持続時間		5秒 （全CH同様）
		ON/OFF スケジュール		すべて イベント
	イベント 通知	ブザー		5秒
		チャンネルポップ アップ持続時間		5秒
		インフォメーション ポップアップ持続		5秒

イベント	メール通知	最小メール送信間隔		1分
		スナップショットイメージを含める		オフ
イベント	アラームセンサー	名前		SENSOR1 ～ SENSOR16
		動作		N/O（全CH同様）
		アラーム出力		N/A（全CH同様）
		タイプ		N/O（全CH同様）
		チェック項目		すべてチェックなし
	モーションセンサー	無視する時間		5秒（全CH同様）
		アラーム出力		N/A（全CH同様）
		チェック項目		すべてチェックなし
	ビデオロス	アラーム出力		N/A（全CH同様）
		チェック項目		すべてチェックなし
	システムイベント	チェック項目		以下の項目にチェック済み ・ S.M.A.R.T.エラー ・ HDD認識エラー ・ 回転ファン異常検知
	タンパリングイベント	アラーム出力		N/A（全CH同様）
		チェック項目		すべてチェックなし
録画設定	録画モード設定	モード		マニュアル設定
		スケジュール設定		毎日
		プリイベント録画時間		5秒
		ポストイベント録画時間		30秒
		緊急録画時間		手動設定
	常時録画	パラメータ	解像度	960x480（全時間帯・全CH同様）
			FPS	30（全時間帯・全CH同様）
			画質	最高（全時間帯・全CH同様）
			音声	オフ　（全時間帯・全CH同様）
		スケジュール		オン　（全時間帯・全CH同様）

録画設定	モーション録画	パラメータ	解像度	960x480（全時間帯・全CH同様）
			FPS	30（全時間帯・全CH同様）
			画質	最高（全時間帯・全CH同様）
			音声	オフ　（全時間帯・全CH同様）
		スケジュール		オン　（全時間帯・全CH同様）
	アラーム録画	パラメータ	解像度	960x480（全時間帯・全CH同様）
			FPS	30（全時間帯・全CH同様）
			画質	最高（全時間帯・全CH同様）
			音声	オフ　（全時間帯・全CH同様）
		スケジュール		オン　（全時間帯・全CH同様）
	緊急録画		解像度	960x480　（全時間帯・全CH同様）
			FPS	30（全時間帯・全CH同様）
			画質	最高（全時間帯・全CH同様）
			音声	オフ　（全時間帯・全CH同様）
	ネットワークストリーミング	最大解像度		960x480 （全CH同様）
		最大FPS		30 （全CH同様）
	音声マッピング	CAM1 ～ CAM16		それぞれ音声1 ～ 音声16
PTZ画面	詳細設定	オートフォーカス		オン
		オートアイリス		オン
		パンチルト速度		5
		ズーム速度		5
		フォーカス速度		5
		アイリス速度		5
バックアップ画面	バックアップデバイス設定	ホスト名		空欄
		ポート		21
		ユーザ名		空欄
		パスワード		空欄
		ディレクトリ		ARCH

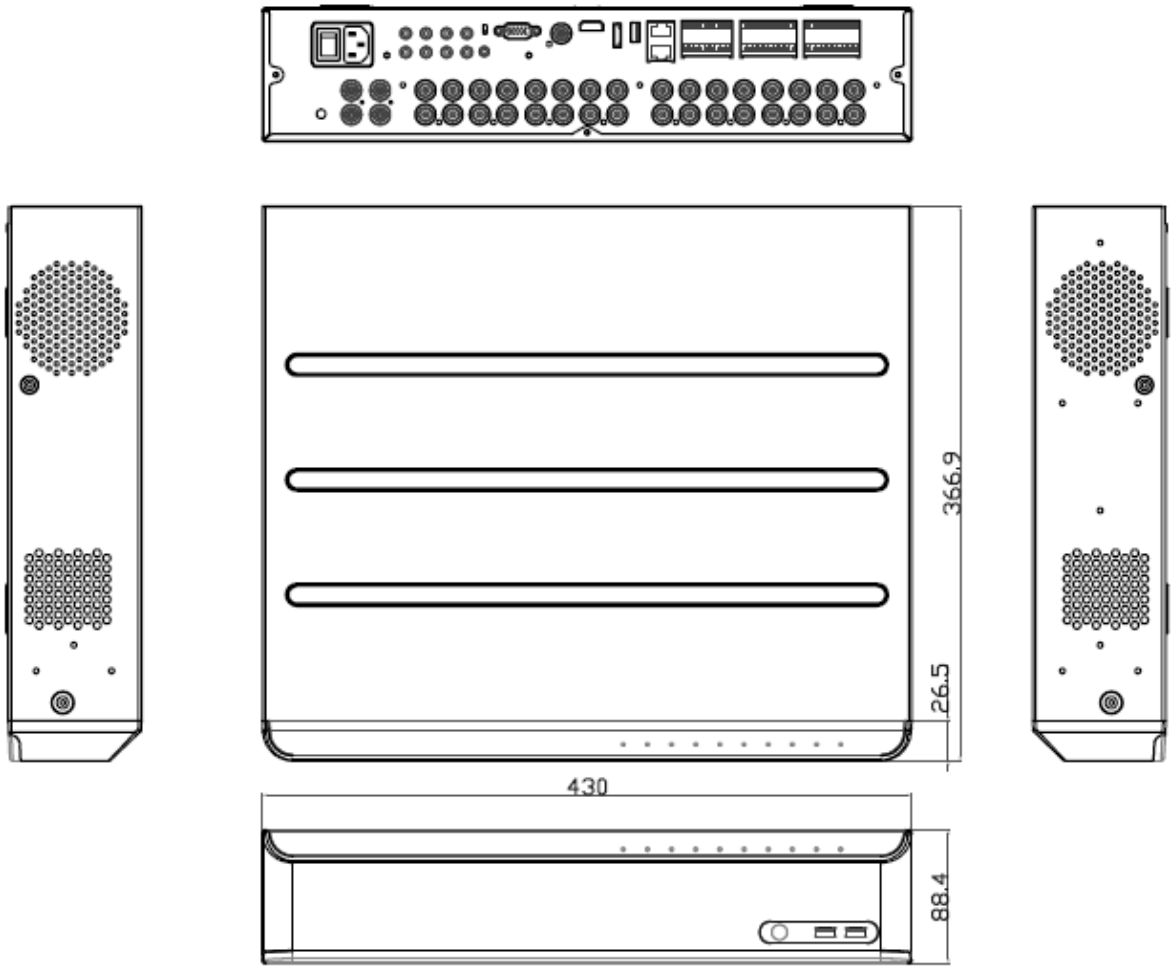
12章　外形寸法図

KB-SHR04A



単位　：　mm

KB-SHR16A（KB-SHR08A も同様）



単位　：　mm

13章　録画日数表

表の録画日数はあくまで参考値であり、録画日数を保証するものではありません。

【 HDD 1TB / カメラ 1 台 / 音声記録なしの場合 】

単位: 日

解像度	画質	フレームレート					
		1	2	3	7	15	30
960H (960x480)	長時間	445	251	240	222	208	156
	低	312	167	156	136	127	93
	標準	219	116	103	87	78	56
	高	205	107	90	72	62	45
	最高	125	64	50	37	32	22
D1 (704x480)	長時間	700	395	377	350	327	245
	低	502	269	251	221	203	150
	標準	295	156	139	118	105	76
	高	264	138	116	93	80	58
	最高	161	83	64	48	41	29
2CIF (704x240)	長時間	1152	650	620	576	537	403
	低	822	440	411	362	333	246
	標準	481	255	227	192	171	125
	高	435	228	191	154	133	95
	最高	266	136	106	79	68	47
CIF (352x240)	長時間	1615	912	870	807	754	565
	低	1131	605	565	499	458	339
	標準	680	361	321	272	242	177
	高	616	323	271	218	188	135
	最高	377	193	150	113	96	67

KB Device

デジタルビデオレコーダー｜取扱説明書

2015.2.10　初版

保証書

品番	KB-SHR04A/KB-SHR08A/KB-SHR16A	販売店名
シリアルナンバー(S/N)		
お買い上げ年月日		
保証期間	商品お買い上げ後 **5 年間**	
会社名		
ご住所		
ご担当者		
電話番号		

※　お願い:太線で囲まれた欄はお買い上げ時に必ずご記入下さい。本書は大切に保存して下さい。
再発行は致しません。

<保証規定>

1. 取扱説明書に記載された正常な使用状態で、保証期間中に万一故障を起こした場合、無償にて修理致します。
販売会社もしくは弊社へ本ページを切り取ってお申し付け下さい。

<保証条件>

次に該当する故障は保証期間であっても実費にて修理を申し受けます。

1. 取扱説明書にない誤った取扱い、不当な修理・改造を受けた製品の故障。また故意・不注意による損傷に起因する故障。
2. 災害など不可抗力による損傷。
3. 本書上記項目に必要事項の記入がない場合。また本書の提示がない場合。

<メンテナンスについて>

1. 防犯・監視用途でご使用の場合、定期的メンテナンス(点検・保守)をお勧め致します。
詳しくはお買い上げ販売店(又は工事店)にご確認下さい。

<補修用性能部品の保有期間>

1. 弊社は、このデジタルレコーダーの補修用性能部品を、製造打切り後 7 年間保有しています。
性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。
ただし、修理不能の場合は、後継機種によるユニット交換となる場合があります。

株式会社ケービデバイス

本社　〒600-8086 京都市下京区松原通東洞院東入本燈籠町 22 番地 2

TEL　075-354-3372　FAX　075-354-3382

製品の定格及びデザインは改良の為予告無く変更することがあります。